

スゴ録って
どんなもの？

接続と準備

番組表
(EPG)

録画・
予約する

見る・聞く

消去・
編集する

ダビング
する

他機から
録画する

文字を
入力する

設定

その他

DVDレコーダー

RDR-HX65

スゴ録

DVDレコーダー

スゴ録のこんな便利な機能使ってみよう

- X-おまかせ・まる録 ▶ 36ページ
- 番組追跡録画 ▶ 42ページ
- スポーツ延長対応 ▶ 42ページ
- 音付き早見 ▶ 48ページ
- 高速ダビング ▶ 62ページ

取扱説明書



お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は全て、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

2～3ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。81ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

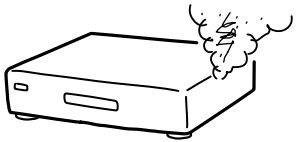
設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- 1 電源を切る
- 2 電源プラグをコンセントから抜く
- 3 お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指のケガに
注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

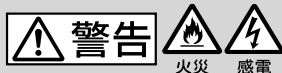
行為を指示する記号



指示



プラグをコン
セントから抜く



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。



禁止

- 製品と壁や棚の間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

→万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて交換をご依頼ください。

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。



禁止

内部に水や異物を入れないようにする

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。また、本機を水滴のかかる場所に置かないでください。



禁止

→万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて相談ください。

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。



分解禁止

→内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて依頼ください。

雷が鳴り出したら、本体や電源プラグには触れない

感電の原因となります。



接触禁止

本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。また、コンセントの定格を超えて使用しないでください。



指示



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上、または壁や家具に密着して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



禁止

大音量で長時間続けて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くとときにご注意ください。



禁止

→呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も十分に確認してください。



禁止

トレイの前に物を置かない

ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。本体の前に物を置かないでください。



禁止

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



指のケガに注意

コード類は正しく配置する

電源コードやAVケーブルは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。十分に注意して接続、配置してください。



禁止

移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま、お手入れをすると、感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。



禁止

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱によるけがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

警告

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。



接触禁止

必ず次の処理をする

→液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。



指示

→液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

→万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。



禁止

電池を火の中に入れて、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



禁止

注意

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



禁止

→マンガン電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。

+と-の向きを正しく入れる

+と-を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



指示

→機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。



指示

リモコンの電池フタを開けて使用しない

リモコンの電池フタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。




指示

→マンガン電池を使用し、電池フタを閉めて使用してください。

目次


安全のために.....	2
警告・注意	2

はじめてのスゴ録	スゴ録ってどんなもの？	
	スゴ録の使いかた	6
	メニューのしくみ	8


重要なお注意.....	10
本書の読みかた.....	11

接続と準備


準備1 付属品を確かめる.....	11
準備2 アンテナをつなぐ.....	12
準備3 テレビやモニターをつなぐ ..	14
より高画質な映像を楽しむには	14
準備4 別売りのチューナーや デコーダーをつなぐ.....	15
準備5 ビデオやAVアンプをつなぐ	16
準備6 かんたん設定をする.....	18
Gガイド/Gコード地域番号・放送局表	19

番組表の取得	準備7 番組表を正しく受信できるか 確認する	23
	チャンネル設定を確認する	23
	番組表データ受信のしくみ	23
	1:現在受信しているチャンネルをチャンネル 設定表に記入する	24
	2:チャンネル設定表を完成させる	25
	3:チャンネル設定表に合わせチャンネルの設 定を変更する	25
	4:番組表データの取得チャンネルを 確認する	26
	5:時刻データの設定チャンネルを確認する	26
	チャンネル番号(表示チャンネル)を変更する	26
	チャンネルを追加する	27
	BSやCATVの放送局を追加する	27
	リモコンで他機も操作できるように する	28
	本機のリモコンで他のソニー製DVD機器が 動作してしまうときは	28
	リモコンで本機のチャンネルを切り換える	29

番組表(EPG)

番組表で予約	番組表を使う.....	30
	ジャンルやキーワードで番組を探す	32
	語句を登録する	33

録画・予約する

番組表で録画する	34	
興味のある番組を自動で録画する (X-おまかせ・まる録)	36	
本機がおすすめる番組を自動で録画する (おすすめる番組)	36	
その他の録画予約方法	38	
日時を指定して予約する(日時指定予約)	38	
Gコード番号で予約する	38	
BS放送の番組を予約する	38	
見ている番組を録画する (クイックタイマー)	39	
録画の画質・映像サイズを設定する	39	
音声多重放送を録画する	39	
予約を確認する(予約リスト)・ 優先順位を変更する	40	
予約リストのサブメニュー項目	41	
予約の優先順位について	41	
予約録画に関わる便利な機能	42	
録画中にできる操作(ツールボタン)	43	
録画中の画面表示	43	
録画についてのご注意	44	
録画モードと録画可能時間	44	
ディスク あれこれ	使えるディスク.....	45
	録画・再生に使えるディスク一覧	45
	ディスクの使用についてのご注意	45
	録画できるDVD選びに迷ったら？	46
	録画できるDVDの細かい違いは？	47

見る・聞く

- 再生する(タイトルリスト) 48
 - タイトルリストの見かた 48
 - 再生時に使ういろいろなボタン 49
 - タイトルリストのサブメニュー項目 50
 - 見たい場面やタイトル番号で探す 50
- 録画中の番組を頭から再生する(追いかけて再生) 50
- 録画中に別の番組(タイトル)を再生する(同時録画再生) 51
- 再生中にできる操作(ツールボタン) 51
- MP3音声を再生する 52
 - MP3音声について 52
- 再生中の画面表示 53

消去・編集する



見終わったら消去

- 録画した番組(タイトル)を消去する 54
 - タイトルを消去してディスクの空き容量を増やす 54
 - タイトル名を変更する(タイトル名変更) 55
 - タイトルを消去できないよう保護する(プロテクト設定) 55
- 録画した番組(タイトル)を編集する 56
 - タイトル内の一部を消去する(A-B消去) 56
 - 1つのタイトルを2つのタイトルに分ける(タイトル分割) 56
 - 手動でチャプターを分ける 57
- プレイリストのタイトルを作成する 57
 - タイトルの順番を変更する(タイトル順番変更) 59
 - タイトルを結合する(タイトル結合) 59
- 各ディスクでできる編集 59

ダビングする



ディスクに残そう



他機で見るなら

- タイトルをダビングする 60
- ダビングについてのご注意 62
 - ダビングモードと高速ダビング時間 62
- ディスクを他機で再生できるようにする(ファイナライズ) 63
 - ディスクの設定をする(名称入力/プロテクト設定/全消去/初期化) 63

他機から録画する

- ビデオデッキなどから録画する 64
- チューナーから予約録画する(シンクロ録画) 64

文字を入力する

- 画面上のキーボードで入力する 66
- 携帯電話のように数字ボタンで入力する 67

設定

- 初期設定を変更する(セットアップ) 68
 - ご使用のための基本の設定(基本設定—チャンネル、時刻など) 68
 - 映像に関する設定(画面設定) 70
 - 音声に関する設定(音声設定) 70
 - 視聴制限、言語などの設定(フィーチャー) 71
 - 二重音声、リモコンモードなどの設定(オプション) 72
 - かんたん設定 72

その他

- 故障かな?と思ったら 73
- スゴ録 点検シート 78
- Gガイドについて 80
- アナログ放送からデジタル放送への移行について 80
- 使用上のご注意 81
- 保証書とアフターサービス 82
- 主な仕様 82
- 視聴年齢制限地域/言語コード一覧 83
- 各部のなまえ 84
- 索引 86

スゴ録の使いかた

大容量ハードディスク(HDD)に、見たい番組をしっかりとっぴりデジタル録画、賢く自動で録れる「スゴ録」。ビデオとは違う、新しい楽しみが広がります。以下は代表的な使いかたの例です。

まず、番組表(EPG)データを正しく受信します！

番組表を使うには、放送局から送られる番組表データを受信する必要があります。

接続と準備**1**～**6**(11～18ページ)の後、準備**7**で受信の設定を確認してから(23ページ)、電源を切った状態でお待ちください。

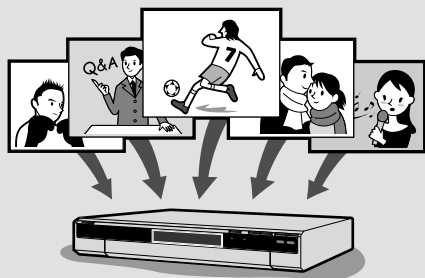
初めて番組表データを受信するまでに1日程度かかります。

録画・予約する

- 電子番組表(EPG)で、かんたん録画(34ページ)。→ 画面上の番組表(時刻別/チャンネル別/ジャンル別)から録画したい番組を選ぶだけで予約完了です。

さらに「スゴ録」なら…

- 気になる番組をHDDにどんどん自動録画☞**x-おまかせ・まる録**(36ページ)
- スポーツ番組の延長で放送時間が変わっても逃さず録画☞**スポーツ延長対応**(42ページ)
- ドラマの最終回など拡大版の番組も最後までしっかり録画☞**番組追跡録画**(42ページ)



💡ビデオテープとは、ココが違う！

テープの交換やテープの残量を気にせずに録れます。自動的にディスクの空き部分に録画されるので、録画済みの番組を消してしまう心配もありません。

見る

- 見たい番組(タイトル)を一覧表示(タイトルリスト)からかんたん再生(48ページ)。→ 再生したい番組をすばやく選べます。

さらに「スゴ録」なら…

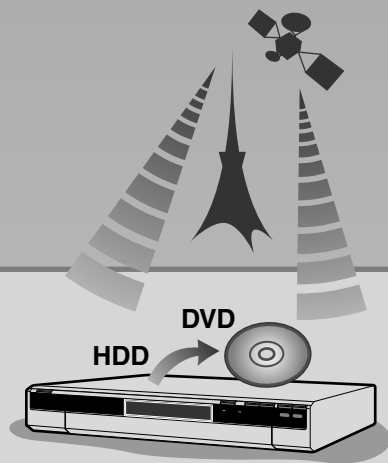
- 録画しながら他の録画済み番組を再生☞**同時録画再生**(51ページ)
- 録画中の番組でも、終了を待たずに頭から再生☞**追いかけて再生**(50ページ)

スゴ録では、録画した個々の番組を「タイトル」と呼ぶのね。



💡ビデオテープとは、ココが違う！

録ったテープを1本ずつ確かめたり、見たい番組を探すのに早送りや巻戻しなどをする必要がありません。



HDDにどんどん録画して DVDにダビング！

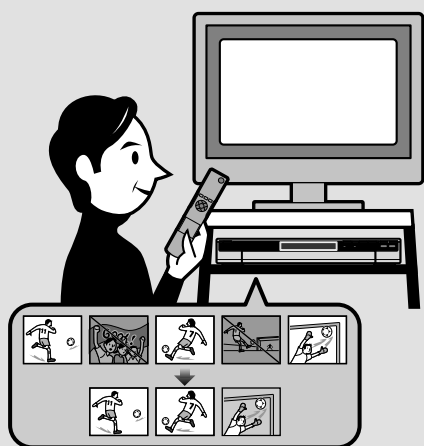
DVDに直接録画することもできます。
DVDに録画/ダビングするときは、
「使えるディスク」(45ページ)をご覧ください。

消去・編集する

- 見終わったタイトルは、一覧から一発消去(54ページ)。
→ HDDに録画できる空き容量が増えます。
消したくないタイトルは、保護もできます。

さらに「スゴ録」なら…

- HDDの空きが足りなくなると、古いタイトルを自動で消去🔗自動消去(42ページ)
- 大切なオリジナルの映像はそのまま、納得いくまで編集🔗プレイリスト(57ページ)

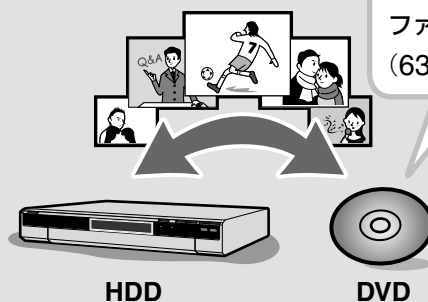


🔗ビデオテープとは、ココが違う！

テープのように誤って上書きしたり、録画機と再生機を用意したりする必要がありません。

ダビングする

- 残しておきたいHDDのタイトルをDVDへ保存(高速ダビング)(62ページ)。
- DVDを他のプレーヤーでも再生するにはファイナライズ(63ページ)。



DVDを他機で再生するなら
ファイナライズ！
(63ページ)

🔗DVDではここが肝心！

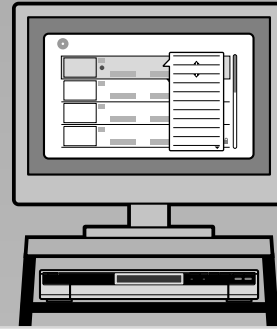
- DVDにはいくつかの種類があり、できることが異なります(45ページ)。
- 他機で再生するため、ファイナライズが必要になるディスクもあります。

🔗ビデオテープとは、ココが違う！

デジタルならではの画質の劣化を抑えた高速ダビングが可能です。DVDに保存すれば、ライブラリーも省スペースです。

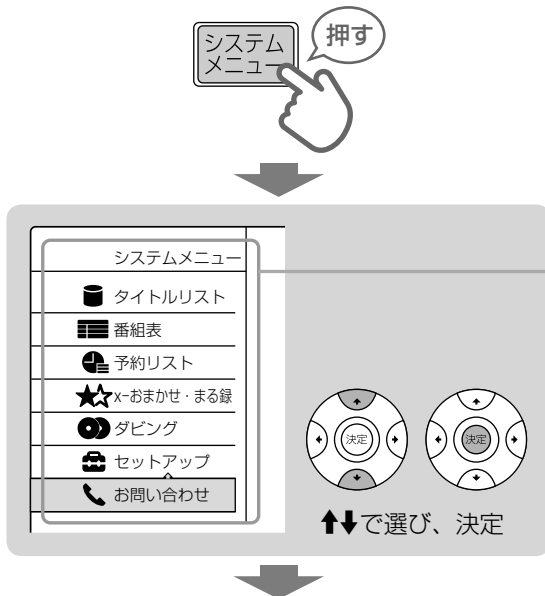
メニューのしくみ

スゴ録は、機能やできる操作の一覧(メニュー)をテレビ画面に表示して、その中からしたいことを選ぶことで、かんたんに操作できます。そのときに出来ることが表示されるので、メニューの項目は状況により変わります。



システムメニューの操作

システムメニューはスゴ録のさまざまな機能の入り口です。以下のように、メニューからそれぞれの画面へ進みます。



(例:タイトルリスト)



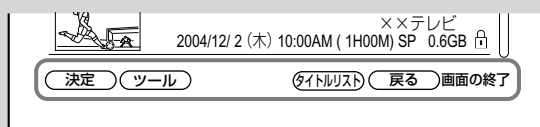
システムメニュー項目

- タイトルリスト(48ページ)**
 (HDD) 録画した番組(タイトル)の一覧です。
 (DVD)
- 番組表(30ページ)**
 テレビ番組の一覧です。
- 予約リスト(40ページ)**
 録画予約している番組の一覧です。
- x-おまかせ・まる録(36ページ)**
 自動録画(x-おまかせ・まる録)の候補の一覧です。
- ダビング(60ページ)**
 HDDとDVDの間でダビングを行うときに使います。
- セットアップ(68ページ)**
 音声や映像など、スゴ録のさまざまな設定項目の一覧です。
- お問い合わせ**
 ソニーお客様ご相談センターのご案内です。

システムメニュー画面を消すには

↶(戻る)ボタンを押します。

操作ガイドの表示



メニュー画面などの下方に、そのとき使える主なボタンが表示されます。

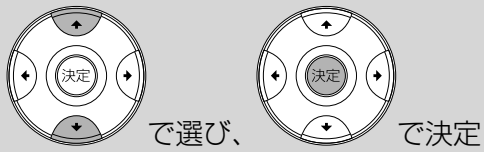
↶(戻る)ボタンを押すと

前の画面に戻ったり、表示されているメニューを消したりできます。

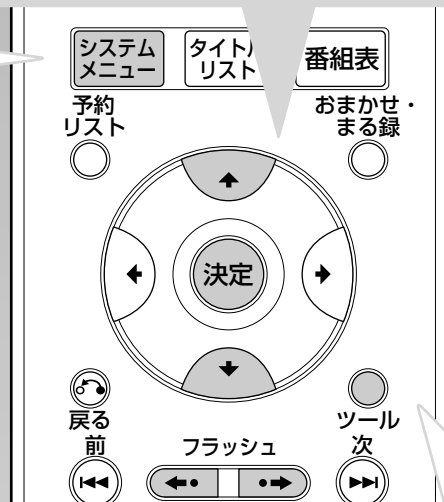


メニューを操作するボタンはココ！

↑↓でメニューから項目を選び、決定ボタンで決定します。

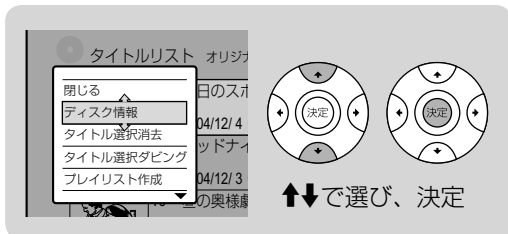


本書では上記の操作を「～を選ぶ」、「～を選び、決定する」と記載します。



ツールの操作

ツールは、状況に応じてそのときでることが表示される便利なメニューです。各種リスト画面を表示中のほか、録画中や再生中にも使えます。



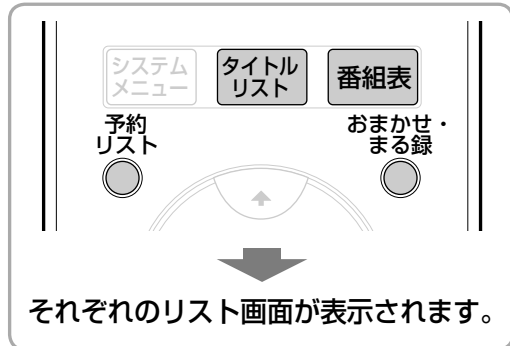
ツールから選んだ操作が実行されます。

ツールを消すには

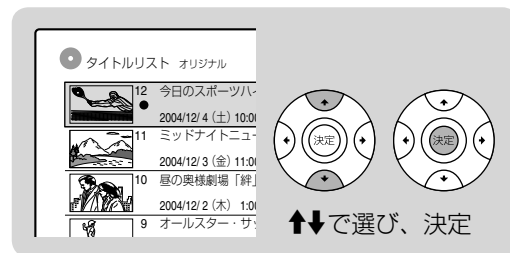
もう一度ツールボタンを押すか、ツールの項目から「閉じる」を選びます。

いろいろな画面をボタンで直接表示

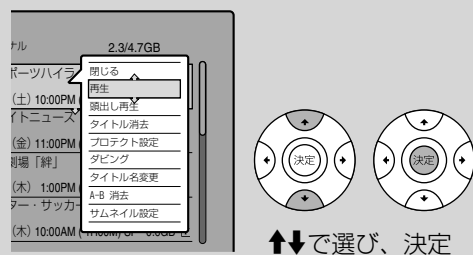
タイトルリストや番組表、予約リスト、x-おまかせ・まる録画面がボタン1つで表示できます。



(例: タイトルリスト)



サブメニュー



タイトルリストや番組表、予約リストなどで選んでいる番組について、今操作できる項目が表示されます。

サブメニューから選んだ操作が実行されます。

リスト画面でページを戻す/送るには

各種リスト画面(タイトルリスト/番組表/予約リスト)でフラッシュ ←・/・→ ボタンを押すと、前/次のページに移動できます。

重要なお注意

内蔵ハードディスクについての重要なお願

ハードディスクは記録密度が高いため、長時間録画やすばやい頭出し再生を楽しめます。その反面、ほこりや衝撃、振動に弱く、磁気を帯びた物に近い場所での使用は避ける必要があります。大切なデータを失わないよう、次の点にご注意ください。

- 本機に振動、衝撃を与えない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- ビデオやアンブなど熱源となる機器の上に置かない。
- 急激な温度変化(1時間に10℃以上の変化)のある場所では使用しない。結露(露つき)の原因となります(81ページ)。
- 電源プラグをコンセントに差したまま本機を動かさない。移動するときは、コンセントから電源プラグを抜いて1分間待ってから、振動、衝撃を与えずに行う。
- 電源が入っているときに、電源プラグをコンセントから抜かない。抜くときは、電源を切ってハードディスクが動作していないこと(表示窓に時計が表示され、録画状態、ダビング状態でないこと)を確認後、行う。
- 故障の原因となるため、お客様自身でハードディスクの交換や増設をしない。

ハードディスクが故障した場合、データは修復できません。ハードディスクは性質上、長期的な記録場所として適していないため、一時的な記録場所としてご利用ください。

内蔵ハードディスクの修理について

- 修理や点検の際、不具合症状の発生や改善などを確認するために、必要最小限の範囲でハードディスク上のデータを確認することがあります。ただし、タイトルなどのファイルを弊社で複製や保存することはありません。
- ハードディスクの初期化または交換が必要となる場合は、弊社の判断で初期化を行わせていただきます。ハードディスクの記録内容が全消去されることを、ご了承ください(著作権法上の著作物に該当するデータが発見された場合も含まれます)。

起動/終了にかかる時間について

本機はシステム全体の最適化を図るため、電源ボタンを押してから実際に起動するまでと、逆に実際に電源が切れるまで、しばらく時間がかかります。

電源が切れる前やハードディスクの動作中に、コンセントから電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

録画・再生について

- 本機で録画したVRモードのDVD-RWおよびDVD-Rは、それぞれVRモードのDVD-RWおよびDVD-Rに対応したDVD機器でのみ再生可能です。
- 大切な録画の場合には、DVD+RとDVD-R以外のディスクやハードディスクで、必ず事前にためし録りを行い、正常に録画・録音されるか確認してください。

録画内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で記録ができなかった場合や、不具合・修理など何らかの原因で記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償及びそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製等はいたしません。あらかじめご了承ください。

著作権について

- あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は、録画防止機能(コピーガード)を搭載しており、著作権者等によって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画できません。
- 本機は、無許諾のDVD(海賊版等)の再生を制限する機能を搭載しており、このようなDVDを再生できません。
- 本機は、接続するテレビの画面に合わせて画郭サイズを選ぶモードがあります。設定項目によってはオリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、本機の設定をお選びください。本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画郭表示機能を利用して再生などを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれておりません。補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。

私的録画補償金の問い合わせ先

〒107-0052

東京都港区赤坂5丁目4番6号赤坂三辻ビル2F

社団法人 私的録画補償金管理協会

TEL: 03-3560-3107(代) / FAX: 03-5570-2560

コピー防止信号について

別売チューナーで受信した番組に、コピー防止信号が含まれている場合、録画できないことがあります。ご注意ください。

残像現象(画像の焼きつき)のご注意

メニュー画面や静止画などをテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。残像現象(画像の焼きつき)を起こす場合があります。特に、プラズマディスプレイパネルテレビや液晶テレビなどは、残像現象が起こりやすいため、ご注意ください。

DVDレコーダーは、コンセントの近くで使用してください。本機を使用中、変な音やにおい、煙が出たときはすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断してください。

本書の読みかた

- 本書で使われている画面イラストと、実際に表示される画面は異なることがあります。
- 本書でのDVDについての説明は、本機で録画したDVDに対応しています。他機で録画したDVDを本機で再生しても、説明が当てはまらないことがあります。
- 本機および本書では、1GBを10億バイトとして表示しています。

マークの見かた

本機では以下のディスクが使えます。ディスクによってできることが異なるため、本書内ではマークによって区別しています。

本機で使えるディスクについて詳しくは、「使えるディスク」(45ページ)をご覧ください。

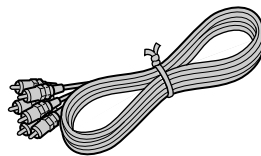
ディスクの種類	本書内のマーク
ハードディスク (本機内蔵)	HDD
DVD+RW	+RW
DVD-RW	-RW_{VR} -RW_{Video}
DVD+R	+R
DVD-R	-R_{VR} -R_{Video}
DVDビデオ	DVD
ビデオCD/ スーパーVCD	VCD/SVCD
音楽CD	CD
データCD*	DATA CD

* MP3音声記録されたCD-ROM、CD-RW、CD-R

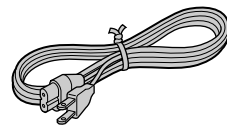
準備 1

付属品を確かめる

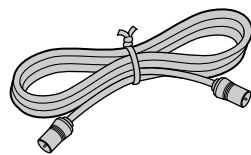
箱を開けたら、付属品が揃っているか確かめてください。



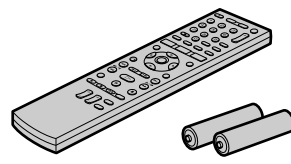
映像・音声コード(1本)



電源コード(1本)



アンテナケーブル(1本)

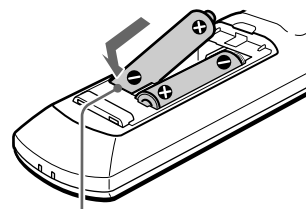


リモコン(1個)と
単3形(R6)乾電池(2本)

取扱説明書(本書)
保証書
ソニーご相談窓口のご案内
(各1部)


→ リモコンに電池を入れる

⊕と⊖を正しい向きで、付属の単3形(R6)乾電池(2本)を入れてください。

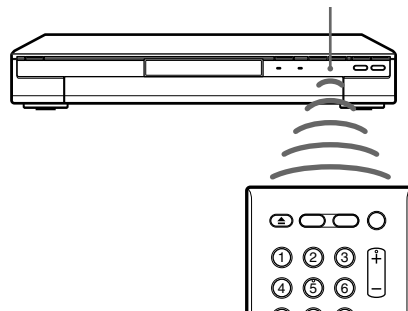


必ず⊖側から入れてください。


→ リモコンを本体に向けて操作する

リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作します。

リモコン受光部



⚠️ ご注意

- リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。操作できないことがあります。

準備 2

アンテナをつなぐ

ご自宅でお使いのアンテナ線の種類に合わせて接続してください。該当しないときは、お客様ご相談センターに、お問い合わせください(裏表紙)。

⚠ 注意

電源コードは必ず、全ての接続が終わってから接続してください。

⚠ 警告

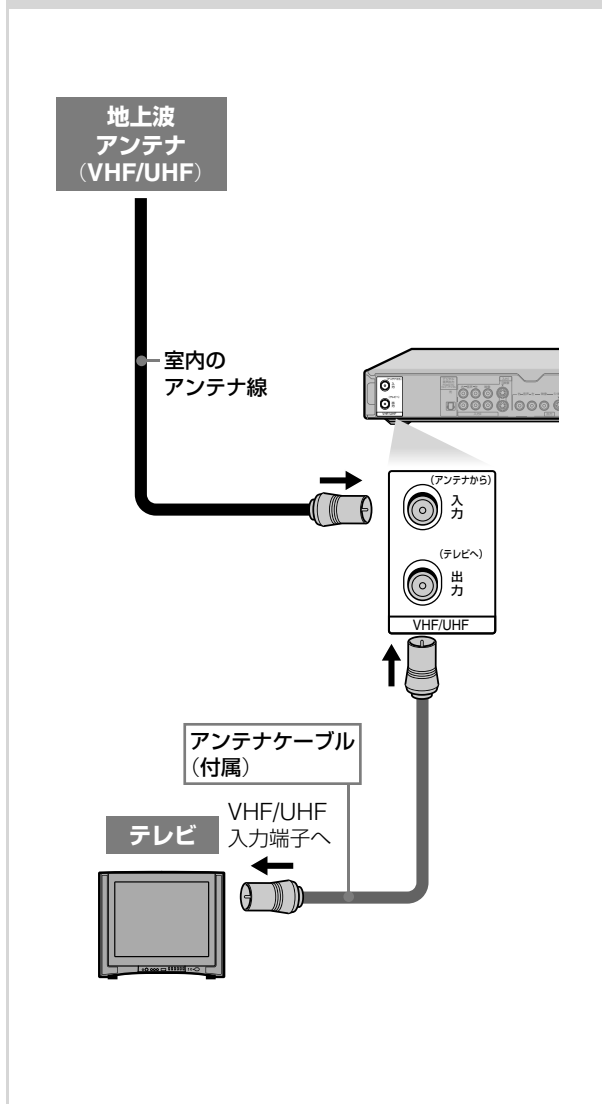
BSチューナー内蔵テレビのBS-IF入力端子には、必ず専用のケーブルで接続してください。

BS-IF入力端子からはBSコンバーター用の電源が供給されるため、サテライト(BS/CS)用アンテナケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの事故の原因となります。

推奨ケーブル

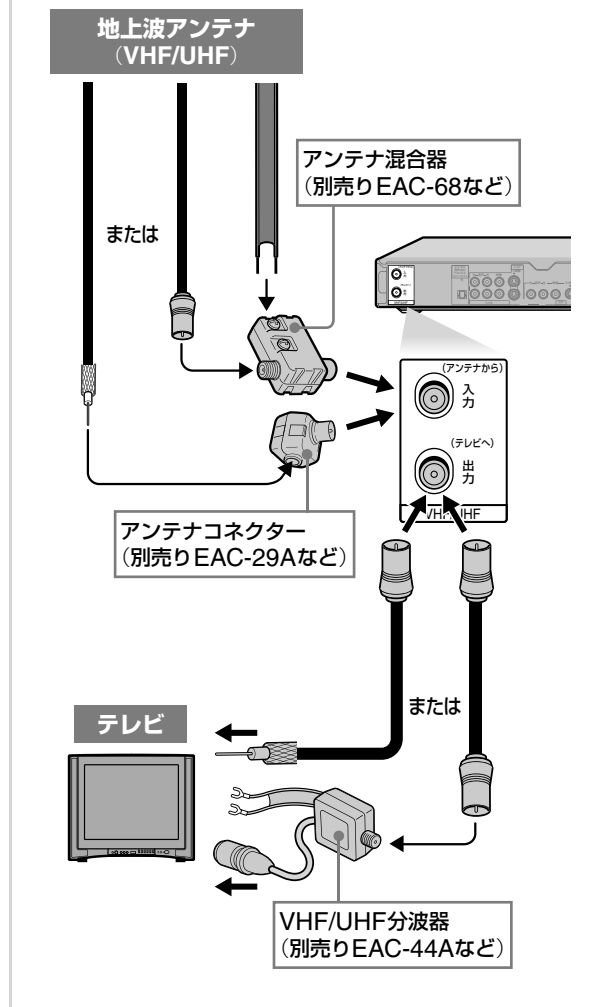
- 室内用 EAC-DS15SS/DS30SS/DS50SSなど

同軸ケーブルアンテナを接続するとき



フィーダー線や同軸ケーブルのとき

室内のアンテナ線の形状に合わせて接続してください。



☝ちょっと一言

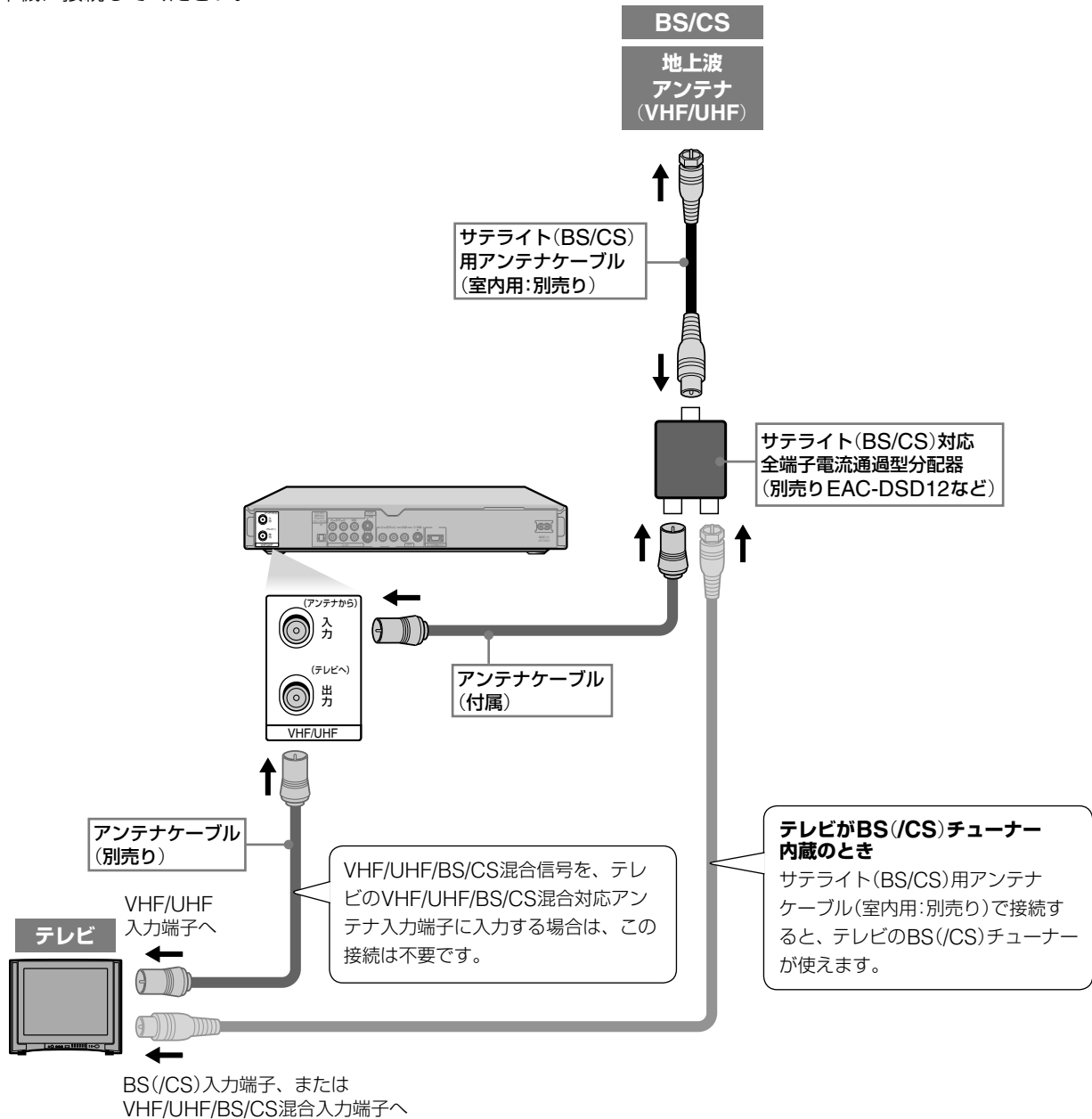
- 電波が弱く画面にチラつきや斜めじまが入るときは、別売りのアンテナブースターを本機とアンテナの間に接続してください。
- 本機でデジタル放送は受信できません。

🚫ご注意

- 画像の乱れを防ぐため、以下の点にご注意ください。
 - － 本機の上にテレビを直接置かない。
 - － アンテナ線はなるべく短くし、本機から離す。特にフィーダー線は雑音電波などの影響を受けやすいため、できる限り離す。
- 本書記載の別売アクセサリは、2005年7月現在のものです。万一、品切れや生産完了の際はご容赦ください。

VHF/UHF/BS(/CS)が混合のとき

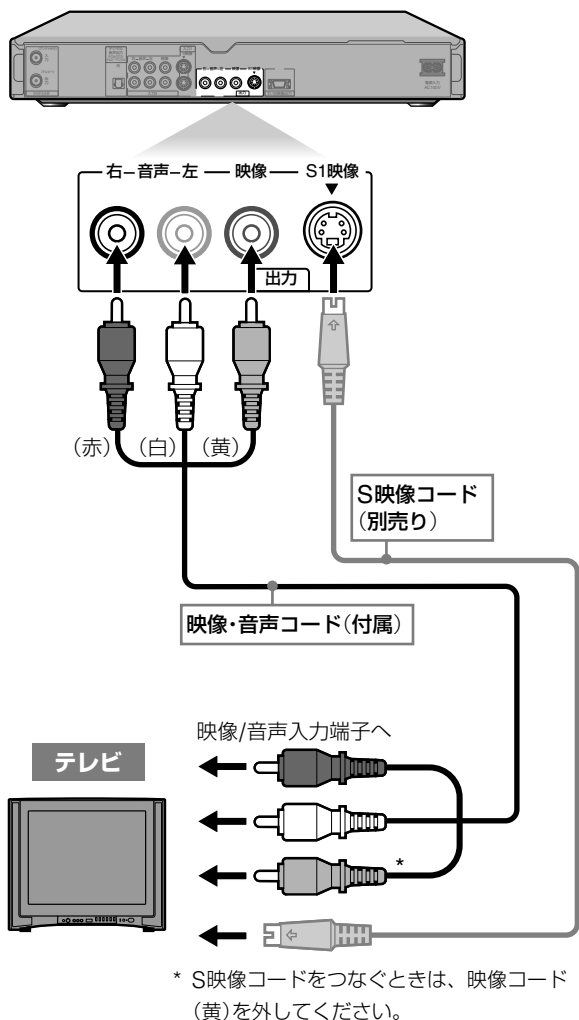
BS(/CS)放送と地上波放送(VHF/UHF)を分配して、本機に接続してください。



準備 3

テレビやモニターをつなぐ

以下のように付属の映像・音声コードで接続すれば、すぐにスゴ録の映像が楽しめます。S映像コード(別売り)を使うと、よりきれいな映像が楽しめます。

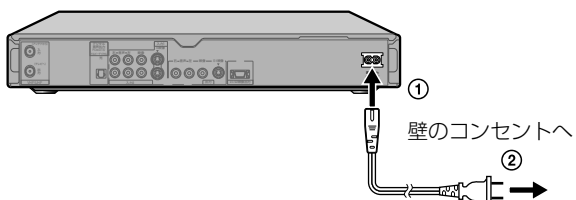


→ 電源コードをつなぐ

電源コードは必ず、すべての接続が終わってからつないでください(テレビ以外の機器を接続する場合、[準備4]、[準備5]が終わってから電源コードを接続してください)。下図の①②の順につなぎます。

電源コードをつないだらそのまましばらく(数10秒)お待ちください。

時計が表示窓に点灯したら、本機を操作することができます。「かんたん設定」で、本機を使うための基本の設定を行ってください(18ページ)。



ちょっと一言

- モノラル音声テレビにつなぐときは、ステレオ・モノラル変換コード(別売り)を使ってください。

ご注意

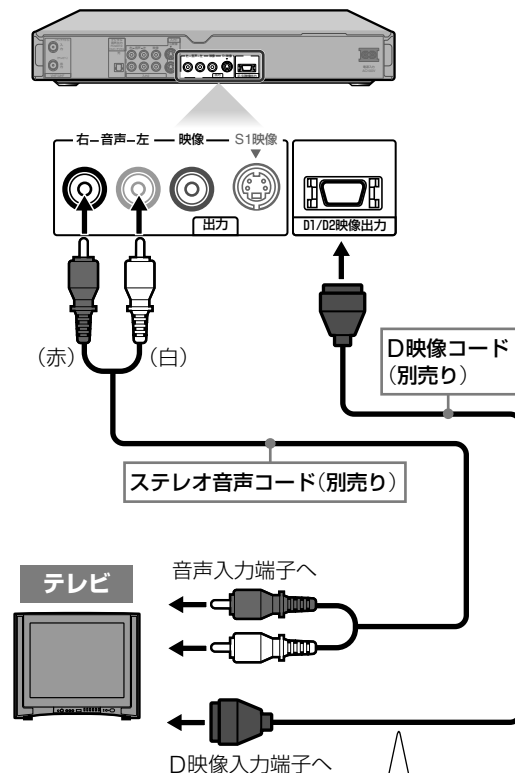
- ハイビジョン専用コンポーネントビデオ入力(Y/P_B/P_R)には対応していません。

より高画質な映像を楽しむには

接続するテレビにD映像入力端子がある場合は以下の方法で接続します。プログレッシブ映像信号(70ページ)を出力する場合もこの接続になります。

D1/D2映像端子に接続する

D映像コード(別売り)1本で、コンポーネント映像を出力できます。輝度(Y)、色差(P_B/C_B, P_R/C_R)信号が独立して出力されるので、映像本来の色を忠実に再現します。



プログレッシブで見える場合、システムメニューで「セットアップ」の「画面設定」を選び、「プログレッシブ設定」の「プログレッシブ出力」を「する」にします(70ページ)。

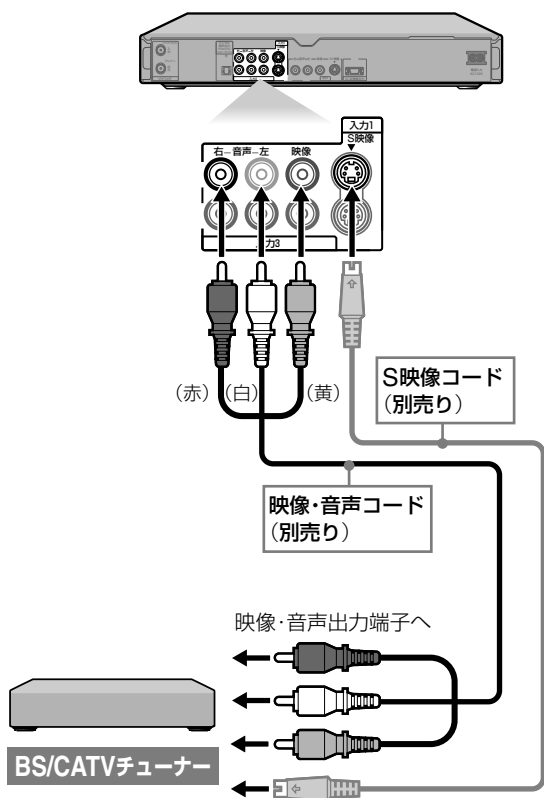
準備 4

別売りのチューナーやデコーダーをつなぐ

ケーブルテレビ(CATV)・BS/CSチューナーを本機の映像・音声入力端子に接続すると、それらの機器からの映像も録画できます。接続しない場合は[準備5]へ進んでください(16ページ)。

BSチューナーやケーブルテレビ(CATV)チューナーを接続する

BSアナログやCATVを録画できます。チューナーの取扱説明書も併せてご覧ください。CATVについては、ご契約のCATV局にお問い合わせください。



S映像コードで接続するときは、システムメニューで「セットアップ」の「画面設定」を選び、「外部入力映像設定」の「入力1」を「S映像」にします(入力1端子に接続した場合)。映像コード(黄)は外します。

本機の映像・音声入力端子に接続したチューナーの番組を録画するには

- ① チューナーで、録画したいチャンネルを選びます。
- ② 本機のチャンネル+/-ボタンを押して、チューナーを接続した入力(「L1」、「L2」、「L3」)に切り換えます。
- ③ 本機で録画の操作を行います。

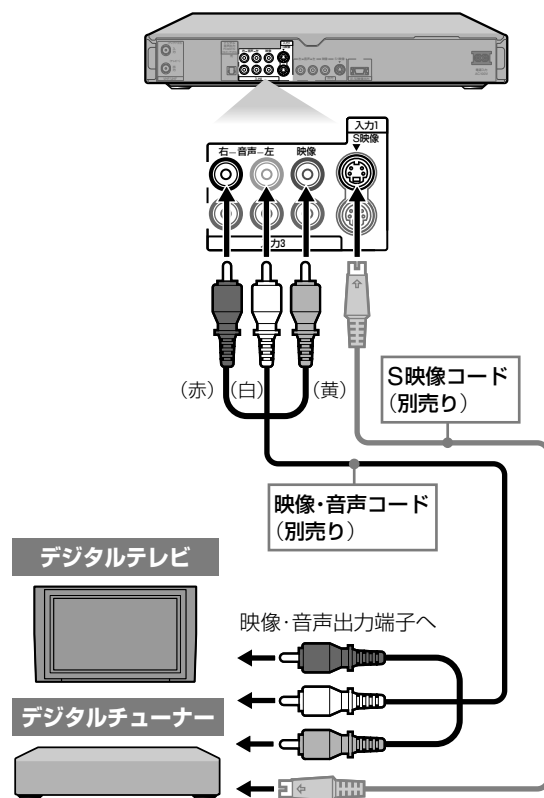
番組予約機能を持つCATV/CS/BSチューナーに連動して予約録画ができます(シンクロ録画 64ページ)。この場合は、チューナーを必ず入力1端子に接続してください。その他の入力端子はシンクロ録画に対応していません。

❗ ご注意

- 本機は525i(480i)の標準テレビ放送信号で出力された映像を録画します。ハイビジョン信号は録画できません。

デジタルテレビ/デジタルチューナーを接続する

地上デジタルやBSデジタルなど、別売りのテレビやチューナーで受信する番組を録画できます。有料放送の受信には、専門放送局との受信契約が必要です。接続するチューナーの取扱説明書も併せてご覧ください。



S映像コードで接続するときは、システムメニューで「セットアップ」の「画面設定」を選び、「外部入力映像設定」の「入力1」を「S映像」にします。映像コード(黄)は外します。

BSデジタルやデジタルCSの映像が乱れるときは

本機の録画防止機能(コピーガード)が働いている可能性があります。この場合、チューナーを直接テレビに接続してください。

準備 5

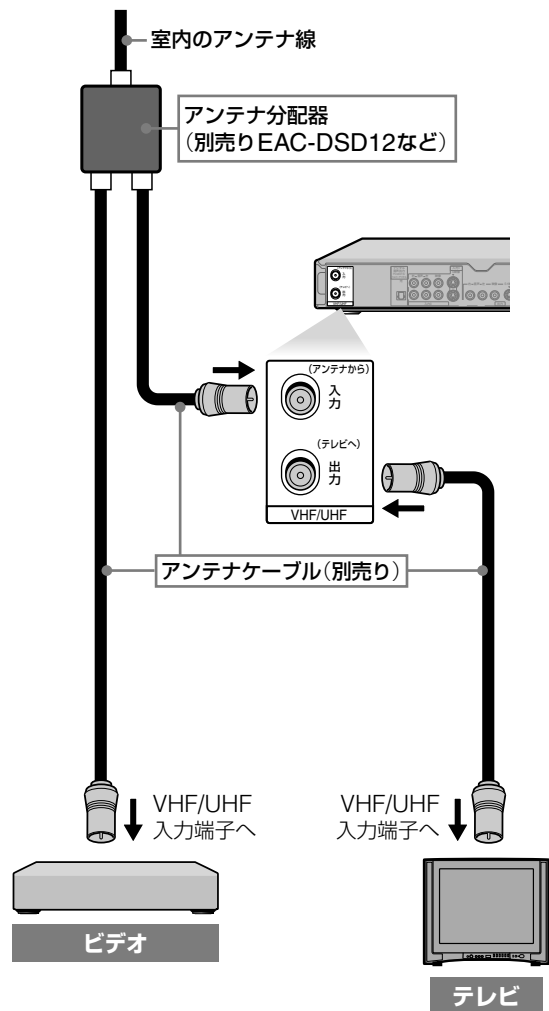
ビデオやAVアンプをつなぐ

ビデオやAVアンプ、ビデオカメラなどを接続します。接続しない場合は[準備6]へ進んでください(18ページ)。

ビデオをつなぐ

アンテナをつなぐ

ビデオでも番組を録画したいときは、アンテナ分配器(別売り)でビデオにもアンテナを接続します。

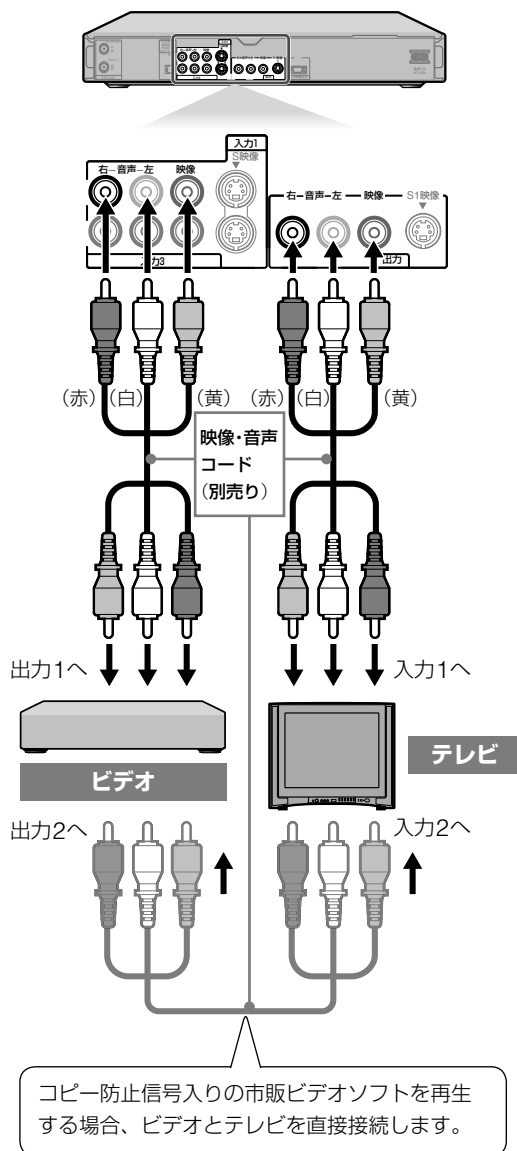


⚠️ご注意

- 本機の出力端子と他機の入力端子を接続し、同時にその機器の出力端子と本機の入力端子を接続しないでください。ブーンという音が出ることがあります。

音声・映像コードをつなぐ

本機でビデオからの映像を録画したいときは、ビデオの映像・音声出力端子と本機の映像・音声入力端子を接続します。



⚠️ご注意

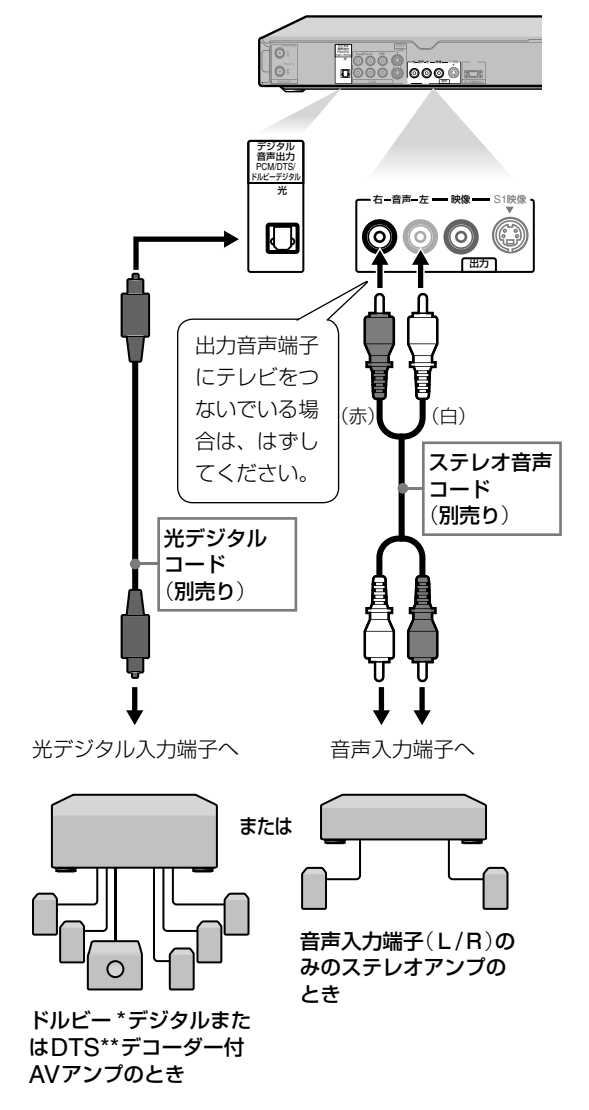
- ビデオデッキなどの映像記録機器を経由してつなぐと、映像が乱れることがあります。

ビデオにS映像出力端子があるときは

S映像コードでも接続できます。この場合は、システムメニューで「セットアップ」の「画面設定」を選び、「外部入力映像設定」の「入力1」を「S映像」にします。映像コード(黄)は外します。

AVアンプをつなぐ

アンプの種類や端子に合わせて接続します。

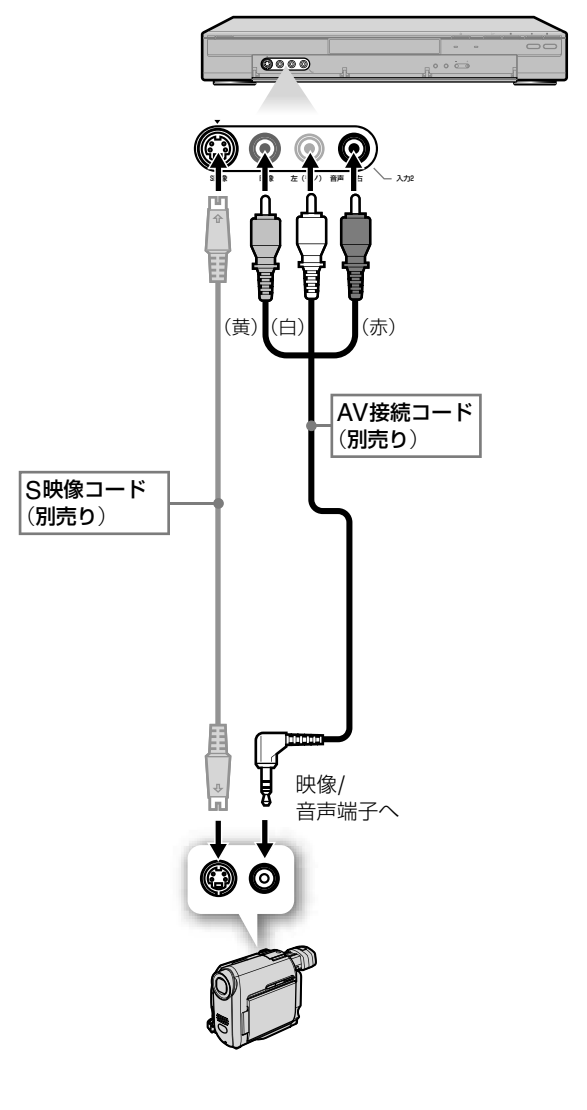


* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

**DTSおよびDTS Digital OutはDigital Theater Systems, Inc.の商標です。

ビデオカメラをつなぐ

本機前面の入力2端子に接続すると便利です。

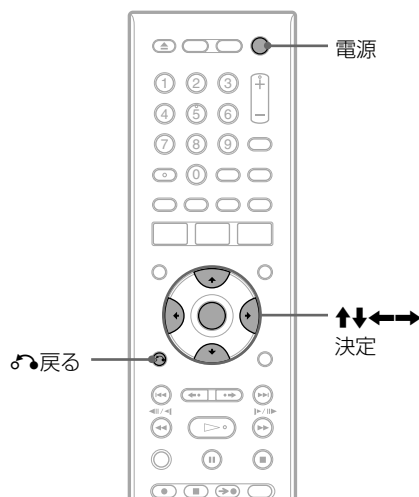


👁️ちょっと一言

- AV接続コードは接続機器の出力がモノラルのときは、左(モノ)につなぎます。
- 入力2端子は、映像コード(黄)、S映像コードのどちらで接続されているかを自動判別します。両方つないだ場合は、S映像端子が優先されます。本機で入力端子の設定は必要ありません。

かんたん設定をする

本機をお使いいただくための基本の設定をします。かんたん設定の完了後、初めて番組表を表示できるまでに1日程度かかりますので、ご注意ください。



1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。

2 テレビの電源を入れ、本機の映像が映るようにテレビの入力を「ビデオ1」、「ビデオ2」、「外部入力」などに切り換える。

「かんたん設定」画面が表示されます。

表示されないときは、システムメニューで「セットアップ」の「かんたん設定」を選んで、かんたん設定を始めます(72ページ)。

3 決定ボタンを押す。

ガイドにしたがって、以下の項目を設定してください。各設定は、 $\updownarrow\leftrightarrow$ で選び、決定ボタンで決定します。

1つ前の設定に戻るには、 \curvearrowright (戻る)ボタンを押します。

時刻設定

時報どおりに時刻設定しないと、番組表データの受信や予約録画ができません。

年/月/日/時/分/秒を合わせ、時報に合わせて決定ボタンを押します。お買い上げ時は2005年になっていますのでご注意ください。

地域番号

「Gガイド/Gコード地域番号・放送局表」(19ページ)から、お住まいの地域番号を選んでください。番組表データ受信に必要な設定です。

🗨️ ちょっと一言

- 地域番号で迷ったときは、お住まいの地域の放送局を多く含む地域番号を選びます。

自動チャンネル設定

受信できるチャンネルを自動で設定します。

TVタイプ

映像が16:9サイズのタイトルや、市販のDVDビデオを再生するときの画面サイズを設定します(70ページ)。接続したテレビに合わせて設定を選ぶ。

▷「16:9」:16:9のワイドテレビやワイドモードのあるテレビに接続している場合。



▷「4:3レターボックス」:4:3のテレビに接続している場合。ワイド映像は画面の上下に黒い帯が表示される。



▷「4:3パンスキャン」:4:3のテレビに接続している場合。16:9映像の左右をカットして表示する。



音声出力

「準備5:ビデオやAVアンプをつなぐ」(16ページ)で選んだ音声コードの接続に合わせます。

▷「はい:アナログ出力(右-音声-左)」:ステレオ音声コードで接続時に選ぶ。

▷「はい:デジタル音声出力」:デジタルコードで接続時に選ぶ。続けてデジタル出力の設定をします。詳しくは「音声設定」の「音声出力」(71ページ)にある「ドルビーデジタル」および「DTS」をご覧ください。

▷「いいえ」:本機をテレビとだけ接続しているときに選ぶ。

4 終了画面で決定ボタンを押す。

接続と基本設定が、完了します。

→ CATVを受信しているときは

かんたん設定後、CATVのチャンネルを追加します(27ページ)。

本機を直接CATVのアンテナ端子に接続している場合は、Gガイド放送局の地域番号(19ページ)をCATV会社にお問い合わせください。本機では有料のチャンネルを見ることができません。

🗨️ ちょっと一言

- 再度かんたん設定をするときは、停止中にシステムメニューの「セットアップ」から「かんたん設定」を選びます(72ページ)。「セットアップ」では設定項目を個別にも設定できます。

📌 ご注意

- 地域番号入力後に番組表データの受信が始まると、チャンネル合わせが中断され、チャンネルが正しく設定されない場合があります。その場合、もう一度、かんたん設定をしてください(72ページ)。
- 地域番号を変えると、番組表からの予約録画が正しくされない場合があります。

Table of broadcast stations in the Kanto region (都道府県: 茨城, 栃木, 群馬, 埼玉). Columns include 地域番号, 放送局名, 表示チャンネル, 受信チャンネル, and ガイドチャンネル.

Table of broadcast stations in the Chubu region (都道府県: 千葉, 東京, 神奈川). Columns include 地域番号, 放送局名, 表示チャンネル, 受信チャンネル, and ガイドチャンネル.

Table of broadcast stations in the Kansai region (都道府県: 神奈川, 山梨, 長野, 松本, 飯田, 岡谷・諏訪, 新潟, 新潟(長岡), 上越, 富山, 高岡, 石川). Columns include 地域番号, 放送局名, 表示チャンネル, 受信チャンネル, and ガイドチャンネル.

番組表を正しく受信できるか確認する

かんたん設定(18ページ)を完了後、チャンネルの設定状態を確認します。チャンネルが正しく設定されていないと、番組表データが受信できません。番組表データが正しく受信できるよう設定されているかを、以下の方法で確認し、必要に応じて設定を変更してください。

CATVやマンションの共同受信システムでBSの放送(BSアナログ放送: NHK衛星第1、NHK衛星第2、WOWOW)を視聴している場合は、ステップ1～ステップ5(24～26ページ)の確認・設定を行ってください。

チャンネル設定を確認する

1 チャンネルの設定状態を確認する。

- ① 停止中にシステムメニューボタンを押す。
- ② 「セットアップ」を選び、決定する。
- ③ 「基本設定」-「地上波設定」-「手動チャンネル設定」の順に選び、決定する。

手動チャンネル設定画面が表示されます。

番組表データ受信のしくみ

正しく接続と設定を行った後、本機は「Gガイド」を利用して、番組表データを配信する放送局(ホスト局)からデータを受信します。初めて番組表を受信・表示するまでには、約1日(24時間)程度かかります。番組表データはホスト局から1日に数回、決まった時刻に配信され更新されます。

Gガイド/Gコード地域番号・放送局表

例: 045 横浜1(かんたん設定で選んだ地域番号)

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
神奈川	横浜1	045	MXテレビ	14	14	270
			tvk	48	48	298
			NHK教育	50	50	2138
			NHK総合	52	52	2128
			日本テレビ	54	54	260
			TBS	56	56	518
			フジテレビ	58	58	264
			テレビ朝日	60	60	522
			テレビ東京	62	62	524

手動チャンネル設定画面

表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル	アップダウン選局	微調整
50	50	2138	する	自動
51	51	----	しない	自動
52	52	2128	する	自動
53	53	----	しない	自動
54	54	260	する	自動
55	55	----	しない	自動

↓を繰り返し押し、選んだ地域番号のすべての放送局について確認します。ただし、テレビで受信できない放送局は確認不要です。

「アップダウン選局」が「する」になっていますか?

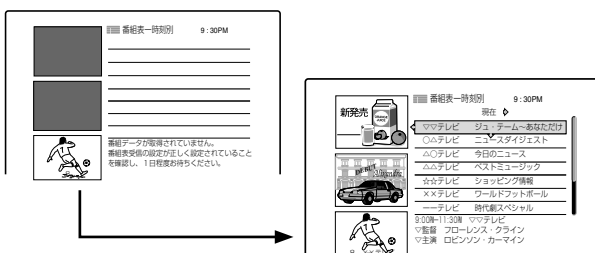
はい

いいえ

「しない」になっている行がある。

ステップ1～ステップ5(24～26ページ)の手順を行い、チャンネルの設定を変えてください。

2 (戻る) ボタンを繰り返し押しして画面を閉じ、番組表が受信できるまで、1日待つ。



以降ステップ1～ステップ5(24～26ページ)の手順は不要です。

その他のチャンネル設定(チャンネルの追加、表示チャンネルの変更、見ないチャンネルのとばしかた)は26、27ページをご覧ください。

1日待っても番組表が表示されないときは、「故障かな?」と思ったらの番組表の項(74ページ)をご覧ください。

ステップ1:現在受信しているチャンネルをチャンネル設定表に記入する

かんたん設定で自動で設定されたチャンネル設定を、下記のチャンネル設定表に書き出します。新聞などのテレビ欄と筆記具をご用意ください。以下はかんたん設定で「045横浜1」を地域番号として選んだ場合の例です。

チャンネル設定表

かんたん設定で選んだ地域番号と地域名

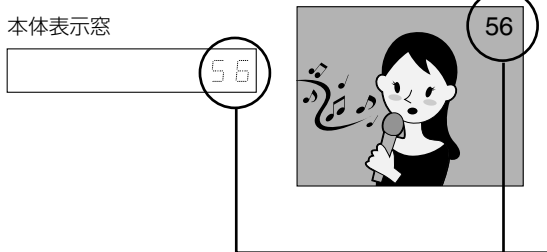
(例:045横浜1)

A	B	C	D	E	F	G
表示されているチャンネル番号	放送局名	ホスト局 (●印の放送局)	表示希望チャンネル番号	受信チャンネル	ガイドチャンネル	アップダウン選局
(例) 52	NHK総合		1	52	2128	する

① ⏪(戻る) ボタンを繰り返し押して画面を閉じてから、チャンネル+/-ボタンを押して本体表示窓やテレビ画面に表示されるチャンネル番号をすべて確認し、Aに記入する。

「入力1」、「入力2」、「入力3」、は記入不要です。

本機でテレビを見たときのチャンネル番号



② 映っている番組の放送局名を新聞などのテレビ欄で調べ、Bに記入する。



放送局がわからない場合は、ステップ2以降の記入は不要です。

③ Bに下記を記入したときは、二重線で消す。

- 同じ放送局名を2回書いた場合、映りが悪いほうの放送局
- 見ない放送局
- 番組表が表示されない放送大学やCATV独自の放送局

二重線で消したものについては、ステップ2以降の記入は不要です。

例:地域番号「045横浜1」

A	B	C	D	E	チ
表示されているチャンネル番号	放送局名	ホスト局 (●印の放送局)	表示希望チャンネル番号	受信チャンネル	
1	NHK総合				
3	NHK教育				
50	NHK教育				
52	NHK総合				
54	日本テレビ				
56	TBS				

ステップ2:チャンネル設定表を完成させる

「Gガイド/Gコード地域番号・放送局表」(19ページ)を見て、かんたん設定で選んだ地域番号の情報を記入します。

チャンネル設定表の完成例

A	B	C	D	E	F	G
表示されているチャンネル番号	放送局名	ホスト局 (●印の放送局)	表示希望チャンネル番号	受信チャンネル	ガイドチャンネル	アップダウン選局
50	NHK教育		3	50	2138	する
52	NHK総合		1	52	2128	する
54	日本テレビ		4	54	260	する
56	TBS	●	6	56	518	する

- ① 「Gガイド/Gコード地域番号・放送局表」で●が付いている放送局(ホスト局)を確認し、●に●を記入する。

例:「045 横浜1」のホスト局(TBS)

地域名	地域番号	放送局	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
横浜1	045	MXテレビ			
		tvk			
		NHK			
		NHK			
		日本テレビ	54	54	260
TBS●	56	56	518		

- ② 本体表示窓やテレビ画面に表示したいチャンネル番号(表示希望チャンネル番号)を●に記入する。

例:TBSのチャンネル番号が「56」と表示されるが、「6」にしたい。

- 同じ番号を複数の行に書かないでください。
- 現在表示されている番号でよいときは●の番号をそのまま記入します。

- ③ ●のチャンネル番号をそのまま●に記入する。

- ④ ●の放送局のガイドチャンネルを「Gガイド/Gコード地域番号・放送局表」で調べ、●に記入する。

例:「045横浜1」のTBSのガイドチャンネル

地域名	地域番号	放送局	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
横浜1	045	MXテレビ			
		tvk			
		NHK			
		NHK			
		日本テレビ	54	54	260
TBS●	56	56	518		

- 放送局名が見つからないときは、隣接する地域の一覧から探してください。見つからない場合は「----」と記入します。
- BSの放送(BSアナログ放送:NHK衛星第1、NHK衛星第2、WOWOW)のガイドチャンネルは27ページをご覧ください。

- ⑤ ●のすべての行に、「する」と記入する。

ステップ3:チャンネル設定表に合わせチャンネルの設定を変更する

1 手動チャンネル設定画面を表示する。

- ① 停止中にシステムメニューボタンを押す。
- ② 「セットアップ」の「基本設定」から「地上波設定」→「手動チャンネル設定」の順に選び、決定する。手動チャンネル設定画面が表示されます。

2 チャンネル設定表の●～●に合わせ、手動チャンネル設定画面で設定を変更する。

A	B	C	D	E	F	G
表示されているチャンネル番号	放送局名	ホスト局 (●印の放送局)	表示希望チャンネル番号	受信チャンネル	ガイドチャンネル	アップダウン選局
50	NHK教育		3	50	2138	する
52	NHK総合		1	52	2128	する
54	日本テレビ		4	54	260	する
56	TBS	●	6	56	518	する

基本設定-地上波設定-手動チャンネル設定					
表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル	アップダウン選局	微調整	
1	1	----	する	自動	
2	2	----	しない	自動	
3	3	----	する	自動	
4	4	----	しない	自動	
5	5	----	しない	自動	

- ① ●と同じ「表示チャンネル」の行を選び、決定する。

例:NHK教育テレビの表示希望チャンネル「3」を選択。

- ② ↑↓で●の受信チャンネルを入力し、→を押す。

例:NHK教育テレビの受信チャンネル「50」に変更。

- ③ 数字ボタンで●のガイドチャンネルを入力し、→を押す。

例:NHK教育テレビのガイドチャンネル「2138」に変更。

- ④ ↑↓で「アップダウン選局」を「する」にして、決定する。

警告が表示されたら、「ガイドチャンネルが入力できない場合は」(26ページ)をご覧ください。

表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル	アップダウン選局	微調整
3	50	2138	する	自動

- 3 ①～④の操作を繰り返し、チャンネル設定表に記載のすべての放送局について設定する。

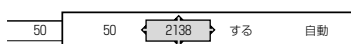
次のページにつづく➡

→ ガイドチャンネルが入力できない場合は

すでに使われているガイドチャンネルは入力できません。以下の手順で消去してから、元の手順に戻りガイドチャンネルを入力してください。

例：手動チャンネル設定画面で、NHK教育テレビのガイドチャンネル「2138」が使われている行(表示チャンネルの「50」)を探し、ガイドチャンネルを消去する。

- ① 表示チャンネル「50」の行を選んで決定し、→を押す。



- ② 数字ボタンの「0」を繰り返し押して、「ガイドチャンネル」を「----」にして、→を押す。
- ③ ↑↓で「アップダウン選局」を「しない」にして、決定する。
ホスト局(●の付いた放送局)のガイドチャンネルを消去すると確認画面が表示されますが、「はい」を選びます。

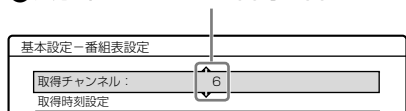
BS放送などのガイドチャンネルが「外部入力チャンネル設定」で設定されているとき

例：「外部入力チャンネル設定」画面でNHK衛星第1のガイドチャンネルを消去します。

- ① 「セットアップ」の「基本設定」から「外部入力チャンネル設定」を選び、決定する。
- ② NHK衛星第1のガイドチャンネル「74」を設定している行を選び、決定する。
- ③ →で「ガイドチャンネル」を選び、数字ボタンの「0」を繰り返し押して「----」にして、決定する。
同様に他のBSアナログ放送局のガイドチャンネルも消去したら、再び「地上波設定」の手動チャンネル設定画面に戻ります。

ステップ4：番組表データの取得チャンネルを確認する

- ① 「セットアップ」の「基本設定」から「番組表設定」を選び、決定する。
- ② 「取得チャンネル」が、ホスト局(●の付いた放送局)の表示希望チャンネル番号と合っているか確認する。

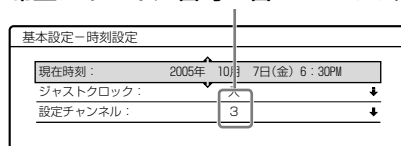


設定が違う場合、「取得チャンネル」を選び、決定する。
↑↓でチャンネルを変更し、決定する。確認画面が表示されたら「はい」を選びます。

ステップ5：時刻データの設定チャンネルを確認する

時刻が正しくないと番組表データを受信できません。本機は時刻データを受信して2分以内の時刻のずれを自動補正します。

- ① セットアップの「基本設定」から「時刻設定」を選び、決定する。
- ② 「設定チャンネル」が、NHK教育テレビの表示希望チャンネル番号と合っているか確認する。



設定が違う場合、「設定チャンネル」を選び、決定する。
↑↓でチャンネルを変更し、決定する。

→ チャンネル設定が終わったら

チャンネル設定が終わったら、↶(戻る)ボタンを繰り返し押し画面を閉じ、番組表データを受信できるまで1日待ちます。電源を切っても受信できます。1日待っても番組表データが受信できないときは、「故障かな?と思ったら」の番組表の項(74ページ)をご覧ください。

⚠「番組表設定」を誤って変更し、元に戻せなくなったら「セットアップ」の「オプション」から「工場出荷設定」を選び、「基本設定」でお買い上げ時の設定に戻します。その後、「かんたん設定」(72ページ)をやり直し、再度ステップ1～ステップ5を行います。

チャンネル番号(表示チャンネル)を変更する

表示窓やテレビ画面に表示されるチャンネル番号を変えることができます。

例：NHK教育テレビが、本体表示窓やテレビ画面で50チャンネルで映っているが、3チャンネルで映るようにしたい。

- ① 手動チャンネル設定画面を表示する。
「セットアップ」の「基本設定」から、「地上波設定」-「手動チャンネル設定」の順に選びます。
- ② 表示チャンネル「50」の行(自動で設定された表示チャンネルの行)を選び、決定する。
- ③ →でガイドチャンネルを選び、数字ボタンの「0」を繰り返し押してガイドチャンネルを消去し、→を押す。
- ④ ↑↓で「アップダウン選局」を「しない」にして、決定する。
ホスト局(●の付いた放送局)のガイドチャンネルを消去すると確認画面が表示されますが、「はい」を選びます。

- ⑤ 表示チャンネル「3」(表示したい番号)の行を選び、決定する。
- ⑥ ↑↓で受信チャンネルを「50」に設定し、→を押す。
- ⑦ 数字ボタンでガイドチャンネルに「2138」(変更する放送局のガイドチャンネル)を入力し、→を押す。
各放送局のガイドチャンネルは「Gガイド/Gコード地域番号・放送局表」(19ページ)をご覧ください。
- ⑧ ↑↓で「アップダウン選局」を「する」にして、決定する。



他のチャンネルも変更するときは、同様の操作を繰り返します。

●表示チャンネルを変更したときは以下の操作も行ってください

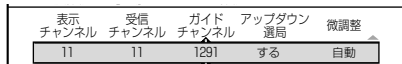
- ・「Gガイド/Gコード地域番号・放送局表」で●が付いている放送局(ホスト局)の表示チャンネルを変更した場合は、番組表取得チャンネルを変更してください(26ページ)。
- ・NHK教育テレビの表示チャンネルを変更した場合は、時刻データ設定チャンネルを変更してください(26ページ)。

チャンネルを追加する

かんたん設定の自動チャンネル合わせで設定されなかったチャンネルを手動で追加します。

例: 小田原で、静岡放送がテレビでは11チャンネルで映るのに、本機のかんたん設定では映るように設定されなかった。これを映るように設定したい。

- ① 手動チャンネル設定画面を表示する。
「セットアップ」の「基本設定」から、「地上波設定」-「手動チャンネル設定」の順に選びます。
- ② 表示チャンネル「11」(追加するチャンネル)の行を選び、決定する。
- ③ ↑↓で受信チャンネルを「11」に設定し、→を押す。
- ④ 数字ボタンでガイドチャンネルに「1291」(追加する放送局のガイドチャンネル)を入力し、→を押す。
各放送局のガイドチャンネルは「Gガイド/Gコード地域番号・放送局表」(19ページ)をご覧ください。
- ⑤ ↑↓で「アップダウン選局」を「する」にして、決定する。



他のチャンネルも追加するときは、同様の操作を繰り返します。

👁️ちょっと一言

- ・CATVのVHF/UHF放送の中には、本機で受信できるチャンネルがあります。手順③で、↑↓でCATVのチャンネル(C13～C63)を設定してください。ガイドチャンネルについては、CATV会社にお問い合わせください。
- ・表示チャンネルは62チャンネルまでですが、受信チャンネルはC63まで設定できます。

📌ご注意

- ・放送が受信できても、選んだ地域の一覧にない放送局は番組表に表示されないことがあります。

➡️ 不要なチャンネルを選ばないようにするには

手動チャンネル設定画面で、不要なチャンネルの「アップダウン選局」を「しない」にします。チャンネル+/-ボタンを使用時、「しない」にした放送局をとばして選局します。

BSやCATVの放送局を追加する

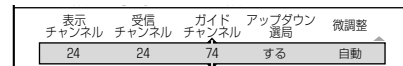
BSやCATVの放送局の番組を、番組表やGコードを使って予約録画できる場合があります。

CATVやマンションの共同受信システムでBSの放送を視聴している場合

例: NHK衛星第1(BS7)が24チャンネルで映っているとき

- ① 手動チャンネル設定画面で表示チャンネル「24」の行を選んで決定し、→を押す。
- ② 数字ボタンでガイドチャンネルに「74」(BS7のガイドチャンネル)を入れ、→を押す。
- ③ ↑↓で「アップダウン選局」を「する」にして、決定する。

警告が表示されたら、「BS放送などのガイドチャンネルが「外部入力チャンネル設定」で設定されているとき」(26ページ)をご覧ください。

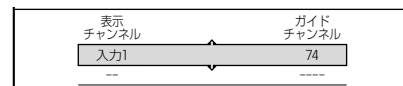


他の放送局も追加するときは、同様の操作を繰り返します。

BSまたはCATVチューナーを本機の入力1端子に接続している場合

- ① 「セットアップ」の「基本設定」から「外部入力チャンネル設定」を選び、決定する。
- ② 表示チャンネルが「--」の行を選び、決定する。
- ③ ↑↓で「入力1」を選び、→を押す。
- ④ 数字ボタンで追加したい放送局のガイドチャンネルを入れ、決定する。

警告が表示されたら、「ガイドチャンネルが入力できない場合は」(26ページ)をご覧ください。



他の放送局も追加するときは、上記の操作を繰り返します。

ガイドチャンネル一覧

放送の種類	放送局名:ガイドチャンネル
BS	NHK衛星第1: 74 NHK衛星第2: 76
	WOWOW: 73
ケーブルネットワーク	NNN24: 40 チャンネルNECO: 50
	ムービープラス: 49 ゴルフネットワーク: 51
その他	放送大学: 272

CATV独自の番組、放送大学は番組表での予約録画はできません。

リモコンで他機も操作できるようにする

メーカー番号を設定すれば、テレビのチャンネルや音量、電源などを、本機のリモコンで操作できます。

テレビ電源ボタンを押したまま、メーカー番号の10の位、1の位の順で数字ボタンを押す。

1の位の数字ボタンを離してから、テレビ電源ボタンを離します。

メーカー番号が複数あるときは、設定したい機器が操作できるまで、順に試してください。

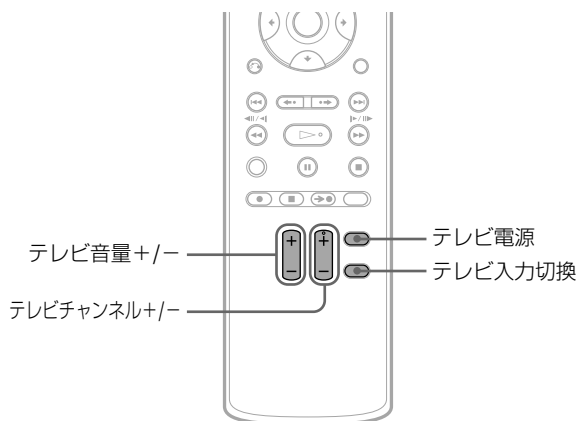
メーカー番号表

テレビのメーカー	メーカー番号
ソニー	01*
アイワ	17
NEC	09
三星電子(SAMSUNG)	18、19
三洋電機	07、15
シャープ	08
東芝	03
日本ビクター	06
パイオニア	10
日立製作所	04
フナイ	14
松下電器	02、13
三菱電機	05

* お買い上げ時の設定です。ソニー製・アイワ製の \square マーク付きテレビ。

→ テレビを操作できるボタン

本機のリモコンをテレビに向けて、テレビを操作できます。



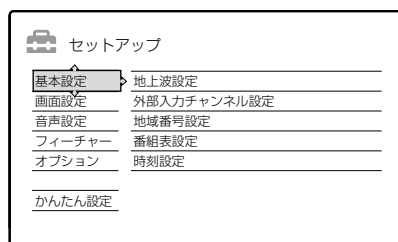
⚠️注意

- 数字ボタンでテレビのチャンネルは選ばません。
- 機種によっては、メーカー番号を合わせても操作できないことや、一部のボタンが使えないことがあります。
- 本機のリモコンの電池を取り換えると、メーカー番号が自動的にお買い上げ時の設定に戻ることがあります。その場合は、もう一度設定してください。

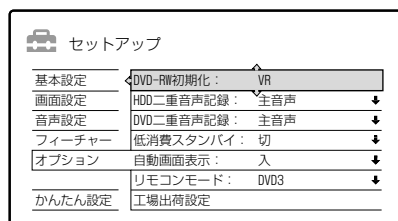
本機のリモコンで他のソニー製DVD機器が動作してしまうときは

他のソニー製DVD機器のリモコンモードが、本機と同じ「DVD3」(お買い上げ時の設定)に設定されているためです。本機の本体とリモコン両方を「DVD1」または「DVD2」に変更してください。

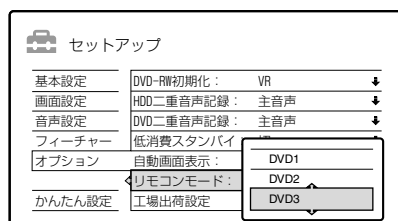
- 1 「かんたん設定」(18ページ)が終わっていることを確認する。
終わっていないときは、まず、かんたん設定を行ってください。
- 2 システムメニューボタンを押す。
- 3 「セットアップ」を選び、決定する。



- 4 「オプション」を選び、決定する。



- 5 「リモコンモード」を選び、決定する。



- 6 本体のリモコンモード(DVD1/DVD2/DVD3)を選び、決定する。

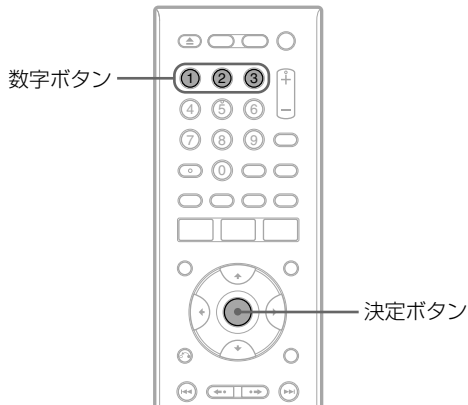
7 手順6で設定した本体のリモコンモードに、リモコンのリモコンモード(DVD1/DVD2/DVD3)を合わせる。

以下のように決定ボタンを押したまま、リモコンモード番号の数字ボタンを押します。

- ① 決定ボタンを押す。
- ② 決定ボタンを押したまま、変更したいリモコンモードの数字ボタンを押す。

リモコンモード	押すボタン
DVD1	数字ボタンの1
DVD2	数字ボタンの2
DVD3	数字ボタンの3

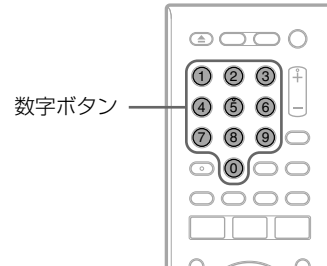
- ③ 約3秒以上押した後、ボタンを離す。



リモコンで本機のチャンネルを切り換える

リモコンの数字ボタンで本機のチャンネルを切り換えられます。

例:50チャンネルにするとき
「5」、「0」の順に押す。



→ 本体のリモコンモードを確認するには

電源「切」のときに、本体の■(停止)ボタンを押す。本体リモコンモードが表示窓に表示されます。

⚠️ ご注意

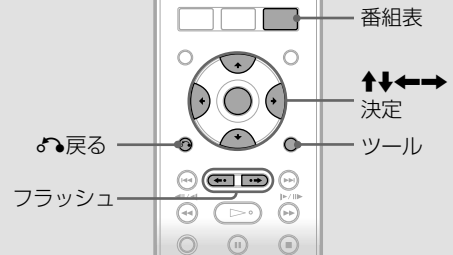
- 「DVD1」にすると、本機以外のソニー製DVDプレーヤーを本機のリモコンで操作できます。ただし、その機器付属のリモコンに「DVDポータブル」および「DVDコンボ」と表記のあるDVDプレーヤーは、本機のリモコンで操作できません。

本体のリモコンモードを変更していない場合は、リモコンのリモコンモードはお買い上げ時の「DVD3」にしてください。「DVD1」や「DVD2」に変更すると、本機の操作ができなくなります。

番組表 (EPG)

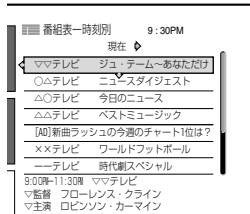
番組表を使う

8日分の番組表をテレビ画面に表示できます。見たい番組を選局したり、録画予約したりできます。



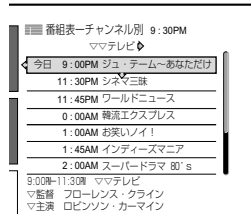
1 番組表ボタンを繰り返し押し、見たい番組表を表示する。
ジャンルやキーワードからも探せます (32ページ)。

時刻別



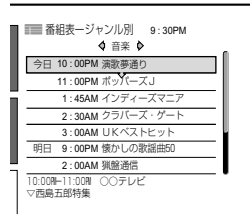
←→で時刻を切り換える。
先頭にホスト局(19ページ)が必ず表示されます。

チャンネル別



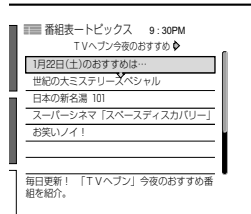
←→でチャンネルを切り換える。

ジャンル別



映画やスポーツなど、放送局指定のジャンル別に番組表示。
←→でジャンルを切り換える。

トピックス

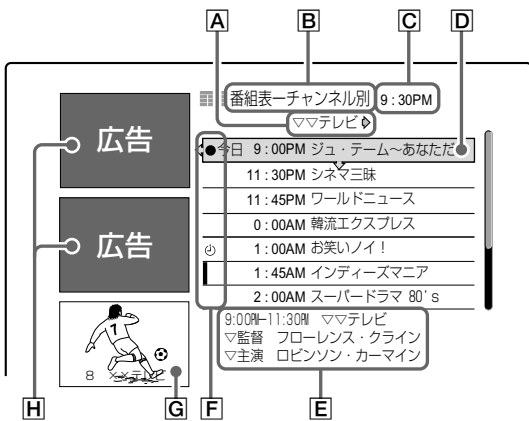


トピックスやお知らせを表示。
←→でトピックを切り換える。

- フラッシュ ←•/•→ ボタンを押すと、前/次ページに移動できます。
- 番組表を閉じるには、↶(戻る) ボタンを押す。

番組表の見かた

例:チャンネル別番組表



- A** 時刻/放送局/ジャンル/トピック
番組表の種類で切り換わる。
- B** 番組表の種類
- C** 現在時刻
- D** 番組名(または広告)
- E** 番組説明
選ばれている番組(ここでは**D**)の説明が表示される。

- F** 録画/表示マーク
●(赤色): 録画中の番組
⊙(赤色): 録画予約されている番組
⊙(灰色): 予約の一部が録画できない番組
- I**: 同じ時間に他チャンネルの番組が録画予約されている番組
- G** 番組表の表示直前に見ていた番組
- H** パネル広告
選ぶと説明が表示される広告もある。

番組表が表示できないときは

本機を正しく接続・設定後、はじめて番組表を表示するまでに1日(24時間)程度かかります。1日経っても番組表が表示できない場合は、「故障かな?と思ったら」の番組表の項(74ページ)をご覧ください。

指定した日付の番組表を見るには

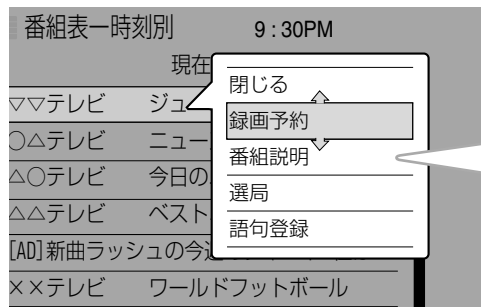
- ① 番組表表示中に、ツールボタンを押す。
- ② 「日付指定」を選び、決定する。
- ③ 日付を指定し、決定する。
8日分の日付から指定できます。

2 番組を選び、決定する。

サブメニューが表示されます。

3 実行したい項目を選び、決定する。

選んだ項目が実行されます。

**各サブメニュー項目でできること**

項目	設定
閉じる	サブメニューを閉じる。
録画予約	録画予約する(34ページ)。
番組説明	番組の詳しい情報を表示する。
選局	番組を表示する。放送前の番組の場合は、同じチャンネルで放送中の番組を表示する。
語句登録	番組名の一部などを語句登録する(33ページ)。

番組の詳しい情報を見るには

手順**3**で「番組説明」を選び、決定する。番組の詳しい情報を見ることができます。

👁️ちょっと一言

- 番組表の一番上には、ホスト局が放送する番組が表示されません。
- 録画したタイトルの名前には、番組表に表示される番組名が引き継がれます(全角32文字/半角64文字まで)。

🚫ご注意

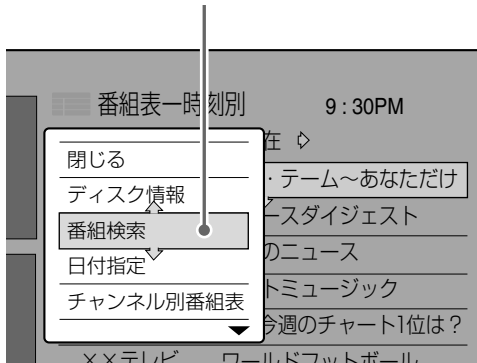
- 以下の番組は番組表に表示されません。
 - チャンネルをとばす設定(アップダウン選局、68ページ)をした放送局の番組
 - BSデジタルやCS放送の番組(CATV受信の場合も含む)
 - 放送大学の番組
 - CATV独自の番組(CATVのVHF/UHF放送の番組は表示できることがあります。CATV局にお問い合わせください。)

ジャンルやキーワードで番組を探す

条件に合った番組をジャンルやキーワードなどから検索し、一覧表示します。

1 番組表表示中に、ツールボタンを押す。

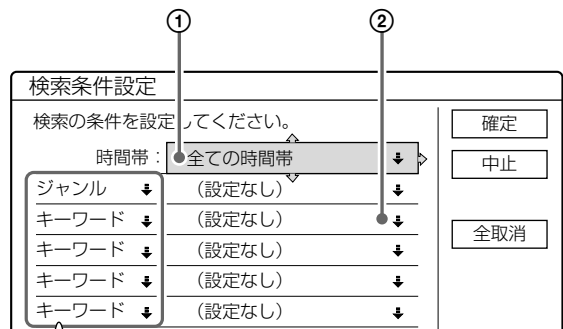
2 「番組検索」を選び、決定する。



検索条件設定画面が表示されます。

3 条件を設定する。

①と②の各条件を設定します。



7項目すべてを「ジャンル」、「キーワード」、または「除外ワード」に設定できます。「ジャンル」は、本機で用意されているジャンルやサブジャンルから選びます(下記)。

• 「全取消」:すべての設定を取り消す。

① 「時間帯」を選び、決定する。

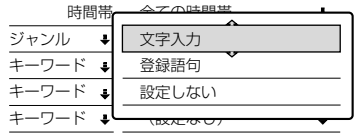
放送時間帯を選び、決定する。

ジャンルについて

あらかじめ以下が設定されています。

ジャンル	サブジャンル
地上波映画	全て、邦画、洋画
BS映画	全て、邦画、洋画
ドラマ	全て、一般ドラマ、時代劇、海外ドラマ
スポーツ	全て、野球、サッカー、ゴルフ、相撲、陸上競技、バレーボール、テニス、その他球技、ウィンター、モーター、水泳、格闘技、公営競技、国際大会
音楽	全て、国内ポップス、海外ポップス、クラシック、ジャズ、歌謡曲・演歌、コンサート、ランキング、カラオケ、キッズ、バラエティ
バラエティ	全て、クイズ、お笑い
アニメ	全て

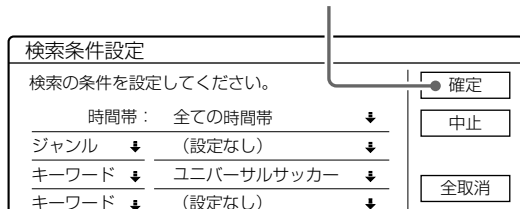
- ② 「キーワード」、または「除外ワード」の「(設定なし)」の行を選び、決定する。
 語句の指定方法(ここでは「文字入力」)を選び、決定する。



文字入力画面で新しい語句を入力する。
 文字入力の方法は、66ページをご覧ください。

- 「登録語句」: あらかじめ入力した語句(下記「語句を登録する」)から指定する。

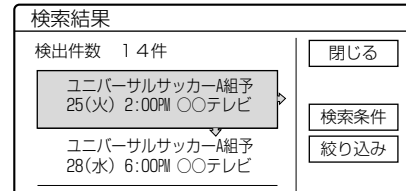
4 「確定」を選び、決定する。



検索された番組が一覧表示されます。

5 番組を選び、決定する。

表示されるサブメニューから、実行したい項目を選ぶ。詳しくは「各サブメニュー項目でできること」(31ページ)をご覧ください。



- 「検索条件」: 検索条件を確認する。
- 「絞り込み」: 検索条件を変更・追加する。

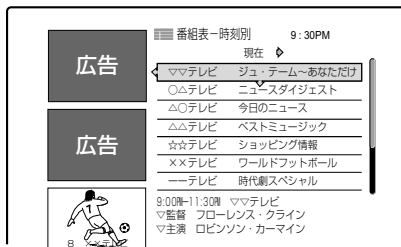
⚠️ ご注意

- 文字を入力する場合、キーワードはカナや漢字、全角や半角で区別されます。例えば「野球」というタイトルの番組は、「やきゅう」と登録しても検索されません。

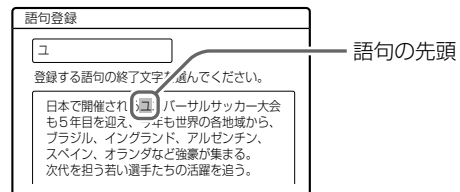
語句を登録する

最大18個までの語句を登録して、「おまかせ条件設定」のキーワードや除外ワードに使えます(36ページ)。文字入力(66ページ)、または以下のように番組説明の一部を選んで登録ができます。最大で全角10文字/半角20文字まで入力できます。

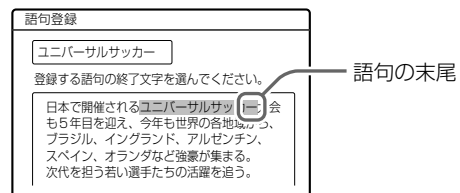
- ① 番組表から登録したい語句を含む番組を選び、決定する。



- ② 「語句登録」を選び、決定する。
 ③ 番組説明から登録したい語句の先頭を選び、決定する。



- ④ つづいて語句の末尾を選び、決定する。



- ⑤ 「閉じる」を選び、決定する。

- 「検索画面へ」: 検索条件設定画面で番組を検索する(32ページ)。

登録語句を確認・削除するには

検索条件設定画面で「登録語句」を選んだり、文字入力画面で「語句一覧」を選ぶと、登録語句選択画面に語句の一覧が表示されます。

登録語句選択画面で「語句削除」を選ぶと、登録済みの語句を削除できます。

録画・予約する

番組表で録画する

HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video

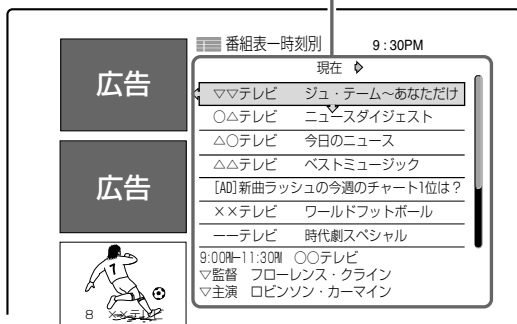
他の予約方法と合わせて、40番組まで予約できます。
現在放送中の番組も同じ方法で録画できます。

1 番組表ボタンを繰り返し押し、 見たい番組表を表示する。

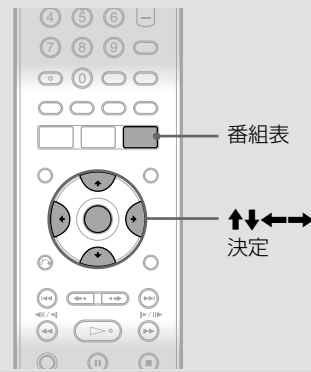
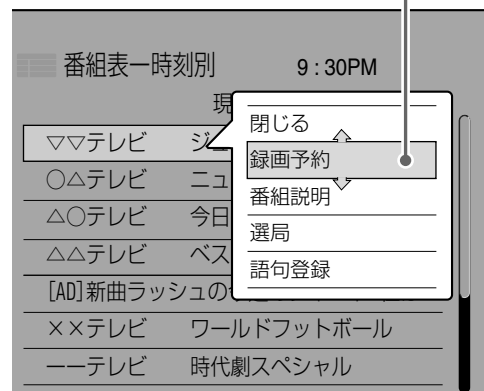
番組表について詳しくは、30ページをご覧ください。

2 番組を選び、決定する。

番組表



3 「録画予約」を選び、決定する。

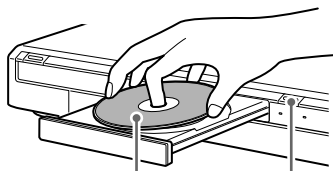


DVDに録画するとき

DVDに直接録画することもできます。目的に合わせてディスクを選んでください(45ページ)。
録画後、他機で再生する場合はファイナライズしてください(63ページ)。

ディスクの入れかた

- ① 合(開/閉)ボタンを押してディスクトレイを開け、ディスクを入れる。



再生/録画面を下に 合(開/閉)ボタン

- ② もう一度合(開/閉)ボタンを押してトレイを閉める。
本体表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。

一度も録画していないDVDを入れると、自動的に初期化されます。DVD-RWでは「オプション」の「DVD-RW初期化」(72ページ)で設定された記録フォーマット(「VR」または「ビデオ」)で、DVD-Rではビデオモードで初期化されます。未記録状態のDVD-Rの場合はVRモードで初期化し直すことができません(63ページ)。

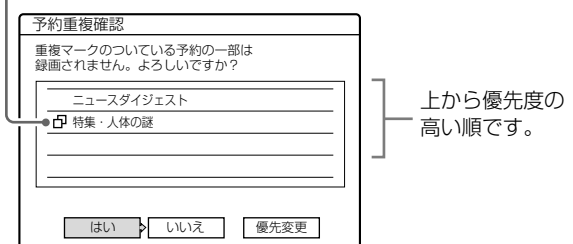
トレイをロックする(チャイルドロック)

お様が誤ってディスクトレイを開け閉めしないよう、トレイをロックすることができます。
電源を入れている状態で、本機が停止中に■(停止)ボタンを約10秒間押し続けます。本体表示窓に「LOCKED」が表示され、ディスクトレイがロックされます。解除するときは、もう一度■(停止)ボタンを約10秒間押し続けます。

予約が重なったときは

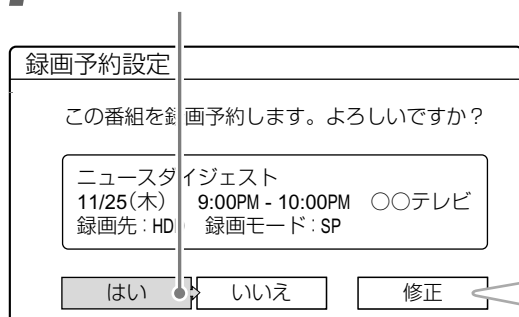
手順4の後に予約重複確認の画面が表示されます。新たに登録した予約と重複し、一部またはすべてが録画されない番組には、予約重複マーク(☐)が付きます。

新たな予約を設定したことで重複した番組



- 「はい」: 予約をそのまま設定する。予約の優先順位に従って録画します。
- 「いいえ」: 予約を取り消す。
- 「優先変更」: 予約の優先順位を変更する(40ページ)。

4 「はい」を選び、決定する。



番組表に戻り、予約した番組に☺が表示されます。本体の録画予約ランプが点灯し、予約待機になります(電源を切っても、録画開始時刻になると録画が実行されます)。録画が始まると●(赤色)が表示されません。

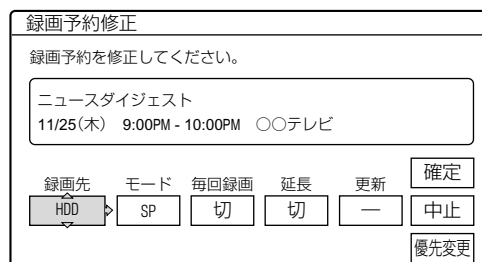
DVDに録画するには

上記の画面で「修正」を選んで決定し、「録画先」をDVDに設定する(右記)。

「修正」を選び、決定すると

より細かく予約できます。

←→で項目を選び、↑↓で設定する。



項目	設定
録画先	HDDかDVDを選ぶ。
モード	録画モード(44ページ)を変更する。
毎回録画	毎週や毎日放送される番組を録画する。
延長	最長60分まで録画終了時間を遅らせる。スポーツ延長対応(42ページ)と併用で、さらに延長できる。
更新 (HDDのみ)	毎回録画で、新しい回の録画時に前回分を消し、空き容量を確保する。
優先変更	予約の優先順位を変更する(40ページ)。

予約を変更・取消するには

- ① 予約リストまたは番組表から、変更・取消する番組を選び、決定する。
- ② 項目を選び、決定する。
 - ・「予約修正」:「修正」を選び、決定すると(上記)と同様。
 - ・「予約消去」:予約を取り消す。

録画モード自動調整について

録画先のディスク容量が不足すると、空き容量に合わせて自動的に低い録画モードに変更し、番組をすべて録画しようとする。この機能はお買い上げ時に「入」に設定されています(42ページ)。

予約録画中に録画を止めるには

■(録画停止)ボタンを押す。

音声多重放送を録画するときは

高速ダビングができるよう、お買い上げ時の設定では主音声のみ記録されます。主/副両音声(HDDのみ)または副音声を記録するには、「セットアップ」の「オプション」で、「HDD二重音声記録」または「DVD二重音声記録」から音声を選んでください(72ページ)。VRモードのDVD-RWとDVD-Rでは、設定に関わらず主/副両音声記録されます。

👁️ちょっと一言

- ・録画中に電源を切っても録画がつづきます。
- ・番組表に表示されない日時(8日以上先)の番組は、日時指定やGコード番号で予約できます(38ページ)。
- ・キーワードやジャンルなどを指定して番組を検索したり、録画予約したりできます(36ページ)。
- ・スポーツ中継などの放送延長に合わせ、その後の録画が自動的に延長されることがあります(「スポーツ延長対応」42ページ)。
- ・番組表からDVDに予約録画したタイトルには、タイトル名の後に「GG」が付きます。番組表からHDDに予約録画し、編集せずにDVDにダビングしたタイトルも同様です。

📌ご注意

- ・優先順位の高い番組(41ページ)を録画中、重なった予約は録画されません。
- ・「毎回録画」を設定しても、優先順位の高い予約が重なっている日は予約録画されません。予約リスト(40ページ)上に、予約重複マーク(☐)が付いた番組は、優先順位を確認してください。
- ・「録画モード自動調整」(42ページ)が「入」でも、録画不可のメッセージが出たときは、DVDを入れ換えるか、HDDやDVD+RW、DVD-RWの場合はタイトルを消去して空きを作ってください(54ページ)。
- ・「録画モード自動調整」は、●(録画)ボタンによる録画(クイックタイマー)(39ページ)、シンクロ録画(64ページ)では動きません。また、HDDへの録画時、「自動消去」が「入」のときも動きません。
- ・AVマウス付きテレビ/チューナーからの録画予約については、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

興味のある番組を自動で録画する (X-おまかせ・まる録)

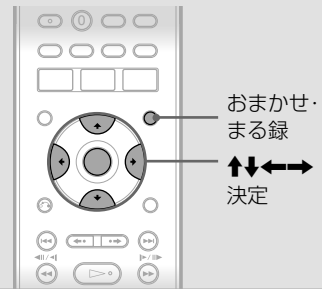
HDD

ジャンルやキーワードなど、お好みの条件に合った番組を番組表から検索し、HDDに自動で録画します。また、本機でのいろいろな操作を元にお客様の好みを学習し、おすすめ度の高い番組(おすすめ番組)を探して録画することもできます。

- 1 おまかせ・まる録ボタンを押す。
- 2 「未設定」の条件を選び、決定する。

X-おまかせ・まる録画面

★ X-おまかせ・まる録		4:12PM
★ おすすめ		SP 16件
1	未設定	
2	☆ クラシック	XP 2件
3	☆ ラーメン	SLP 5件
4	未設定	
5	温泉	29件
6	サッカー	15件



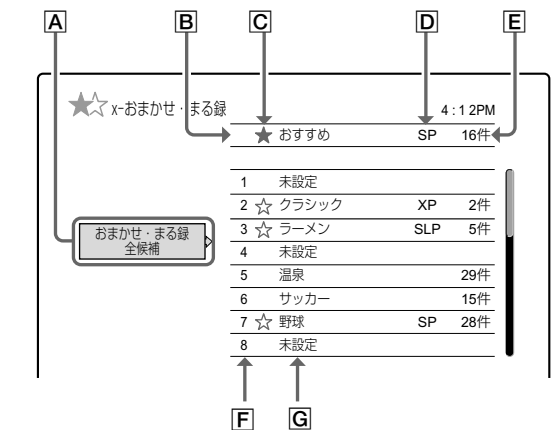
3 「おまかせ設定」を選び、決定する。

1	未設定	閉じる
2	☆ クラシック	候補を見る
3	☆ ラーメン	おまかせ設定
4	未設定	名称変更
5	温泉	優先変更
6	サッカー	

4 「おまかせ設定」を行う。

- 「おまかせ条件」: 手順5へ。
- 「自動録画」: 自動で録画するには、「入(録画モード)」を選ぶ。
- 「対象チャンネル」: 検索対象のチャンネルを選ぶ。

X-おまかせ・まる録画面の見かた



- | | |
|-------------------------|---|
| A 「おまかせ・まる録全候補」 | E 検索件数: 条件に合った番組件数 |
| B 「おすすめ」欄 | F おまかせ条件の番号 (1~10) |
| C 自動録画「入」マーク | G 条件名 (お買い上げ時は、おまかせ条件が3つ設定済み。変更も可能です。) |
| D 自動録画「入」時の録画モード | |

本機がおすすめする番組を自動で録画する (おすすめ番組)

本機が学習した情報を元に、おすすめ度の高い番組を自動で録画できます。

- ① 上記の手順2で「おすすめ」欄を選び、決定する。
- ② 「おすすめ設定」を選び、決定する。
 - 「自動録画」: 自動で録画するには、「入(録画モード)」を選ぶ。お買い上げ時には「切」に設定されています。
 - 「対象チャンネル」: 検索対象のチャンネルを選ぶ。
- ③ 「確定」を選び、決定する。

各設定条件にあった全ての候補を確認するには (X-おまかせ・まる録全候補)

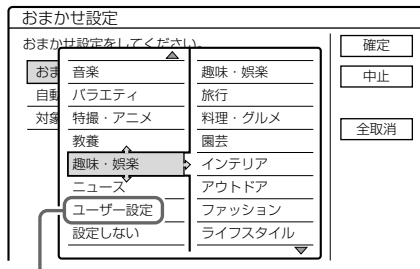
上記の手順2で「おまかせ・まる録全候補」を選び、決定する。最大150件まで表示され、→を押すと、各条件の候補が一覧表示されます。

X-おまかせ・まる録候補一覧

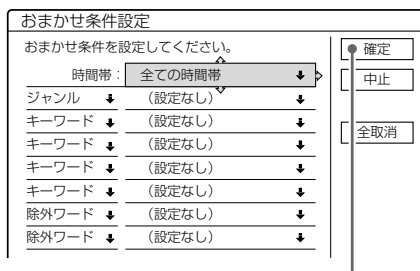
★ X-おまかせ・まる録 5:04PM	
全候補	
今日	9:00PM サッカー小僧 ☆
	9:00PM ハワイアン・ライブ ☆
	11:00PM サッカーダイジェス
④	11:30PM 音楽のある風景
明日	1:00PM ぶらり温泉一人旅 ☆
	4:00PM ワールドフットボー

5 「おまかせ条件」を設定する。

あらかじめ設定されたカテゴリーからお好みのキーワードを選び、決定します。



「ユーザー設定」を選ぶと、お好みのキーワードやジャンルで設定できます。設定方法は「番組検索」(32ページ)と同じです。

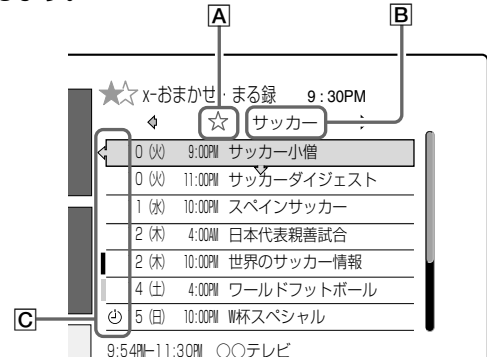


6 「確定」を選び、決定する。

- 「全取消」: 設定中の条件を全て取り消す。

設定条件に合った番組を確認するには

手順2のx-おまかせ・まる録画面で条件を選び、決定します。サブメニューから「候補を見る」を選び、決定します。



- A ☆: 自動録画が設定されている
- B 条件名(手順5で設定したキーワードまたはジャンル名)
- C 表示マーク
 - (赤): 予約リストの予約と重なっているため、録画されない番組
 - (緑): 優先順位の高い「x-おまかせ・まる録」と重なっているため、録画されない番組
 - (赤): 予約リストに登録され、録画される番組
 - (灰): 一部が録画できない番組
 - (赤色): 録画中の番組

再度、条件を変更するときは、ツールボタンを押して、「おまかせ設定」を選び、決定する。

他の予約と重なっているときは

本機は、時間の重なる番組を同時に録画することはできません。予約リストの予約と重なっている●(赤)表示の番組や、他のx-おまかせ・まる録と重なっている●(緑)表示の番組は録画されません。予約リストの予約は、必ず「x-おまかせ・まる録」よりも優先されます。

- ① 録画したい番組を選び、決定する。
- ② 「録画予約」を選び、決定する。
番組が予約リストに登録され、○(赤)が表示されます。

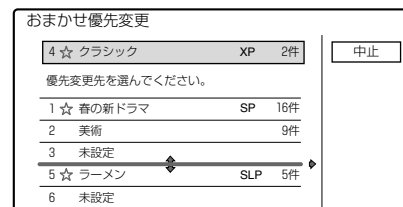
複数のx-おまかせ・まる録予約が重なったときは

優先順位の高い予約が優先されます。同じ設定条件なら開始時刻の早い番組が、開始時刻も同じならチャンネル番号の小さい番組が録画されます。

優先度の低い番組を録画したいときは、優先順位を変更するか(下記)、「他の予約と重なっているときは」と同様に、予約リストに登録してください。

優先順位を変更するには

- ① x-おまかせ・まる録画面で、順位を変更したい条件を選び、決定する。
- ② 「優先変更」を選び、決定する。
- ③ 順位の移動先を選び、決定する。



リストの上位にあるほど優先順位は高くなります。

ちょっと一言

- 録画を止めるには、■(録画停止)ボタンを押します。
- 番組を確実に録画したいときは、番組表からの予約録画をお勧めします。
- x-おまかせ・まる録で録画される番組や番組数は、本機が学習した情報によって変わります。
- 本機が学習した情報は、「セットアップ」の「オプション」の「工場出荷設定」から消去できます(72ページ)。

ご注意

- 番組表データが正しく受信されないと、x-おまかせ・まる録は動きません。また、キーワードと番組表の文字が一致しないと、番組が検索されません。
- x-おまかせ・まる録で録画されたタイトルは、自動消去の設定に関わらず、古いタイトルから自動消去されます。消去したくないタイトルは保護してください(55ページ)。
- x-おまかせ・まる録の録画中は、録画時間延長できません。
- 「自動録画」を「入」にしても、おすすめ番組の優先順位は最も低く、変更できません。他の予約が重なると録画されなかったり、最初や最後が切れたりすることがあります(40、41ページ)。

その他の録画予約方法

HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video

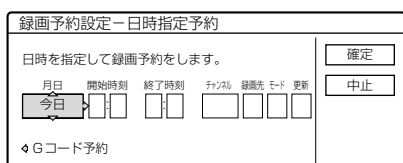
従来のビデオと同様に、日時指定やGコード番号で1カ月先までの番組や、毎日または毎週の番組を予約できます。番組表予約と日時指定予約、Gコード予約と合わせ、40番組まで予約できます。

予約が重なったときは、予約重複確認の画面が表示されます(34ページ)。

「予約リスト」で、予約の確認・変更・取り消しができます(40ページ)。

日時を指定して予約する(日時指定予約)

- 1 予約リストボタンを押し、予約リストを表示する。
- 2 ツールボタンを押し、「録画予約」を選び、決定する。



「録画予約設定-Gコード予約」画面が表示された場合は、←を押しして切り換えます。

- 3 画面上の各項目を設定する。
←→で項目を選び、↑↓で設定する。

「録画先」、「モード」、「更新」について詳しくは、「修正」を選び、決定すると(35ページ)をご覧ください。

🗨️ ちょっと言

- 外部のチューナーから録画する場合は、「チャンネル」でチューナーを接続している入力(入力1～入力3)を選びます。
- 「更新」を「入」にすると、毎回録画を設定したときに、前回分を消してHDDの空きを確保するため、新しい回を録画できます。

- 4 「確定」を選び、決定する。

予約リストが表示されます。

本体の録画予約ランプが点灯し、本機が予約待機になります(電源を切っても、録画開始時刻になると録画が実行されます)。

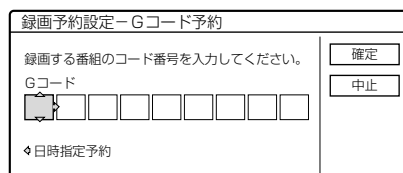
🗨️ ちょっと言

- 予約録画を途中で止めるには、■(録画停止)ボタンを押します。
- タイマー機能のないチューナーから録画するには、チューナーの電源を入れ、接続している入力に切り換えて録画したい番組を選びます。録画が終わるまでチューナーの電源は切らないでください。タイマー機能付きの機器では、シンクロ録画機能を使えます(64ページ)。

Gコード番号で予約する

新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されているGコード番号で予約します。番組の日時とチャンネルが自動的に設定されます。

- 1 予約リストボタンを押し、予約リストを表示する。
- 2 ツールボタンを押し、「録画予約」を選び、決定する。



「録画予約設定-日時指定予約」画面が表示された場合は、←を押しして切り換えます。

- 3 数字ボタンでGコード番号を入れ、決定する。

間違えたときは、←で戻って正しい番号を入れ直す。

- 4 「確定」を選び、決定する。

予約内容が表示されます。

内容を変更するときは、←→で項目を選び、↑↓で設定します。

- 「コード変更」:Gコード番号を入れ直す。

- 5 「確定」を選び、決定する。

予約リストが表示されます。

本体の録画予約ランプが点灯し、本機が予約待機になります(電源を切っても、録画開始時刻になると録画が実行されます)。

BS放送の番組を予約する

本機の入力1端子に接続しているBSやCATVチューナーからのBS放送を、番組表やGコードで予約録画できます。「BSやCATVの放送局を追加する」(27ページ)にしたがって、あらかじめチャンネルの設定を行ってください。

録画や予約の手順は、地上波放送と同様です。ただし、録画開始時に、接続した機器側の準備(電源を入れる、録画したい放送局にチャンネルを合わせるなど)が必要です。

見ている番組を録画する (クイックタイマー)

- 1 チャンネル+/-ボタンで、番組を選ぶ。
- 2 HDDボタンまたはDVDボタンで、録画先を選ぶ。
DVDを選んだときは、録画用のDVDを入れます。
- 3 録画モードボタンで、録画モード(44ページ)を選ぶ。
- 4 ●(録画)ボタンを押す。

録画が始まります。ボタンを繰り返し押して、録画を止めるまでの時間を、30分単位で最長6時間まで設定してください(クイックタイマー)。本体表示窓に時間が表示されます。

0:30 → 1:00 → … → 5:30 → 6:00 → (通常の録画)

↑

🗨️ちょっと一言

- 数字ボタンでもチャンネルを選べます。「10」を選ぶときは「1」「0」と押します。
- 番組表を使って、今見ている番組を録画することもできます(34ページ)。番組が終了すると自動で録画が終わります。
- 録画中に電源を切っても、終了時間まで録画がつづきます。

📌ご注意

- 8時間続けて録画したり、HDDやDVDの空きが無くなったときは、録画は自動的に止まります。
- 録画中に録画モードは変更できません。

➡ 録画を停止するには

■(録画停止)ボタンを押す。■(停止)ボタンを押しても録画は停止されません。

録画の画質・映像サイズを設定する

録画前にツールボタンを押して、「録画設定」を選び、決定すると以下の設定ができます。

項目	設定
録画モード	録画時間や画質に応じてモードを選ぶ。詳しくは「録画モードと録画可能時間」(44ページ)をご覧ください。
HDD録画 横縦比	録画番組に合った映像サイズを選ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> • 4:3(お買い上げ時の設定) • 16:9:ワイド画面に設定するときに選ぶ。 • 自動:録画番組の映像サイズに自動で合わせる。
DVD録画 横縦比	録画番組に合った映像サイズを選ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> • 4:3(お買い上げ時の設定) • 16:9:ワイド画面に設定するときに選ぶ。

項目	設定
録画NR*	映像信号に含まれているノイズを低減する。 <ul style="list-style-type: none"> • 数字を大きくするほど効果が強まる(お買い上げ時の設定:2)。 <p>📌ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「録画NR」を使って残像が現れた場合は、数字を小さくするか、「切」にしてください。
録画画質調整	以下の項目を調整する(()内はお買い上げ時の設定)。 <ul style="list-style-type: none"> • コントラスト(0):数字を大きくするほど、コントラスト(明暗差)が強まる。 • 明るさ(0):明度を調節する。数字を大きくするほど、明るくなる。 • 色の濃さ(0):彩度を調節する。数字を大きくするほど、濃くなる。 • 色あい(0):色相を調節する。数字を小さくするほど赤っぽく、数字を大きくするほど、緑っぽくなる。

* ノイズリダクションの略。

➡ 「DVD録画横縦比」の設定について

ディスクによって、以下のように設定されます。

- **+RW +R**: すべて4:3で録画される。
- **-RWVR -RVR**: 設定に関わらず、録画番組の映像サイズに合わせて録画される。
- **-RWVideo -RVideo**: 録画モードがXPまたはXSP、SP、LSP、ESPに設定されている場合のみ設定が有効。その他の録画モードでは、4:3で録画される。

📌ご注意

- 映像サイズが混在する番組では、設定したどちらかの横縦比で録画されます。ただし、16:9で録画できない場合は、4:3で録画されます。

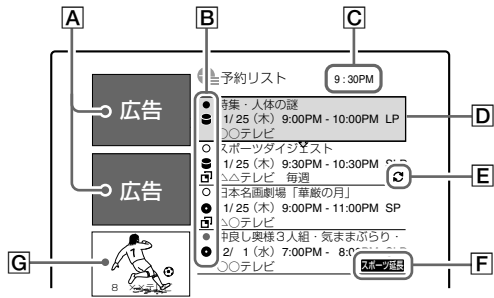
音声多重放送を録画する

お買い上げ時の設定では主音声のみ記録されます。主/副両音声(HDDのみ)または副音声を記録するには、「セットアップ」の「オプション」で、「HDD二重音声記録」または「DVD二重音声記録」から音声を選んでください(72ページ)。VRモードのDVD-RWとDVD-Rでは、設定に関わらず主/副両音声記録されます。

予約を確認する(予約リスト)・優先順位を変更する

HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video

- 予約リストボタンを押す。
予約リストが表示され、予約状態が確認できます。
予約リストの見かた

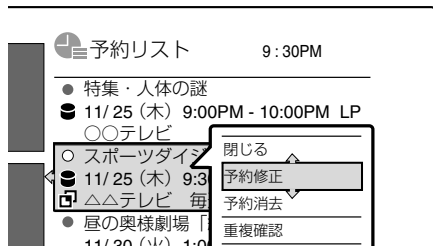


- A パネル広告
- B 表示マーク
 - (緑色): 録画可能
 - (赤色): 番組を録画中
 - (灰色): 番組の全部または一部が録画できない
 - : HDDに録画する
 - : DVDに録画する
 - : 予約が重なっている
- C 現在時刻
- D 予約情報: 録画日時などを表示
- E 更新録画マーク(35ページ)
- F スポーツ延長: スポーツ延長対応(42ページ)のマーク
- G 番組画面: 現在選ばれている放送局の番組画面

- 予約が重複している番組がないか確認する。
重複している番組には□(予約重複マーク)が付いています。重複していても優先順位がもっとも高い番組には付きません。

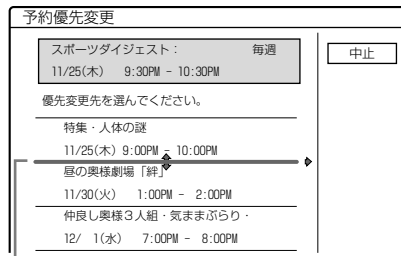
重複している番組があるときは
意図しているとおりに録画されないことがあります。手順3以降に従い、予約の優先順位を変更してください。

- 優先順位を変更したい番組を選び、決定する。



- 「重複確認」を選び、決定する。
予約重複確認画面が表示されます。

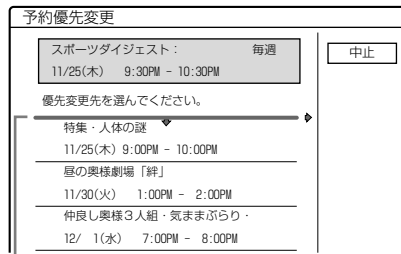
- 「優先変更」を選び、決定する。
予約優先変更画面が表示されます。



「特集・人体の謎」が「スポーツダイジェスト」より優先しているため、10:00から10:30の間しか録画されません。

- ↑↓で優先順位の移動先を選び、決定する。

リストの上位にあるほど優先順位が高くなります。

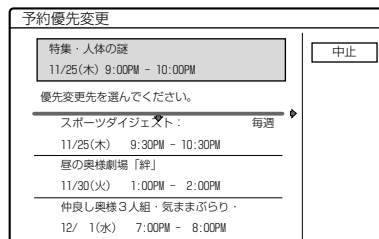


移動先を「特集・人体の謎」の上にした場合、「スポーツダイジェスト」が優先されます。

→ あらかじめ優先順位を設定するには

放送時間の変更により、予約が重なる場合があります。そのため、あらかじめ予約の優先順位を設定しておけます。

- 予約リスト画面で、ツールボタンを押す。
- 「優先順確認」を選び、決定する。
- 優先順位を変更したい番組を選び、決定する。



- 優先順位の移動先を選び、決定する。
上記手順6をご覧ください。

💡ちょっと一言

・録画中でも予約の優先順位を変えられます。

📌ご注意

・「予約リスト」の録画は「x-おまかせ・まる録」より優先します。

予約リストのサブメニュー項目

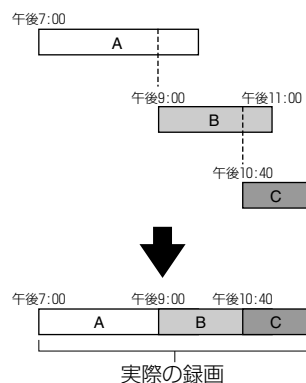
予約を選び決定すると、サブメニューが表示されます。
項目を選び決定すると、次の操作ができます。

項目	操作
録画停止	録画を停止する。
録画延長	予約録画中に録画時間を延長する(43ページ)。 10分ごとに最長60分まで延長できます。
予約修正	予約内容を修正する。 詳しくは「修正」を選び、決定すると(35ページ)をご覧ください。
予約消去	予約を取り消す。
重複確認	予約の重複を確認する。 詳しくは「予約を確認する(予約リスト)・優先順位を変更する」(40ページ)をご覧ください。
追跡情報	「番組追跡録画」詳細情報を表示する(42ページ)。
予約詳細	予約の詳細情報を表示する。

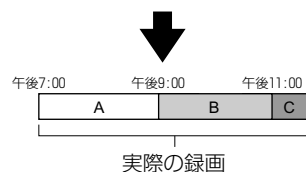
予約の優先順位について

本機では、予約が重なった場合、録画の優先順位に従って録画します。優先順位は予約方法(x-おまかせ・まる録は除く)に関わらず、後から予約した番組ほど高くなります。そのため、優先順位の低いものは意図したとおりに録画されないことがあります。
重要な録画の場合は、予約リストで優先順位を確認し、必要に応じて上位に変更してください。

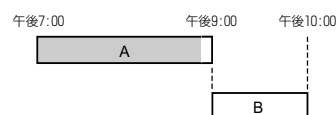
例1:番組A、B、Cの順に予約した場合
番組Cの優先順位が一番高くなります。



番組Bの優先順位を番組Cよりも高くすると、番組Bは設定した録画終了時間まで録画されます。



例2:番組Aの終了時刻と番組Bの開始時刻が同じ場合
番組Aの最後部は録画されません。



番組Aの優先順位が高いときは、番組Bの先頭部が録画されません。

予約録画に関わる便利な機能

予約した番組を録画するため、本機には以下の機能があります。予約リストでツールボタンを押した後、**↑↓**と決定ボタンで各機能を選び、設定を変更できます。

項目	お買い上げ時の設定	内容
----	-----------	----

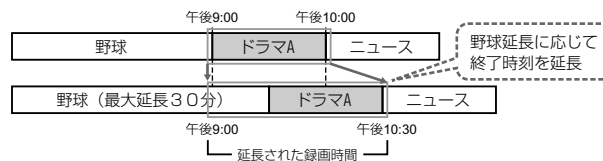
スポーツ延長対応 入

スポーツ中継の放送延長により、予約した番組の放送時刻が変わる可能性がある場合、自動的に録画終了時刻を最大延長時間分(最大120分)延長して録画します。予約リストで、この機能に対応した予約には**スポーツ延長**が付きます。

次の条件をすべて満たしている場合、録画終了時刻が延長されます。

- 予約番組の放送開始時刻より前に、同じチャンネルでジャンルが「スポーツ」の中継番組の放送予定がある
- スポーツ中継番組の「番組説明」に「延長」、「終了まで」、または「完全中継」という語句がある
- スポーツ中継番組が、午後7:00から午後9:00の間に、放送開始または終了する
- 予約番組の終了時刻が翌日午前5:00より前である

例:予約したドラマAは、最大30分間の放送延長がある野球中継後に放送されます。延長時間の情報があると、ドラマAの録画終了時刻は自動的に30分延長されます。

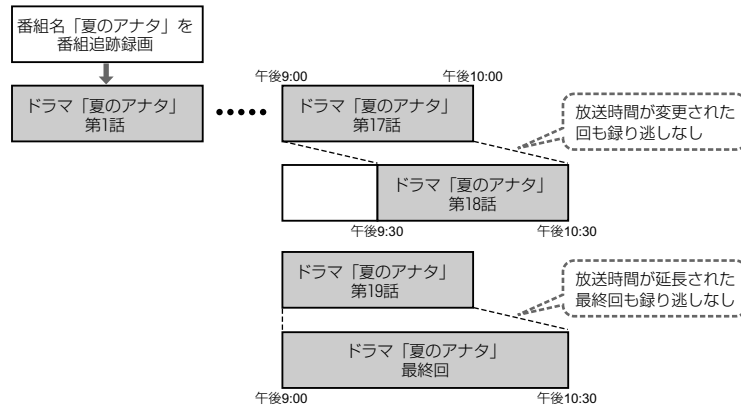


自動延長された結果、他のチャンネルの予約と重なった場合、録画は予約の優先順位に従います(41ページ)。

延長時間の情報がないときは、「セットアップ」の「フィーチャー」の「スポーツ延長対応」で設定した時間分(30分/60分/120分)録画が延長されます(71ページ)。

番組追跡録画 入

番組表データの番組名を追跡して、予約した番組を録画します。連続ドラマなどを毎回予約時に、放送時間が拡大された最終回だけ放送時間が違う場合などでも、逃さず録画できます。また、1回だけの予約の場合で、録画前に番組表データの更新があった場合も、最新の情報に合わせて録画時間を自動補正します。番組の検索は、予約時の番組の開始時刻1時間前から終了時刻1時間後の範囲で行われます。



🗨️ ちょっと一言

• 番組表データ更新後の番組名が予約時と大きく異なり追跡できないときは、番組名を変更すると追跡できることがあります。変更はサブメニューの「追跡情報」から行います(41ページ)。

📌 ご注意

• 数字の多い番組名、短い番組名の場合、この機能が働かないことがあります。

録画モード自動調整 入

HDDやDVDの容量が不足すると、空き容量に合わせて低い録画モードに自動的に変更し、番組をすべて録画しようとします。

自動消去(HDDのみ) 切

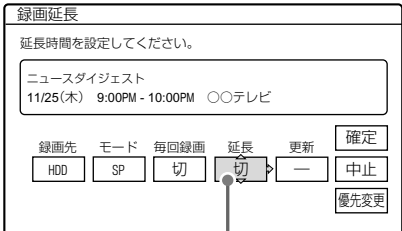
予約録画と「x-おまかせ・まる録」実行時にHDDの空き容量が不足した場合、再生済みタイトルを古い順に自動的に消去します。ただし、保護(プロテクト設定)されているタイトル、プレイリストから参照されているオリジナルのタイトル、また再生中や録画中など、現在使われているタイトルは自動消去されません。

📌 ご注意

• この機能の設定に関わらず、「x-おまかせ・まる録」で録画されたタイトルは、空き容量が不足した場合、古い順に消去されます(37ページ)。

録画中にできる操作 (ツールボタン)

ツールボタンを押した後、**↑↓**と決定ボタンで以下の操作ができます。

項目	操作
追いかけて再生	録画中の番組を最初から再生する(50ページ)。
録画停止	録画を停止する。
録画延長 (予約録画中のみ表示)	10分ごとに最長60分まで、録画時間を延ばす。  <p style="text-align: center;">延長時間を設定する</p>
ディスク情報	ディスク情報画面を表示する。ファイナライズ、初期化などの操作をする(63ページ)。
再生	前回再生したタイトルを、前回再生停止した場面から再生する。
頭出し再生	前回再生したタイトルを、最初から再生する。
番組説明	録画中の番組の説明を表示する。
再生画質設定	51ページをご覧ください。
オーディオ設定	51ページをご覧ください。

録画中の画面表示

→ テレビ画面表示

画面表示ボタンを繰り返し押しすと、以下の画面1、画面2、表示なしの順で、情報が画面に表示されます。

画面1(画面上部に表示)

番組名、チャンネル

深南部ブルース探訪 

画面2(画面下部に表示)

録画先のメディア、録画モード、録画経過時間

HDD ● SP 1:23:45

→ 本体表示窓の表示

録画の経過時間とチャンネルが表示されます。

1:20:12 8

録画についてのご注意

放送や映像ソフトには、内容の複製を防ぐために、コピー防止信号が含まれているものがあります。この信号の種類により、本機の録画対象は、「録画制限なし」、「1回だけ録

画可能」、「録画禁止」の3種類に分かれます。種類ごとに録画できるディスクが異なります。

	コピー防止信号の種類		
	録画制限なし(信号なし)	1回だけ録画可能	録画禁止
放送や映像ソフトの例	本機内蔵チューナーで受信する... ・地上アナログ放送 本機の入力端子から入る... ・BSアナログ放送 ・ビデオデッキなどのアナログ信号 ・PPV ¹⁾ を除くCS放送など	本機の入力端子から入る... ・地上デジタル放送 ・BSデジタル放送 ・110°CSデジタル放送	・市販のDVDソフト(DVDビデオ) 本機の入力端子から入る... ・CS放送などのPPV ¹⁾ ・BSデジタル放送の一部
録画できるディスク	HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video	HDD -RW VR ²⁾ -R VR ^{2) 3)} (その他のディスクでは灰色の画面が録画される)	録画不可 (灰色の画面が録画される)

1) PPV(Pay Per View:ペイ・パー・ビュー)は、番組単位で視聴購入できる「見るたびに支払う」番組です。

2) CPRM対応ディスクのみ。CPRM(Content Protection for Recordable Media)は、著作権保護のために映像素材を暗号化する技術です。

3) 「1回だけ録画可能」の番組をDVD-Rに録画する場合は、必ずあらかじめVRモードで初期化してください(63ページ)。

録画モードと録画可能時間

ビデオテープの標準/3倍録画モード同様、HDDやDVDでも、録画モードボタンでお好みの録画モードを選べます。録画モードが高画質になるほど、美しく録れる反面、データ量が多いため記録可能時間は短くなります。逆に、長時間対応になるほど、長く録れる反面、データ量が少ないため画質は粗くなります。

XP+について(HDDのみ)

より高画質で録画できるモードです。「セットアップ」の「フィーチャー」で「XP画質設定」を「XP+」に設定すると使用できます(71ページ)。ただし、表示は「XP」となります。

📌ご注意

・1タイトルの最長録画時間は、HDD、DVDともに8時間です。録画できる最大タイトル数は以下のとおりです。

ディスクの種類	タイトル数
HDD	300
DVD-RW/DVD-R	99
DVD+RW/DVD+R	49
DVD+R DL	49

・以下のようなとき、録画可能時間が異なることがあります。
 - 受信状態の悪いテレビ放送など、画質が悪い番組を録画する場合
 - 編集されたDVDに追加して録画する場合
 - 静止画像や音声のみを録画し続けた場合

録画モード	録画可能時間(目安)		
	HDD(本機内蔵)	DVD	
		4.7GB	8.5GB(DVD+R DL)
XP+ (美しく録る)	約26時間	録画不可	録画不可
XP	約41時間	約1時間	約1時間48分
XSP	約60時間	約1時間30分	約2時間42分
SP (標準)	約80時間	約2時間	約3時間37分
LSP	約100時間	約2時間30分	約4時間31分
ESP	約119時間	約3時間	約5時間25分
LP	約159時間	約4時間	約7時間14分
EP	約241時間	約6時間	約10時間51分
SLP (長く録る)	約321時間	約8時間	約14時間28分







使えるディスク

録画・再生に使えるディスク一覧




真ん中がロゴマーク、右端が本書で使用のマークです。

録画・再生ができるディスク

(直径8cmのDVDは録画できません¹⁾)

ハードディスク (本機内蔵)	 HDD	HDD
DVD+RW	 DVD+ReWritable	+RW
DVD-RW		-RW VR -RW Video
DVD+R DVD+R DL ²⁾	 	+R
DVD-R ³⁾		-R VR -R Video

再生のみできるディスク

DVDビデオ	 ⁴⁾	DVD
ビデオCD/ スーパーVCD		VCD/SVCD
音楽CD(CD-DA)		CD
データCD ⁵⁾	—	DATA CD

録画も再生もできない主なディスク

- DVD-RAM
- DVDオーディオ
- フォトCD
- SACDのHDレイヤー⁶⁾
- CD-EXTRAのデータ部分
- 他機で記録し、正しくファイナライズ(すべての記録終了時に終了情報を記録する処理)されていないDVD
- DVDビデオを含まないDVD-ROM
- 音楽用、ビデオCD、MP3音声を含まないCD-ROM/CD-RW/CD-R
- リージョンコード「2」または「ALL」以外のDVDビデオ
- NTSC以外のカラーテレビ方式(PALなど)で対応のディスク

ディスクの使用についてのご注意

記録済みのDVD+RW/DVD+RまたはDVD-RW/DVD-R、CD-RW/CD-Rは、傷や汚れ、また記録状態や記録機器、CD/DVD記録ソフトの特性などにより再生できないことがあります。また、VRモードのDVD-RWやDVD-R以外で、すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ処理を正しくしていないディスクは、再生できません。詳しくは、記録した機器の取扱説明書をお読みください。

録画用DVDであっても、本機で録画できない場合があります。

CD再生時のご注意

- 本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものがあり、本製品で再生できない場合があります。

DualDiscについてのご注意

- DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用の面とを組み合わせた両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク(CD)規格に準拠していないため、本製品で再生は保証いたしません。

DVDビデオ/ビデオCD再生時のご注意

- DVDビデオやビデオCDは製作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。本機では、ソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生を行うため、操作どおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

¹⁾ ソニー製のDVDビデオカメラ(2005年9月時点の発売モデル)で撮影した8cm DVDは、ファイナライズせずに再生可能。

²⁾ 2層(ダブルレイヤー: Double Layer)の略。

³⁾ 本機ではDVD-R DL(デュアルレイヤー: Dual Layer)への録画はできません。

ビデオモードのDVD-R DLのみ再生できます。

⁴⁾ 映画など市販のDVDビデオ。パッケージに記載されているリージョンコード(再生可能な地域番号)のマークが、左のように「2」か「ALL」のみ再生可能。ただし、日本のカラーテレビ方式(NTSC)と違う方式(PALなど)のときは再生不可。

⁵⁾ MP3音声を含むCD-ROM、CD-R、CD-RWのみ再生可能。

⁶⁾ スーパーオーディオCDのHD(ハイデンシティ)レイヤー。

DVD+RW、DVD-RW、DVD+R、DVD+R DL、DVD-R、DVDビデオ、CDロゴは商標です。

録画できるDVD選びに迷ったら？

DVDはパッケージに「ビデオ用(またはfor Video)」と記載されているディスクをお勧めします。
さらに詳しい違いは、47ページをご覧ください。

同じDVDを繰り返し使う？

1枚のDVDを繰り返し録画に使用したい。

1度DVDに録画したら、消さずにそのまま保存したい。

デジタル放送の「1回だけ録画可能」の番組¹⁾を録画する？

はい

いいえ

不要な場면을消去する？

はい

いいえ

音声多重放送の両音声²⁾を記録する？

はい

いいえ

DVD-RW⁴⁾
(ビデオモード)



DVD+RW



DVD-RW⁴⁾
(VRモード)



DVD-RW⁴⁾ CPRM対応ディスク
(VRモード)



デジタル放送の「1回だけ録画可能」の番組¹⁾を録画する？

はい

いいえ

音声多重放送の両音声²⁾を記録する？

はい

いいえ

ワイド画面(16:9)で録画する？³⁾

はい

いいえ

1枚のDVDに
長時間録画する？

はい

いいえ

DVD+R



DVD+R DL



DVD-R⁴⁾
(ビデオモード)



DVD-R⁴⁾
(VRモード)



DVD-R⁴⁾ CPRM対応ディスク
(VRモード)



1) 地上デジタル放送、BSデジタル放送、110° CSデジタル放送などの「1回だけ録画可能」なコピー防止信号を含んだ番組(44ページ)。

2) DVD-Rに二重音声を記録するには、未記録のときにディスク情報画面を使い、VRモードで初期化しておきます(63ページ)。

3) DVD-R(ビデオモード)への録画/ダビングは、ESP、LSP、SP、XSP、XPモードで、「DVD録画横縦比」が「16:9」に設定されているときのみ(39ページ)。

4) ビデオモードやVRモードはディスクを初期化するときを選びます(63ページ)。

録画したDVDを他のDVDプレーヤーで見るとは

上記ディスクに録画やダビングした後、ファイナライズしてください(63ページ)。

録画できるDVDの細かい違いは？

種類	DVD+RW	DVD-RW		DVD+R	DVD+R DL	DVD-R	
ロゴマーク		 					
本書内での表示							
対応バージョン	高速記録8倍速まで対応。	高速記録6倍速までのVer.1.1、Ver.1.1 CPRM*、Ver.1.2、Ver.1.2 CPRM*ディスクに対応。		高速記録16倍速まで対応。	高速記録8倍速まで対応。	高速記録16倍速までのVer.2.0、Ver.2.0 CPRM*、Ver.2.1、Ver.2.1 CPRM*ディスクに対応。	
初期化(新品時) (63、72ページ)	+VRモード(DVD+RWビデオ)で自動的に初期化。	VRモードで初期化。	ビデオモードで初期化。	+VRモード(DVD+Rビデオ)で自動的に初期化。		VRモードで初期化。初期化はディスク情報画面で行う。	ビデオモードで自動的に初期化される。
互換性(ファイナライズ、63ページ)	自動的にファイナライズされ、+RW対応他機で再生可能。	ファイナライズなしでVRモード対応他機で再生可能。	ファイナライズして、多くのDVD機器で再生可能。	ファイナライズして、多くのDVD機器で再生可能。		ファイナライズして、-R VRモード対応他機で再生可能。	ファイナライズして、多くのDVD機器で再生可能。
録画／編集機能の違い	書き換え可能	○	○	○	×	×	×
	手動チャプター作成 (57ページ)	×	○	×	×	○	×
	「1回だけ録画可能」の番組を録画 (44ページ)	×	○*	×	×	○*	×
	音声多重放送の両音声(主・副)を記録 (72ページ)	×	○	×	×	○	×
	16:9(ワイド)画面で録画 (39ページ)	×	○	○**	×	○	○**
	A-B消去 (56ページ)	○	○	×	×	○	×
	プレイリスト作成(57ページ)	×	○	×	×	○	×

◎ご注意

- 他機で録画したDVD+Rや、ビデオモードのDVD-RWおよびDVD-Rには録画できません。他機で録画したDVD+RWでは、録画できないことや本機でDVDメニューが書き換えられることがあります。
- 他機で録画したDVD+RWやDVD+R、ビデオモードのDVD-RWおよびDVD-Rは編集できません。
- 初期化されていないDVD-Rは、本機に入れると自動的にビデオモードで初期化されます。VRモードで初期化するときは、ディスク情報画面(63ページ)から行ってください(未記録状態時のみ)。
- 高速記録対応DVDでも録画にかかる時間は短くなりません。

* CPRM対応のディスクのみ

CPRM(Content Protection for Recordable Media)は、著作権を保護するために、映像素材を暗号化する技術。

**録画モードがESP、LSP、SP、XSP、XPで、「DVD録画横縦比」が「16:9」に設定のときのみ可能。

再生する(タイトルリスト)

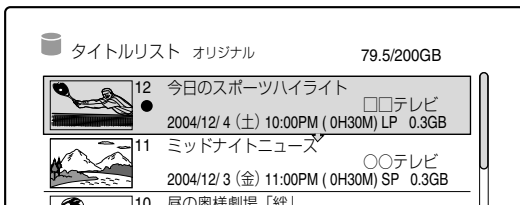
HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video DVD
VCD/SVCD CD DATA CD

1 HDDボタンまたはDVDボタンを押し、再生先を選ぶ。

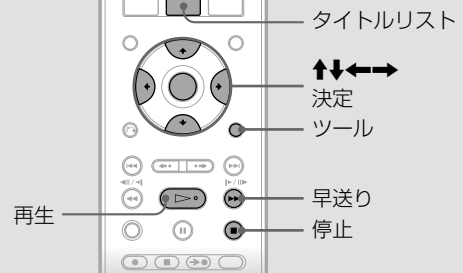
市販のDVDビデオやオーディオCDなどは、ディスクを入れた後▷(再生)ボタンを押すと、再生が始まります。

2 タイトルリストボタンを押す。

タイトルリスト(オリジナル)

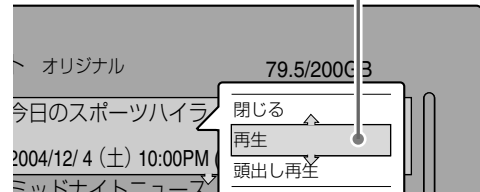


3 タイトルを選び、決定する。



4 「再生」を選び、決定する。

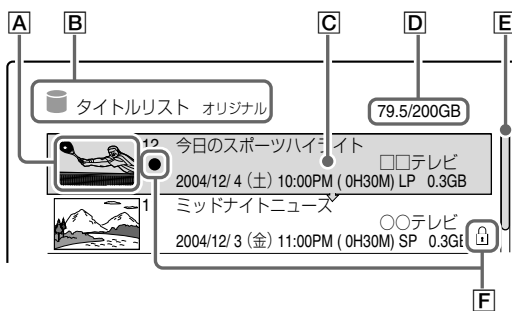
選んだタイトルの再生が始まります。



HDDで再生中、▶▶(早送り)ボタンを押すと音付き早見になり、2回以上押すと、音声なし高速早送りになります。

■(停止)ボタンを押すと、再生が止まります。もう一度▷(再生)ボタンを押すと、続きから再生が始まります(つづき再生)。頭から再生するときは、「頭出し再生」を選び、決定します。

タイトルリストの見かた



- A** サムネイル
各タイトルの冒頭の映像が静止画像で表示される。
- B** ディスクの種類
(HDDまたはDVD)
- C** タイトル情報
- D** HDDやDVDの空き容量/総容量
- E** スクロールバー
- F** 表示マーク(*はHDDのみ)
 - (赤): 録画中のタイトル
 - ⊙(青): ダビング中のタイトル
 - ⊞(白): 保護されているタイトル
 - NEW(またはN): 未再生のタイトル*
 - ☆: 「x-おまかせ・まる録」されたタイトル*
 - ★(緑): 「おすすめ自動録画」されたタイトル*
 - COPY: 「1回だけ録画可能」の信号を含むタイトル*(44、62ページ)
 - ⊞(白): 更新録画されるタイトル*(35ページ)

フラッシュ ◀•/▶ ボタンで前/次ページに移動します。ツールボタンを押して「一覧表示」を選ぶと、サムネイルなしの一覧表示に切り換わります。また、「並び換え」を選ぶと、タイトルの並び順が切り換わります。

サムネイルの画像を変えるには (A)

- ① タイトルリストでタイトルを選び、決定する。
- ② 「サムネイル設定」を選び、決定する。
タイトルの再生が始まります。
- ③ ◀◀/▶▶(早戻し/早送り)ボタンで場面を選び、決定する。
確認画面で「はい」を選ぶと、選んだ場面がサムネイルになります。

視聴年齢を制限したDVDを再生するには

- ① 「視聴年齢制限を一時的にレベル*に変えますか?」と表示されたら、「はい」を選ぶ。
- ② 4桁の暗証番号を入力して「確定」を選び、決定する。
暗証番号の登録や変更は、「フィーチャー」の「視聴年齢制限(DVDビデオのみ)」(71ページ)をご覧ください。

PBC機能付きのビデオCDを再生するには

PBC(プレイバックコントロール)機能により、ビデオCDをテレビ画面のメニューから再生できます。

- ① PBC機能付きのビデオCDを再生する。
メニューが表示されます。
- ② 数字ボタンで項目を選び、決定する。
メニューの指示に従い、操作します(「選ぶ」を押すと表示されたら、▷(再生)ボタンを押します)。

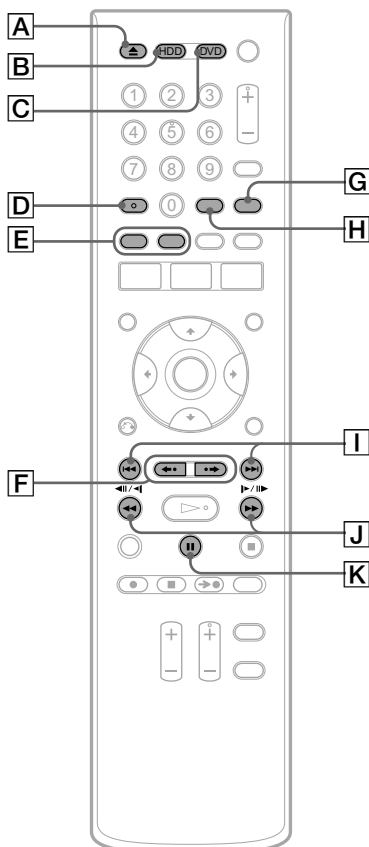
🗨️ ちょっ一言

- データCDの再生については、「MP3音声を再生する」(52ページ)をご覧ください。
- 手順**3**でタイトルを選び、▶(再生)ボタンを押しても再生が始まりません。
- 次の場合、前回のつづき再生が解除されます。
 - ディスクトレイを開けたとき(HDDを除く)
 - 他のタイトルを再生したとき(HDDを除く)
 - タイトルリスト(オリジナル/プレイリスト)を切り換えたとき。切り換え後のタイトルリスト内のタイトルが再生されます。
 - 前回再生した場面を編集したとき
 - 新たに追加録画したとき(HDD、VRモードのDVD-RWおよびDVD-Rを除く)
 - 電源を切ったとき(ビデオCD、CD、データCDのみ)
 - 電源コードを抜いたとき

📌 ご注意

- 本機では、スーパーVCDの場合にはPBC機能は動きません。連続再生モードでのみ再生できます。
- 🔄(更新録画マーク)のついたタイトルは、以下の場合を除き、見ていなくても次回予約の前に消去されます。
 - タイトルが保護されているとき
 - タイトルが編集されている、またはプレイリストに使われているとき
 - 前のタイトルを再生しているとき
- 他のDVD機器で録画したDVDは元のタイトル名が表示されないことがあります。
- DVDに記録できない文字は消去されます。

再生時に使ういろいろなボタン



A 開/閉

ディスクトレイを開閉する。

B HDD

再生するディスクをHDDにする。

C DVD

再生するディスクをDVDやCDなどにする。

D 音声

繰り返し押して音声の種類を選ぶ。

DVD : 音声言語

HDD **-RW VR** **-R VR** : 音声トラック(主音声/副音声)

VCD/SVCD **CD** **DATA CD** : ステレオ/モノラル

E トップメニュー、メニュー

+RW **-RW Video** **+R** **-R Video** **DVD**

市販のDVDやファイナライズされた録画用DVD(VRモードのDVD-RWおよびDVD-Rを除く)で、ディスクのメニューを表示する。

F フラッシュ

HDD **+RW** **-RW VR** **-RW Video** **+R** **-R VR** **-R Video** **DVD**

DATA CD

少し前に戻る/先に進む。

番組表やタイトルリストなどのリスト画面で押し、前/次ページに移動する。

G アングル **DVD**

複数アングルの映像を収録したDVDビデオ再生時(本体表示窓に📺表示)に、繰り返し押してアングルを切り換える。

H 字幕 **DVD**

繰り返し押して、字幕表示を切り換える。

I 前/次

前や次のタイトル*/チャプター/トラックを頭出しする。

* HDDの場合、タイトルをまたいだ頭出しはできません。

J 早戻し/早送り

- 再生中 : 早戻し/早送り再生する。押すごとに3段階で速度が切り換わる(3段階目はHDDとDVDのみ)。HDDでは、1段階目は音付き早見(1.3倍速)になる。

スロー・コマ戻し/コマ送り

HDD **+RW** **-RW VR** **-RW Video** **+R** **-R VR** **-R Video**

DVD **VCD/SVCD**

- 一時停止中 : 1秒以上押すと、スロー再生する。軽く押すと、コマ戻し/コマ送り再生する。ビデオCDの場合、逆方向のスロー再生、コマ戻し再生はできません。

▶(再生)ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

K 一時停止

📌 ご注意

- 本機で録画したタイトルで、アングルや字幕は切り換えられません。

CDのDTS音声再生時のご注意

- 音声ボタンを繰り返し押し、「ステレオ」に設定してください(49ページ)。アナログ出力からは極端に大きなノイズが出たり、再生条件によっては、デジタル接続の場合でもノイズが出ることがあります。本機のアナログ出力をアンプに接続したときは、アンプなどが破損しないよう細心の注意を払ってください。DTS Digital Surround™の再生を楽しむには、本機のデジタル出力に5.1チャンネルのDTSデコーダーを接続する必要があります。

DVDのDTS音声再生時のご注意

- DTS音声信号はデジタル音声出力端子から出力されます。「音声設定」の「音声出力」で「DTS」を「入」にしてください(71ページ)。

タイトルリストのサブメニュー項目

タイトルを選び決定すると、サブメニューが表示されます。↑↓と決定ボタンで以下の操作ができます。

項目	説明
再生	タイトルを再生する。
頭出し再生	タイトルを頭から再生する。
タイトル消去	タイトルを消去する(54ページ)。
プロテクト設定	タイトルを誤消去しないよう保護する(55ページ)。
次回予約(HDDのみ)	番組名をキーワードで検索し、次回の放送を予約する。検索して次回の放送が見つかった場合は、録画予約設定画面が表示される。
ダビング	タイトルをダビングする(60ページ)。
タイトル名変更	タイトル名を変更する(55ページ)。
A-B消去	指定したシーンを消去する(56ページ)。
タイトル分割	2つのタイトルに分ける(56ページ)。
サムネイル設定	サムネイルを変更する。

見たい場面やタイトル番号で探す

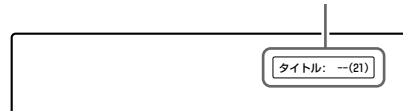
HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video DVD
VCD/SVCD CD DATA CD

タイトルやトラックの番号、経過時間を入力して、頭出しできます。

- 再生中にツールボタンを押す。
- 探しかたを以下から選び、決定する。

- タイトルサーチ: DVDのみ
- チャプターサーチ: HDD、DVDのみ
- トラックサーチ: CD、データCDのみ
- サーチ: ビデオCDのみ
- アルバムサーチ: データCDのみ
- タイムサーチ: HDD、DVDのみ

番号入力エリア



- 数字ボタンで番号を入力し、決定する。

例: タイムサーチは1時間15分00秒なら、「011500」と入力。

間違えたときは、数字ボタンの「0」を繰り返し押し、すべての桁を「0」にしてから正しい番号を入れ直す。

録画中の番組を頭から再生する(追いかけて再生)

HDD -RW VR

録画中の番組でも最初から再生することができます。

- 録画中にツールボタンを押す。
- 「追いかけて再生」を選び、決定する。

ちょっと一言

- 追いかけて再生中に、早送りなどで現在位置に近づいたときは、通常再生に自動的に切り換わります。

ご注意

- 追いかけて再生は、録画開始後数分経ってから可能です。
- DVD-RW(VRモード)で、1倍速ディスクのときや録画モードがXPまたはXSPのときは操作できません。
- DVDでは、早戻し/早送りやフラッシュ ◀●/●▶ は、静止画像を数秒表示後に動作します。

録画中に別の番組(タイトル)を再生する(同時録画再生)

HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video DVD
VCD/SVCD CD DATA CD

下表のように、録画中に、再生も同時にできます。

録画中のディスク	再生できる内容
HDD	<ul style="list-style-type: none"> • HDDに録画済みの番組(タイトル) • DVDやCDなどのディスク
DVD-RW* (VRモード)	<ul style="list-style-type: none"> • DVD-RW(VRモード)やHDDに録画済みの番組(タイトル)**
その他のDVD	<ul style="list-style-type: none"> • HDDに録画済みの番組(タイトル)

* 1倍速対応のDVD-RWの場合や、録画しているタイトルの録画モードがXPまたはXSPの場合は、同時録画再生できません。

**再生するタイトルの録画モードがXPまたはXSPのとき、記録状態によっては画像が乱れることがあります。早戻し/早送りやフラッシュ ←●/●→ は、静止画像を数秒表示後に動作します。

また、再生中に予約録画が始まっても、そのまま再生を続けられます。

1 HDDボタンまたはDVDボタンで、再生先を選ぶ。

DVDを選んだときは、DVDを入れる。

2 タイトルリストボタンを押して、タイトルリストを表示する。

3 タイトルを選び、決定する。

4 「再生」を選び、決定する。

📌ご注意

• 再生先と録画先が両方DVD(DVD-RW(VRモード)を除く)の場合、予約録画が始まると再生は止まります。

再生中にできる操作(ツールボタン)

ツールボタンを押した後、↑↓と決定ボタンで以下の操作ができます。

項目	説明
再生停止	再生を停止する。
ディスク情報	ディスク情報を表示する。ファイナライズ、初期化などの操作をする(63ページ)。
タイトル消去	タイトルを消去する(54ページ)。

プロテクト設定 タイトルを誤消去しないよう保護する(55ページ)。

次回予約(HDDのみ) 番組名をキーワードで検索し、次回の放送を予約する。検索して次回の放送が見つかった場合は、録画予約設定画面が表示される。

ダビング タイトルをダビングする(60ページ)。

タイトルサーチ/
チャプターサーチ/
アルバムサーチ/
トラックサーチ/
サーチ/
タイムサーチ

番号や時間を入力して、頭出し再生または途中から再生する(50ページ)。

再生画質設定 以下の項目を調整する(()内はお買い上げ時の設定)。数字を大きくするほど効果が強まる(再生画質調整を除く)。

- FNR¹⁾(2):映像信号中の輝度成分に含まれるノイズを低減する。
- BNR²⁾(2):画面上にモザイクのように現れるブロックノイズを低減する。
- MNR³⁾(2):画像の輪郭部に現れる細かいノイズを低減する。
- シャープネス(切):画像の輪郭の強弱を調節する。
- 再生画質調整:以下の項目を調節する。
 - コントラスト(0):数字を大きくするほど、コントラストが強まる。
 - 明るさ(0):明度を調節する。数字を大きくするほど、明るくなる。
 - 色の濃さ(0):彩度を調節する。数字を大きくするほど、濃くなる。
 - 色あい(0):色相を調節する。数字を小さくするほど赤っぽく、数字を大きくするほど、緑っぽくなる。

1) フレームノイズリダクションの略。

2) ブロックノイズリダクションの略。

3) モスキートノイズリダクションの略。

オーディオ設定

• 画音同期調整(A/V SYNC):ビデオなどへダビングするときは、0ミリ秒(お買い上げ時の設定)にしてください。映像が音声より遅れる場合のみ、音声を映像に合わせて遅らせます(0~120ミリ秒)。選んだ数字の分だけ、音声が映像より遅く出ます。

📌ご注意

- 画像の輪郭がぼやけるときは、BNR、MNRを「切」にします。
- ディスクの種類や再生場面によっては、シャープネスおよび再生画質調整以外の効果がわかりにくかったり、効果がないことがあります。
- シャープネスの使用でノイズが目立つ場合は、同時にBNRを使うと改善されることがあります。改善されない場合は、シャープネスを「切」に設定してください。

MP3音声を再生する

DATA CD

本機はデータCD(CD-ROMやCD-R、CD-RW)に記録されたMP3音声の再生ができます。

1 データCDを入れる。

▷(再生)ボタンを押す

2 データCDの初めから再生します。

→ 再生を止めるには

■(停止)ボタンを押す。

→ 早戻し/早送りするには

MP3音声を再生中に◀◀/▶▶(早戻し/早送り)ボタンを押す。

→ 前/次のトラックにとばすには

MP3音声を再生中に◀◀/▶▶(前/次)ボタンを押す。押し続けると、前/次のアルバムに移動できます。

→ 前/次のアルバムに移動するには

MP3音声を再生中にフラッシュ ◀◀/▶▶ ボタンを押す。

MP3音声について

MP3はISO/IEC MPEG国際標準規格に基づいた音声圧縮技術で、本機ではMPEG-1 Audio Layer III形式のMP3音声を再生できます。

CD-ROMやCD-R、CD-RW(データCD)は、ISO9660のレベル1/レベル2/Joliet 準拠で記録されている必要があります。

本機は、マルチセッション、マルチボーダーで記録したディスクも再生できます。

記録方式について詳しくは、CD-R/CD-RWドライブや、書き込み用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

⚠️ご注意

- マルチセッション/マルチボーダーディスクは以下のように再生されます。
 - MP3音声が最初のセッションに記録されている場合、その他のセッションのMP3音声も再生する。
 - 音楽用CDフォーマットの音声またはビデオCDフォーマットの映像が最初のセッションに記録されている場合、最初のセッションのみ再生する。
- パケットライト方式で作成されたデータCDやデータDVDは再生できないことがあります。

→ 本機で再生できるMP3音声のファイル形式

本機はファイル拡張子が「.MP3」、「.mp3」、「.Mp3」のMP3音声を再生できます。

⚠️ご注意

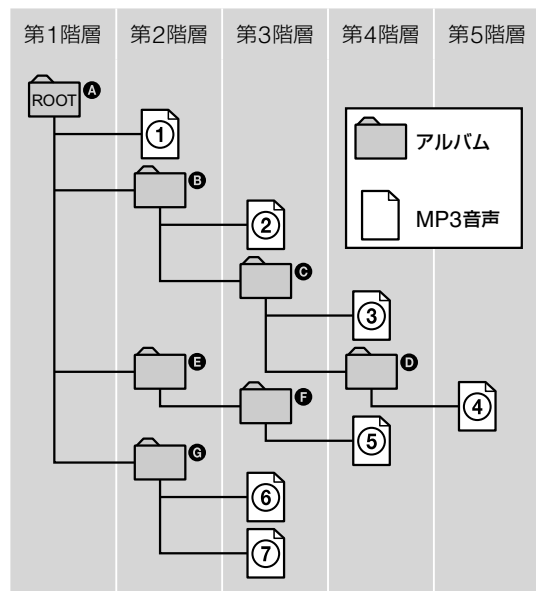
- MP3音声以外のファイルに上記のファイル拡張子を付けると、本機で誤って再生され、接続した機器の破損の原因となります。
- mp3PRO形式で記録された音声を出力できませんが、mp3PRO形式での再生には対応していません。
- 本機対応のMP3音声のビットレートは、320kbpsまでです。
- ファイルによっては再生できないこともあります。

→ アルバムの再生の順序について

以下の図のようなディスクでは、図中のアルファベット順でアルバムを再生します。MP3音声を含まない③はとばします。

また、▷(再生)ボタンを押すと、①～⑦の順序でファイルを再生します。

アルバムがサブアルバムを含む場合、サブアルバムのファイルを優先します(例:③は④を含んでいるので、⑤より④を優先する)。



💡ちょっと一言

- ファイル名の頭に数字(01、02…など)を付けてディスクに記録すると、その順番に再生できます。
- 多くの階層を持つディスクは再生開始までに時間がかかります。ディスクのアルバムは第2階層までにすることを勧めます。

⚠️ご注意

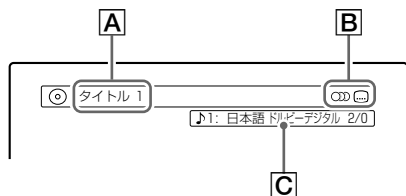
- MP3音声の書き込みに使用したソフトウェアによって、上図の順序で再生されないことがあります。
- 再生順が次のアルバムや、それを飛び越して他のアルバムに進むときは、再生に時間がかかる場合があります。
- 本機で再生できるフォルダの合計数は、最高999までです(その際、MP3音声を含まないフォルダも数えます)。
- 本機で再生できるフォルダとファイルの合計数は、最高10,998までです(その際、MP3音声を含まないフォルダ、MP3音声以外のファイルも数えます)。
- 本機で認識できる1つのフォルダ内のフォルダとファイルの合計数は、最高999までです(その際、MP3音声を含まないフォルダ、MP3音声以外のファイルも数えます)。
- 本機で表示できない文字は「*」で表示されます。

再生中の画面表示

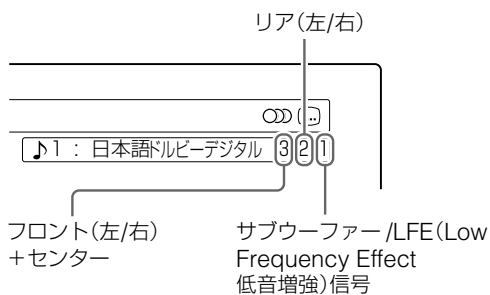
→ テレビ画面表示

画面表示ボタンを繰り返し押すと、画面1、画面2、表示なしの順に、表示されます。ディスクや再生状態で画面は異なります。

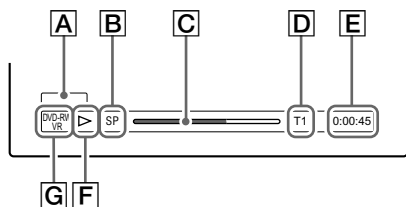
画面1(上部に表示):DVDビデオ再生中の例



- A** タイトル番号/タイトル名/トラック番号(CDとデータCDのみ)/トラック名(データCDのみ)
- B** DVDビデオの機能(アングル、音声、字幕など)
- C** 音声や現在選択中の機能設定(一時的に表示)



画面2(下部に表示):DVD-RW(VRモード)再生中の例



- A** タイトルの種類(プレイリストの場合)(57ページ)
- B** 録画モード(44ページ)
- C** 動作進捗バー(データCDでは表示なし)
- D** タイトル番号/トラック番号(CDとデータCDのみ)
- E** 経過時間
- F** 動作状態
- G** ディスクの種類/記録フォーマット(45、47ページ)
データCDは「CD」と表示

→ 本体表示窓の表示

DVD再生時の例

再生中のタイトル番号と経過時間

T 1	1:03:24
-----	---------

ビデオCD再生時の例

再生中のシーンまたはトラック番号と経過時間

3	3:20
---	------

CD再生時の例

再生中のトラック番号と経過時間

MP3音声再生時の例

再生中のトラック番号と経過時間

⚠️ ご注意

- MP3音声の再生時間は正しく表示されないことがあります。

消去・編集する

録画した番組(タイトル)を消去する

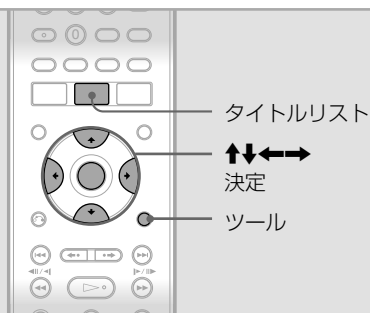
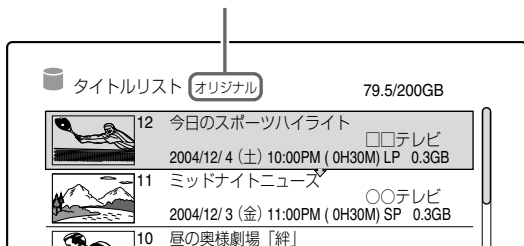
HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video

見終わったら、不要なタイトルなどを消去できます。

1 タイトルリストボタンを押す。

プレイリスト(57ページ)のタイトルを消去するとき、ツールボタンを押して、「プレイリスト表示」を選び、決定する。

「オリジナル」または「プレイリスト」と表示されます。

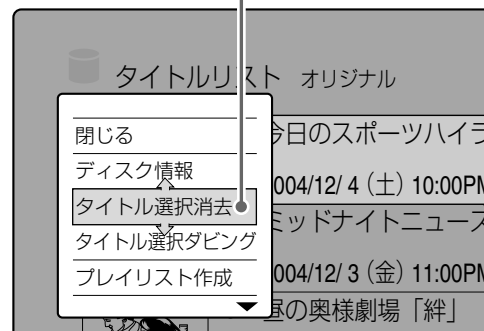


1つのタイトルを消去する

2 消去したいタイトルを選び、決定する。

複数のタイトルを消去する

2 ツールボタンを押して、「タイトル選択消去」を選び、決定する。

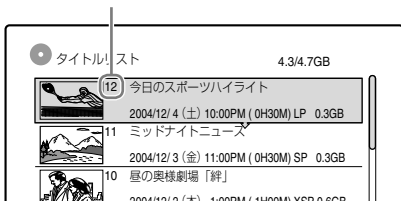


タイトルを消去してディスクの空き容量を増やす

HDD +RW -RW VR -RW Video

DVD+RW、DVD-RW(ビデオモード)で空き容量を増やすためには、タイトルリストでタイトル番号が大きいものから消去してください。

タイトル番号が最も大きいものから消去(番号が小さいタイトルを消去しても空き容量は増えません。)



HDDとDVD-RW(VRモード)では、消去した分だけ空き容量が増えます。タイトルリストでタイトル番号が大きいものから消去する必要はありません。

⚠️ご注意

- DVD+RとDVD-Rでは、タイトルを消去しても空き容量は増えません。

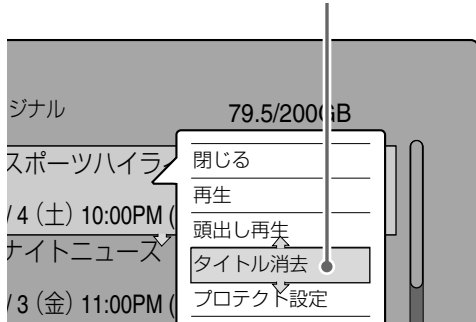
💡ちょっと一言

- HDD内の再生済みタイトルの自動消去もできます(42ページ)。

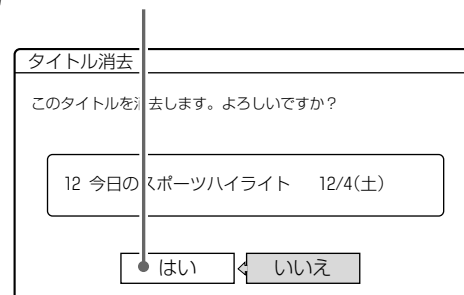
⚠️ご注意

- 保護されているタイトルや、プレイリストのタイトルから参照されているオリジナルのタイトルは消去・編集できません。

3 「タイトル消去」を選び、決定する。

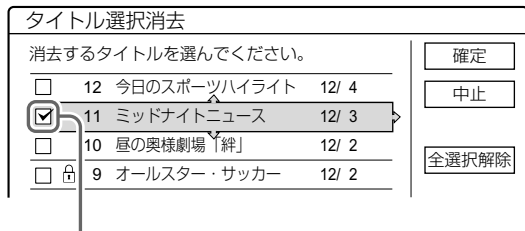


4 「はい」を選び、決定する。



3 消去するタイトルを選び、決定する。

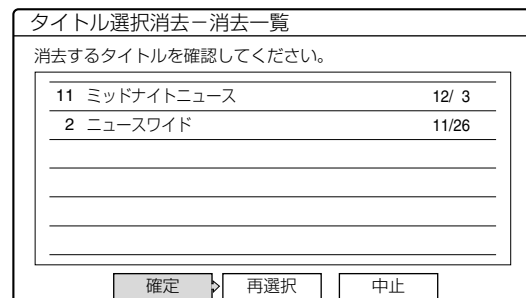
同様の操作を繰り返し、消去するタイトルをすべて選ぶ。



選ばれたタイトルにはチェックマークが付きま
す。もう一度選び、決定
するとチェックマークが消え
ます。

• 「全選択解除」:すべての
チェックマークを消す。

4 「確定」を選び、決定する。



5 消去するタイトルを確認したら、「確定」を選び、決定する。

• 「再選択」:手順3に戻り、タイトルを選び直す。

タイトル名を変更する(タイトル名変更)

- ① タイトルリストで名前を変更したいタイトルを選び、決定する。
- ② 「タイトル名変更」を選び、決定する。
- ③ タイトル名入力画面で、文字を入力する(66ページ)。

👁️ ちょっと一言

• DVDではディスクに名前を付けたり、ディスク名を変更したり
できません(63ページ)。

タイトルを消去できないよう保護する(プロテクト設定)

- ① タイトルリストで保護したいタイトルを選び、決定する。
- ② 「プロテクト設定」を選び、決定する。
- ③ 「入」を選び、決定する。

🔒 マークが付いて、保護されます。



📌 ご注意

• VRモードのDVD-RWおよびDVD-Rでは、プレイリストのタイ
トルを保護できません。

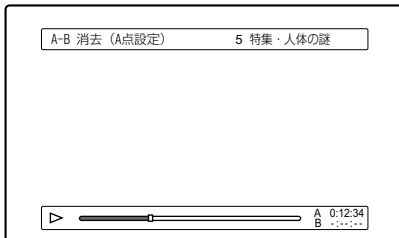
録画した番組(タイトル)を編集する

オリジナルタイトルを編集すると、元の状態に戻せない
のでご注意ください。

タイトル内の一部を消去する (A-B消去)

HDD +RW -RWVR -RVR

- 1 タイトルリストボタンを押し、タイトルリストを表示する。
- 2 編集したいタイトルを選び、決定する。
- 3 「A-B消去」を選び、決定する。



タイトルの再生が始まります。タイトルの先頭に戻すには、**||**(一時停止)ボタンを押してから**◀◀**(前)ボタンを押します。

- 4 **◀◀/▶▶**(早戻し/早送り)ボタンで消去開始場面(A点)を選び、決定する。
- 5 消去終了場面(B点)を選び、決定する。
確認画面が表示されます。
 - 「A点再設定」/「B点再設定」: A/B各点を選び直す。
 - 「確認再生」: 消去設定したシーンを確認する(DVD+RWを除く)。
- 6 「はい」を選び、決定する。
A点からB点までのシーンが消去されます。

👁️ちょっと一言

- 消去したシーンの前後は別のチャプターになります。

🚫ご注意

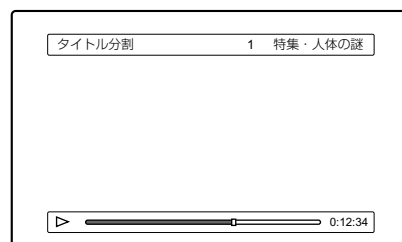
- 消去した場所の映像や音声が途切れることがあります。
- DVD+RWでは、消去される場面が設定と若干ずれることがあります。

1つのタイトルを2つのタイトルに分ける(タイトル分割)

HDD -RWVR -RVR

長時間のタイトルは、分割すると画質を落とさずにディスクにダビングできます。VRモードのDVD-RWおよびDVD-Rでは、プレイリストのタイトルのみ分割できます。

- 1 タイトルリストボタンを押し、タイトルリストを表示する。
- 2 編集したいタイトルを選び、決定する。
- 3 「タイトル分割」を選び、決定する。



タイトルの再生が始まります。タイトルの先頭に戻すには、**||**(一時停止)ボタンを押してから**◀◀**(前)ボタンを押します。

- 4 **◀◀/▶▶**(早戻し/早送り)ボタンなどで分割したい場面を選び、決定する。
確認画面が表示されます。
 - 「いいえ」: 場面を選び直す。
- 5 「はい」を選び、決定する。
新たにタイトル名を付けるか確認する画面が表示されます。
- 6 「はい」を選び、決定する。
タイトル名を入力します(66ページ)。
 - 「いいえ」: 元のタイトル名を、両方のタイトルに付ける。

手動でチャプターを分ける

HDD -RWVR -RVR

録画したタイトル内の好みの場面にチャプターマークを書き込み、映像の区切りとなるチャプターを作ることができます。

再生や録画中に、チャプターを分けたい場面でチャプターマーク書き込みボタンを押す。

チャプターマークが書き込まれ、前後のシーンが別のチャプターになります。

📌 ご注意

- 録画中に入れるときは、「自動チャプターマーク」の設定を「切」にしてください(71ページ)。
- 手動で書き込んだチャプターマークは、ダビング先に反映されません(60ページ)。

→ チャプターを結合するには

前後のチャプターを結合して、1つのチャプターにできます。

- 再生中に◀◀/▶▶(前/次)ボタンで消去したいチャプター番号を選ぶ。
- チャプターマーク消去ボタンを押す。
再生中と1つ前のチャプターが、1つに結合されます。

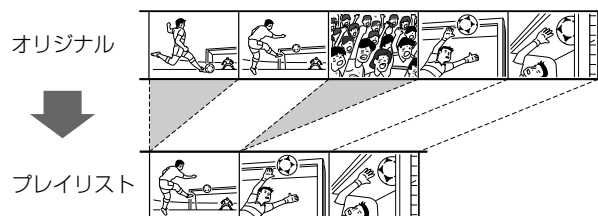
プレイリストのタイトルを作成する

HDD -RWVR -RVR

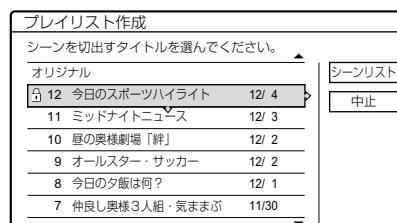
「プレイリストのタイトル」とは、実際に録画した「オリジナルのタイトル」を元に作成した仮想タイトルです。オリジナルの内容に手を加えないため、プレイリストをどのように編集し直しても、オリジナルに影響はありません*。最大97個のプレイリストを作成できます。また、プレイリストは、他のプレイリストのタイトルからも必要なシーン(範囲)を選べます。

* ただし、プレイリストのタイトルを作成すると、オリジナルのタイトルは、消去も編集もできなくなります。プレイリストを消去すれば、オリジナルのタイトルも消去・編集できます。

例:HDDに録画したサッカーの試合を、試合全体の映像はそのままハイライトシーンだけのタイトルを作る。



- タイトルリストボタンを押し、タイトルリストを表示する。
- ツールボタンを押して、「プレイリスト作成」を選び、決定する。



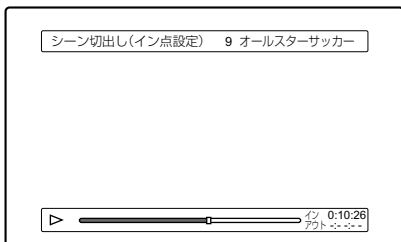
- プレイリストに追加したいタイトルを選び、決定する。

- 「シーン切出し」: タイトルの一部を1つのシーンとして追加する(手順4へ)。
- 「全て切出し」: タイトル全体を1つのシーンとして追加する(手順7へ)。

4 「シーン切出し」を選び、決定する。

イン点(開始点)設定画面が表示され、タイトルの再生が始まります。

タイトルの先頭に戻すには、**II**(一時停止)ボタンを押してから**II<<**(前)ボタンを押します。



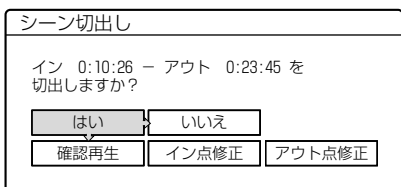
5 イン点(開始点)を設定する。

<</>>(早戻し/早送り)ボタンで、イン点を選び、決定する。

アウト点(終了点)設定画面が表示されます。

6 アウト点(終了点)を設定する。

操作は、イン点(開始点)と同様です。



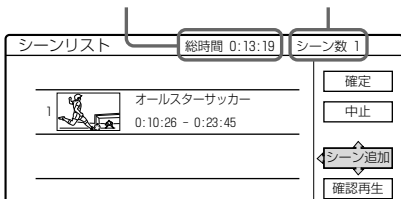
確認画面が表示されます。

- 「確認再生」: 選んだシーンを確認する。
- 「イン点修正」: イン点を選び直す(手順5へ)。
- 「アウト点修正」: アウト点を選び直す(手順6へ)。

7 「はい」を選び、決定する。

切り出したシーンがシーンリストに表示されます。

選んだシーンの合計時間 選んだシーンの総数



- 「確認再生」: 追加したすべてのシーンを順番どおりに再生する。

8 「シーン追加」を選び、決定する。

続けて、他のシーンを追加します(手順3へ)。すべてのシーンを追加したら、手順9へ進みます。

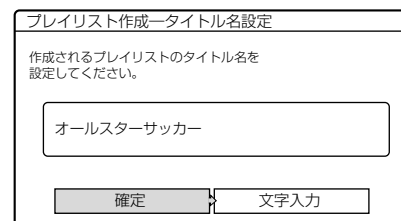
9 追加したシーンをさらに編集したい場合は、シーンリストからシーンを選び、決定する。

サブメニューから操作を選び、決定します。

- 「シーン移動」: シーンの順番を変える。
- 「シーン消去」: シーンを消去する。
- 「確認再生」: シーンを再生する。
- 「イン点修正」: イン点を選び直す(手順5へ)。
- 「アウト点修正」: アウト点を選び直す(手順6へ)。

10 シーンの編集が終わったら、「確定」を選び、決定する。

タイトル名の設定画面が表示されます。



- 「文字入力」: 新たにタイトル名を入力する(66ページ)。

👁ちょっと一言

- タイトル名を入力しない場合は、先頭シーンのタイトル名が付きます。

11 「確定」を選び、決定する。

タイトルリスト(プレイリスト)に、作成したプレイリストのタイトルが追加されます。

👁ちょっと一言

- イン点とアウト点はチャプターマークとして記録され、再生時に各シーンがそのままチャプターになります。

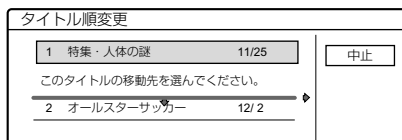
➔ プレイリストのタイトルを再生するには

- ① タイトルリストでツールボタンを押す。
- ② 「プレイリスト表示」を選び、決定する。
プレイリストのタイトルが一覧表示されます。
- ③ 見たいタイトルを選び、決定する(または▷(再生)ボタンを押す)。

タイトルの順番を変更する (タイトル順変更)

-RWVR -RVR

- 1 タイトルリスト(プレイリスト)で、順番を変更したいタイトルを選び、決定する。
- 2 「タイトル順変更」を選び、決定する。

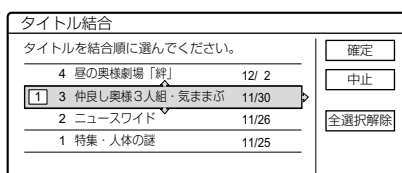


- 3 ↑↓で移動先を選び、決定する。
選んだタイトルの順序が変わります。

タイトルを結合する(タイトル結合)

HDD -RWVR -RVR

- 1 タイトルリスト(プレイリスト)で、ツールボタンを押す。
- 2 「タイトル結合」を選び、決定する。
- 3 結合したいタイトルを選び、決定する。
タイトルの通し番号が左側に表示されます。
選択を取り消すには、もう一度タイトルを選び、決定します。



- 4 手順3を繰り返して、結合したい順にタイトルをすべて選ぶ。

・「全選択解除」: すべての選択を取り消す。

- 5 「確定」を選び、決定する。

結合するタイトルが一覧表示されます。

・「再選択」: タイトルを選び直す(手順3へ)。

- 6 「確定」を選び、決定する。

タイトル名を選ぶ画面が表示されます。

・「文字入力」: 新たにタイトル名を入力する(66ページ)。

・「再選択」: タイトルを選び直す(手順3へ)。

- 7 使いたいタイトル名を選び、決定する。
タイトルが結合されます。

⚠️ご注意

- ・ 結合タイトル中のチャプター合計数が上限を超えると、後方のチャプターが1つのチャプターに結合されます。

各ディスクでできる編集

編集機能	HDD		-RWVR -RVR		+RW -RWVideo +R -RVideo
	オリジナル	プレイリスト	オリジナル	プレイリスト	
A-B消去 (56ページ)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> *
タイトル保護 (55ページ)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
タイトル分割 (56ページ)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
チャプター書き込み (57ページ)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
タイトル結合 (59ページ)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
タイトル順変更 (59ページ)	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

* DVD+RWのみ

⚠️消去・編集についてのご注意

- ・ DVD+RとDVD-Rでは、ファイナライズ(63ページ)後は、タイトルの消去や編集ができなくなります。
- ・ 編集中に「管理情報がいっぱいです」と画面に表示された場合、不要なタイトルを消去したり、編集内容を変えてみてください。
- ・ 編集中にディスクを取り出したり、予約録画が始まると、編集内容が取り消されます。
- ・ 編集したタイトルは、再生時に映像が一時停止することがあります。
- ・ 他機で作成したディスクは、本機で編集できません(VRモードのDVD-RWおよびDVD-Rを除く)。
- ・ DVDビデオカメラなどで作成したフォトムービーは、編集できません。

ダビングする

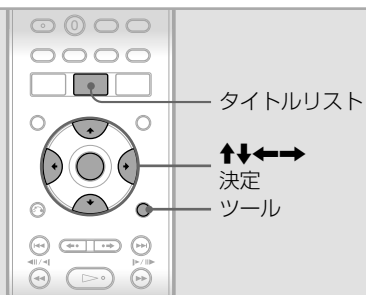
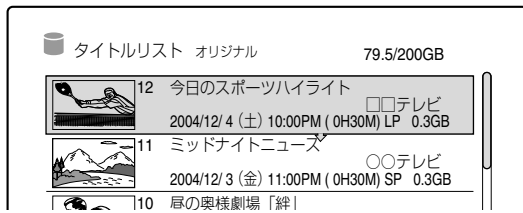
タイトルをダビングする

HDD +RW -RW_VR -RW_Video +R -R_VR -R_Video

HDDとDVD間でダビングできます(COPYマークが付いているタイトルは、「ムーブ(移動)」になります。62ページ)。プレイリストのタイトルもダビングできます。目的に合ったディスクやダビングモード(高速ダビング、録画モード変換ダビング)、ダビングの制限などについて詳しくは、62ページをご覧ください。

1 DVDを入れ、HDDボタンを押す。
DVDからHDDにダビングするときは、DVDを入れ、DVDボタンを押す。

2 タイトルリストボタンを押す。

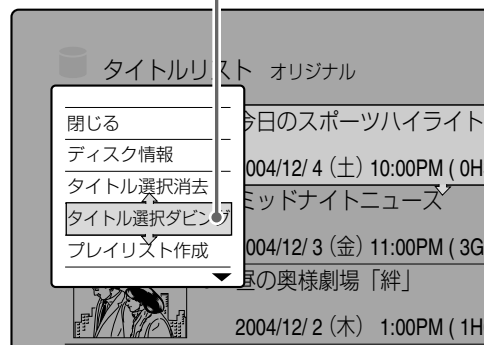


1つのタイトルをダビングする

3 ダビングしたいタイトルを選び、決定する。

複数のタイトルをダビングする (最大30タイトル)

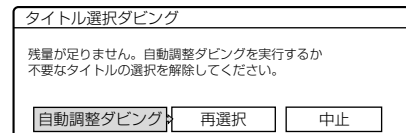
3 ツールボタンを押して、「タイトル選択ダビング」を選び、決定する。



ダビング先の空き容量が足りないときは (自動調整ダビング)

ダビング実行後に、以下の画面が表示されます。

例: タイトル選択ダビングのとき



「自動調整ダビング」を選び決定すると、ダビング先の空き容量に合わせて、自動的に画質の低いモードでダビングが実行されます(タイトル選択ダビングの場合、選んだタイトルすべてに共通のダビングモードが設定されます)。

ダビングを途中で止めるには

- ① ツールボタンを押して、「ダビング停止」を選び、決定する。
- ② 「はい」を選び、決定する。

💡ちょっと一言

• ダビング中に本機の電源を切ってもダビングはつづきます。

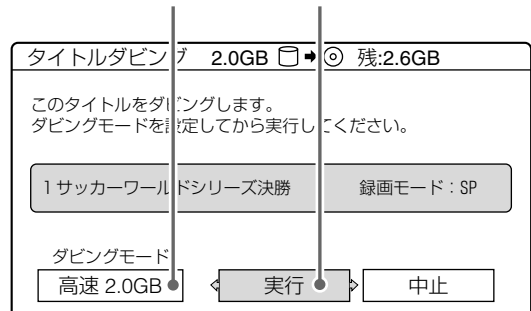
🚫ご注意

- ダビング中は録画ができません。
- ダビング元のチャプターマークは、ダビング先には反映されません。「フィーチャー」の「自動チャプターマーク」(71ページ)が「入」のとき、約6分間隔でチャプターマークが入ります。
- DVD+R DLへダビングしたタイトルを再生すると、ディスクのレイヤー(層)が切り換わるときに、映像・音声の一部途切れます。
- ダビング元で設定したサムネイルは、ダビング先には反映されません。
- 市販のDVDからは、本機のHDDにダビングできません。
- HDDからDVDに音声多重放送をダビングする場合は、「オプション」の「DVD二重音声記録」で音声を選んでください(72ページ)。
- ダビング(ムーブ)を途中で停止すると、ダビング(ムーブ)先のタイトルは残りません。ただし、DVD+R/DVD-Rでは残量が減りますのでご注意ください。

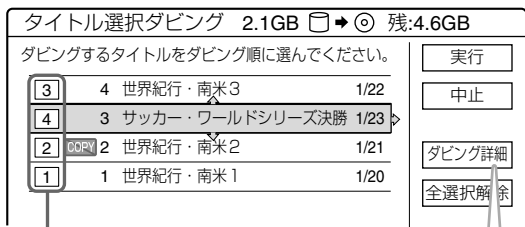
4 「ダビング」を選び、決定する。



5 「ダビングモード」を設定して、「実行」を選び、決定する。



4 タイトルをダビングしたい順に選び、決定する。



ダビング順が表示されます。もう一度選び、決定すると取り消されます。

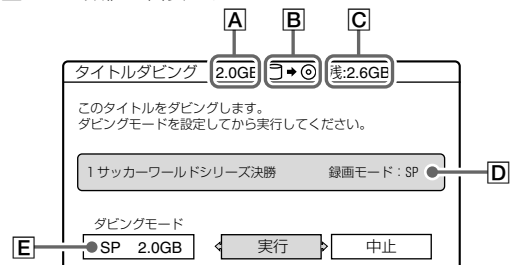
- ・「全選択解除」: すべての選択を取り消す。

5 「実行」を選び、決定する。

他機での再生にファイナライズが必要なDVDを使っている場合、確認画面が表示されます。「はい」を選ぶとダビングが始まり、つづけてファイナライズできます。

タイトルダビング画面について

容量などの数値は目安です。

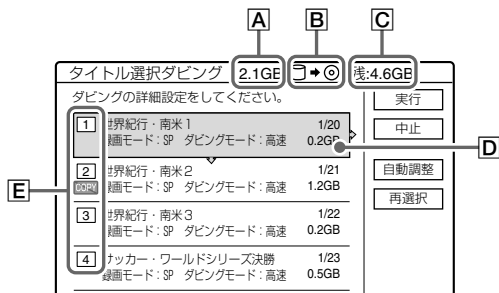


- A: ダビング元のタイトル容量
 - B: ダビングの方向
 - C: ダビング先の空き容量
 - D: ダビング元のタイトル情報
 - E: ダビングモードと、ダビング後のタイトル容量
- 以下のように、↑↓でダビングモードが選べます。
高速* → XP → XSP → SP → LSP → ESP → LP → EP → SLP

* HDDからDVDへのみ。また、高速ダビングできるタイトル(62ページ)のみ選べます。

ダビング詳細画面について

タイトル選択ダビングの手順4で「ダビング詳細」を選び、決定すると、各タイトルをより細かく設定できます。容量などの数値は目安です。

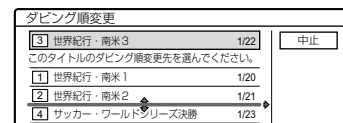


- A: ダビング元の全タイトル容量
- B: ダビングの方向
- C: ダビング先の空き容量
- D: ダビング元のタイトル情報(「~ GB」は、ダビング後のタイトルの容量)
- E: ダビングする順番 (HDDの「1回だけ録画可能」なタイトルにはCOPYが付きます(62ページ)。

- ・「再選択」: ダビングするタイトルを選び直す。
- ・「自動調整」: 選んだタイトルがすべてダビング先に収まるよう、ダビングモードを自動調整する(自動調整ダビング)。

タイトルを選び、決定すると、サブメニューに以下の項目が表示されます。

項目	設定
モード設定	ダビングモード(62ページ)を変える。
順序変更	ダビングの順番を変える。
選択解除	ダビング対象から外す。



移動先を選び、決定する。

ダビングについてのご注意

本機では、放送や映像ソフトに含まれるコピー防止信号に応じて、以下のようにダビングに使用できるディスクやダビングの方向に制限がかかります。コピー防止信号を含む放送や映像ソフトについて詳しくは、「録画についてのご注意」(44ページ)をご覧ください。

コピー防止信号の種類	ダビングの方向
録画制限なし (信号なし)	
1回だけ録画可能	

* DVDからHDDへのダビングで、ディスク中のコピー防止信号を含むシーンは、灰色の画面がHDDに録画されます。

**CPRM対応ディスクのみ。

→ 「1回だけ録画可能」のムーブ(移動)とは

HDDに録画した「1回だけ録画可能」の番組(COPYマークが付いたタイトル)を、CPRM対応のVRモードのDVD-RWまたはDVD-Rへ移動することです。ダビングがHDD内の映像も残るとは異なり、ムーブではディスクへの移動が終了すると、HDD内の映像は消去されます。

🔍ムーブについてのご注意

- HDDで以下のタイトルはムーブできません。
 - プロテクト設定で保護しているタイトル
 - プレイリストのタイトル
 - プレイリストから参照されているオリジナルのタイトル
- ムーブを途中で停止すると、タイトルはHDD内に残り、DVDには残りません。
- コピー防止信号を含むシーンを編集で消去しても、録画制限なしのタイトルにはなりません。

ダビングモードと高速ダビング時間

→ ダビングモードとは

ダビング時の録画モードのことで、モードの種類はXP+を除き録画モードと同様です。

→ 高速ダビング

HDDからDVDへ元の録画モードを引き継いで、すばやくダビングできます。

ダビング時に「ダビングモード」で、「高速」を選んで実行します(61ページ)。最短の所要時間は、次の表のとおりです。

HDDからDVDへの高速ダビング所要時間一覧(60分番組の場合)¹⁾

速度 ²⁾	6倍速	6倍速	8倍速	8倍速	2.4倍速
モード	DVD+RW	DVD-RW	DVD+R	DVD-R	DVD+R DL
XP	約10分	約10分	約8分	約8分	約25分
XSP	約6分40秒	約6分40秒	約5分	約5分	約16分40秒
SP	約5分	約5分	約3分45秒	約3分45秒	約12分30秒
LSP	約4分	約4分	約3分	約3分	約10分
ESP	約3分20秒	約3分20秒	約2分30秒	約2分30秒	約8分20秒
LP	約2分30秒	約2分30秒	約2分	約2分	約6分15秒
EP	60分 ³⁾	約1分40秒	60分 ³⁾	約1分15秒	60分 ³⁾
SLP	60分 ³⁾	約1分15秒	60分 ³⁾	約56秒	60分 ³⁾

1) 表中の時間は目安です。実際の所要時間には、ディスク管理情報の作成時間も加わります。

2) 本機の記録速度の最大値です。最大値を超える記録速度のディスクを使用しても、この値より高速にはなりません。また、ディスクの状態によってはこの記録速度の最大値にならない場合があります。

3) 録画モードがEP、SLPのタイトルは、DVD+RWおよびDVD+Rに高速ダビングできません。

🔍高速ダビングについてのご注意

- 以下の場合は、高速ダビングできません。
 - DVDからHDDへのダビング
 - 録画モードがXP+のタイトルのダビング
 - 横縦比が16:9のタイトルをDVD+RWおよびDVD+Rにダビングする場合
 - 横縦比が16:9で録画モードがLP、EP、SLPのタイトルを、ビデオモードのDVD-RWおよびDVD-Rにダビングする場合
- 以下のタイトルは、VRモードのDVD-RWおよびDVD-Rにのみ高速ダビングできます。
 - 音声多重放送の主音声、副音声ともに記録したタイトル
 - 4:3と16:9の映像サイズが混在したタイトル

→ 録画モード変換ダビング

HDDとDVD間の双方向で、データ量を減らすため画質を落とし、元の録画モードとは異なるモードでダビングします(例:XPで録画したタイトルをSPに変換してダビング)。

ダビング時に「ダビングモード」で、ダビング元とは異なるモードを選んで実行します(61ページ)。

🔍録画モード変換ダビングについてのご注意

- ダビング元の録画モードより高画質のモードに変換しても、画質は良くなりません。
- 4:3と16:9の映像サイズが混在したHDDのタイトルは、ダビング先のディスクにより以下の映像サイズになります。
 - **-RW Video** **-R Video**: 録画モードがLP、EP、SLPのときは4:3、それ以外は「DVD録画横縦比」(39ページ)で設定した映像サイズ(4:3または16:9)
 - **+RW** **+R**: 常に4:3

🗨️ちょっと一言

- DVD+RW、DVD+R、ビデオモードのDVD-RWおよびDVD-Rに高速ダビングすると、消去・編集した画像が一部残ることがあります。その場合は、録画モード変換ダビングすると、シーンの継ぎ目が滑らかになります。

ディスクを他機で再生できるようにする(ファイナライズ)

+RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

「ファイナライズ」は、本機で録画したDVDを、他のDVDプレーヤー/レコーダーなどで再生できるように互換処理することです。ファイナライズはディスク情報画面で行います。ファイナライズすると、DVDメニュー(DVD挿入時に最初に表示されるメニュー画面)が作られるDVDもあります。

⚠️ ご注意

- 本機のみでの再生なら、どのディスクもファイナライズ不要です。
- 正しくファイナライズしても再生できないDVD機器があります。
- 他機で録画したディスクは、本機でファイナライズできません。

+RW	不要*。本機から取り出す際に、自動的にファイナライズ処理されます。同時にDVDメニューも作成されます。 ファイナライズ後も本機で追加記録や編集でき、その後の再ファイナライズは不要です。
-RWVR	必要。ただし、DVD-RW VRモード対応DVD機器のみでの再生なら、ファイナライズ不要です*。 ファイナライズ後も本機で追加記録や編集でき、その後の再ファイナライズは不要です。
-RWVideo	必要。手動ファイナライズ後は、DVDメニューも作成されます。 ファイナライズ後は、ファイナライズを解除すれば、本機で追加記録や編集できます。その後、再ファイナライズが必要です。
-RVR	必要。ただし、DVD-R VRモード対応DVD機器のみ再生できます。 ファイナライズ後は、本機で追加記録も編集もできません。
+R -RVideo	必要。手動ファイナライズ後は、DVDメニューも作成されます。 ファイナライズ後は、本機で追加記録も編集もできません。

* 録画時間が短いときなどは必要になることがあります。

- 1 DVDを入れて、ツールボタンを押す。
- 2 「ディスク情報」を選び、決定する。
ディスク情報画面が表示されます。
- 3 「ファイナライズ」を選び、決定する。
ファイナライズが選べない状態であれば、ファイナライズがされています。
- 4 「はい」を選び、決定する。
ファイナライズが始まります。

→ ファイナライズを解除するには

-RWVR -RWVideo

本機で追加記録や編集できるようになります。

- ① 「ディスクを他機で再生できるようにする」(左記)の手順**1**～**2**をする。
- ② 「ファイナライズ解除」を選び、決定する。
ファイナライズ解除が始まり、終了まで数分かかります。

⚠️ ご注意

- DVD-RW(VRモード)の場合は、他機でファイナライズし、「ディスクがファイナライズされています。ファイナライズを解除してください。」と表示されたときに行ってください。
- 他機でファイナライズしたDVD-RW(ビデオモード)は、解除できません。

ディスクの設定をする

(名称入力/プロテクト設定/全消去/初期化)

ディスク情報画面で下表の項目について設定できます。

↑↓←→で選び、決定ボタンで決定します。

項目/対応ディスク	操作
名称入力 +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo	ディスク名を入力する(66ページ)。他機では、入力したディスク名が表示されないことがあります。
プロテクト設定 -RWVR -RVR	「入」を選ぶと、DVD内の全タイトルを保護する。「切」で解除する。
全消去 HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo	確認画面で「はい」を選ぶと、プロテクト設定されているタイトル以外の全タイトルを消去する。DVD+RとDVD-Rでは、空きは増えません。
初期化 HDD +RW -RWVR -RWVideo -RVR	確認画面で「はい」を選ぶと、全内容を消去して、空きディスクにする(DVD-Rを除く)。未記録のDVD-Rでは、「はい」を選んでから「VR」を選ぶと、VRモードで初期化します。

👁️ ちょっと一言

- タイトルごとに保護できます(55ページ)。
- DVD-RWは初期化することにより、記録フォーマット(「VR」または「ビデオ」)を変更できます。ただし、初期化時にそれまで録画した内容は消去されます。

⚠️ ご注意

- 1枚のDVD-RWおよびDVD-Rで、異なる記録フォーマット(「VR」または「ビデオ」)を混在させることはできません。

他機から録画する

ビデオデッキなどから録画する

HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video

本機に接続したビデオデッキやビデオカメラなどから録画できます。接続は16ページをご覧ください。

1 HDDボタンまたはDVDボタンで、録画先を選ぶ。

DVDを選んだときは、録画用のDVDを入れる。

2 入力切替ボタンを繰り返し押し、録画する機器の入力(L1、L2、L3)に切り換える。

チャンネル番号 → L1 → L2 → L3
↑

3 録画モードボタンを繰り返し押し、録画モード(44ページ)を選ぶ。

4 ツールボタンを押す。

5 「外部入力音声」を選び、決定する。

ステレオ(お買い上げ時)と二重音声*があります。
* 「セットアップ」の「オプション」で、「HDD二重音声記録」または「DVD二重音声記録」から録画する音声を選びます(72ページ)。

6 ビデオ側(他機)で、再生一時停止状態にする。

7 ●(録画)ボタンを押す。

本機が録画を開始します。

8 ビデオ側(他機)の一時停止(または再生)ボタンを押して、再生一時停止状態を解除する。

ビデオ側で再生が始まり、再生された映像が本機で録画されます。本機の録画を止めるには、■(録画停止)ボタンを押す。

🗨️ ちょっと一言

- 録画前に、録画の画質を調整できます(39ページ)。

🚫 ご注意

- ゲーム画面の録画は、画像が乱れることがあります。
- 本機はコピーガード対応のため、「録画禁止」のコピー防止信号のある映像は録画できません。

チューナーから予約録画する(シンクロ録画)

HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video

番組予約機能の付いた機器(デジタルチューナー、BSやCATVチューナー、テレビなど)を入力1端子に接続すれば、その電源と連動させて予約録画できます。接続は15ページをご覧ください。

1 「セットアップ」メニューで録画先を選ぶ。

- ① システムメニューボタンを押す。
- ② 「セットアップ」を選び、決定する。
- ③ 「フィーチャー」を選び、決定する。
- ④ 「シンクロ録画」で「HDDへ録画」か「DVDへ録画」を選び、決定する。

DVDを選んだときは、録画用のDVDを入れる。

2 「ビデオデッキなどから録画する」(左記)の手順3～5を行う。

3 チューナー側で番組予約をして、チューナーの電源を切る。

4 シンクロ録画ボタンを押す。

シンクロ録画ランプが点灯し、シンクロ録画待機になります。

チューナーからの信号が本機の入力1端子に入力されると、「L1(入力1)」の録画が自動的に始まります。チューナーからの信号入力が止まると、録画も自動的に止まります。

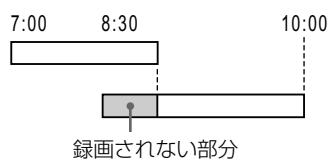
シンクロ録画中に録画を止めるには、■(録画停止)ボタンまたはシンクロ録画ボタンを押す。

→ シンクロ録画待機を解除するには

録画前に、シンクロ録画ボタンを押す。

→ シンクロ録画と本機の予約が重なったときは

先に開始する予約が優先され、後の予約は、先の予約終了後に、録画されます。終了時刻と開始時刻が同じ場合、後の予約の冒頭は録画されません。



📌 ご注意

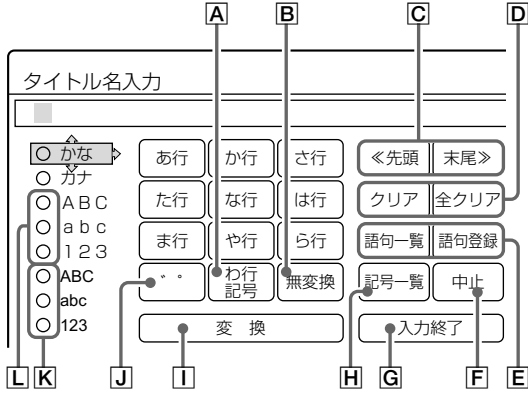
- 本機はコピーガード対応のため、「録画禁止」のコピー防止信号のある映像は録画できません。
- チューナーからの映像信号を本機が確認してから録画が始まるため、番組の冒頭は欠けます。本機の電源「入」のときは、電源「切」よりも欠ける部分は少なくなります。
- シンクロ録画ランプ点灯中に、チューナーを使うときは、シンクロ録画ボタンを押してシンクロ録画ランプを消灯させます。予約開始前には、チューナーの電源を切り、シンクロ録画ボタンを押して、シンクロ録画ランプを再点灯させてください。
- チューナーによってシンクロ録画できないことがあります。チューナーの取扱説明書をご覧ください。
- 本機の時計が未設定の場合、シンクロ録画できません。

文字を入力する

画面上のキーボードで入力する

画面に表示される入力キーを使って、文字を入力します。

文字入力画面の各キーについて



- A** わ、を、ん/記号/スペースを入力する。
- B** 漢字変換しない。
- C** 文字入力欄の先頭/末尾に移動する。
- D** クリア:文字入力欄で選んだ1文字を消す。
全クリア:文字入力欄の文字をすべて消す。
- E** 語句一覧:語句(キーワード)の一覧を見る。
語句登録:語句(キーワード)を登録する(33ページ)。
- F** 文字入力を中止する。
- G** 文字入力を終了する。
- H** 記号を一覧から入力する。
- I** 漢字変換する。
- J** 濁点/半濁点を入力する。
- K** 半角の英数字に切り換える。
- L** 全角の英数字に切り換える。

1 使いたい文字種を選び、決定する。

↑↓←→で選び、決定ボタンで決定する(以下の操作も同様です)。

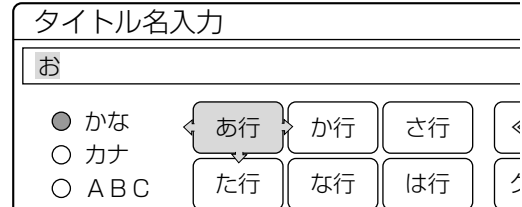
漢字に変換したいときは、「かな」を選ぶ。



2 画面のキーを選んで、決定ボタンを繰り返し押し直す。

文字が文字入力欄に表示されます。

例:「お」を入力するときは、「あ行」キーを選び、決定ボタンを5回押し直す。押すたびに「あ」→「い」→「う」→「え」→「お」と、表示が変わります。

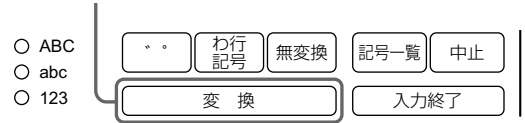


♪ちょっと一言

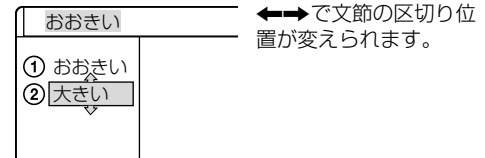
- 同じキーをさらに繰り返し押し直すと、「あ」→「い」→「う」→「え」→「お」と、小さい文字が表示されます。
- 同じ行の文字を続けて入力するには、いったん他行のキーを選んでから、もう一度入力したい文字行のキーを選び、決定ボタンを押します。

3 漢字に変換するときには…

① 「変換」を選び、決定する。



変換候補が表示されます。



② 変換候補を選び、決定する。

漢字が確定されます。

漢字変換しないときは、「無変換」を選び、決定する。

続けて入力するときは、手順1～3を繰り返す。文字を挿入するには、文字入力欄に移動後、←→で挿入したい位置の右にある文字を選び、文字を入力する。

4 文字をすべて入力し終わったら、「入力終了」を選び、決定する。

元の画面に戻ります。

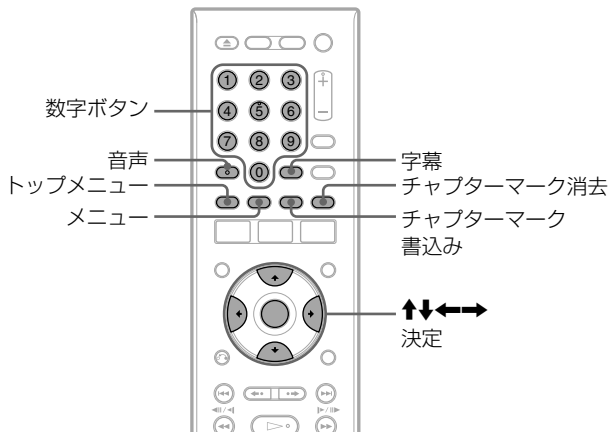
文字入力を中止するときには、↶(戻る)ボタンを押すか、画面で「中止」を選び、決定する。

📌ご注意

- 本機で録画したDVDを他機で再生した場合、入力したタイトル名/ディスク名の文字が表示されないことがあります。
- 文字や記号により、DVDタイトルやアルバム名、ディスク名への使用や表示ができない場合があります。

携帯電話のように数字ボタンで入力する

リモコンの数字ボタンなどを使って文字入力ができます。



ボタンの文字割当・機能一覧

数字ボタン	かな	カナ	英数字
1	あ行	ア行	1
2	か行	カ行	ABC 2
3	さ行	サ行	DEF 3
4	た行	タ行	GHI 4
5	な行	ナ行	JKL 5
6	は行	ハ行	MNO 6
7	ま行	マ行	PQRS 7
8	や行	ヤ行	TUV 8
9	ら行	ラ行	WXYZ 9
0	わ行/記号	ワ行/記号	記号 0

各ボタン	機能
トップメニュー	文字種を選ぶ
メニュー	漢字に変換する
音声	「゛」「゜」を入力する
字幕	漢字変換しない
チャプターマーク消去	文字を消す
チャプターマーク書込み	入力した文字を確定する

1 トップメニューボタンを繰り返し押して、文字種を選ぶ。

2 数字ボタンを繰り返し押して、文字を入力する。

文字が文字入力欄に表示されます。

♪ちょっと一言

- 同じボタンを繰り返し押すと、「あ」→「い」→「う」→「え」→「お」と、小さい文字が表示されます。
- 同じ行の文字を続けて入力するには、→を押してから、もう一度入力したい文字行のボタンを押します。
- 音声ボタンを押すと、濁点「゛」(1回押し)、半濁点「゜」(2回押し)を入力できます。

3 漢字に変換するときは、メニューボタンを押す。

変換候補が表示されます。

←→で文節の区切り位置が変更されます。

変換しないときは、字幕ボタンを押す。

4 選びたい変換候補に対応した数字ボタンを押す。

続けて入力するときは、手順**1**～**4**を繰り返す。

1文字消すには、消したい文字を選び、チャプターマーク消去ボタンを押す。

全文字を消すには、先頭の文字を選び、チャプターマーク消去ボタンを2秒間押し続ける(選んだ文字以降がすべて消去されます)。

5 文字をすべて入力し終わったら、チャプターマーク書込みボタンを押す。

元の画面に戻ります。

初期設定を変更する (セットアップ)

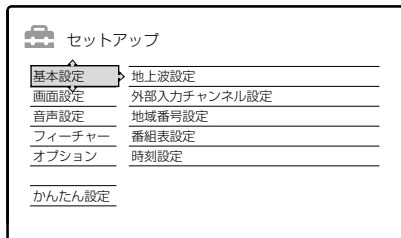
画質や音声、DVDの字幕の言語やメニューの言語など、さまざまな設定を変更できます。お買い上げ時の設定は、太字下線の項目です。

📌注意

- 再生の設定があらかじめ決められているタイトルは、セットアップ画面で設定した機能は働きません。
- 録画中および番組表データ受信中は、「セットアップ」を選べません。

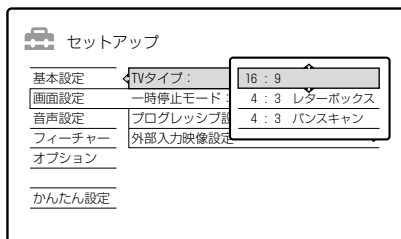
1 停止中に、システムメニューボタンを押す。

2 「セットアップ」を選び、決定する。



3 設定したい項目や内容を選び、決定する。

設定項目と内容について詳しくは、68～72ページの一覧をご覧ください。



ご使用のための基本の設定 (基本設定—チャンネル、時刻など)

地上波設定

自動チャンネル設定 お住まいの地域で受信できる放送局を自動設定する。

手動チャンネル設定 チャンネルの設定を変更する。変更したい行を選び、決定する。←→で変更したい項目を選び、↑↓で変更し、決定する。

表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル	アップダウン選局	微調整
50	50	2138	する	自動
51	51	---	しない	自動
52	52	2128	する	自動
53	53	---	しない	自動
54	54	260	する	自動
55	55	---	しない	自動

表示チャンネル

本体の表示窓やテレビ画面に表示されるチャンネル(24ページ)。

受信チャンネル

本機が放送局を受信したときのチャンネル(25ページ)。

ガイドチャンネル

Gガイド/Gコードのための識別番号。以下のような場合に設定する。数字ボタンで入力する。

- 本機の表示チャンネルを手動で変更したとき(26ページ)
- 受信できるチャンネルを追加したとき(27ページ)
- 1～62チャンネルで映るBSチャンネルを予約するとき(27ページ)
- 番組表やGコード予約できる放送局を追加するとき(27ページ)

アップダウン選局

「する」を選ぶと、チャンネル+/-ボタンで番号を上下してチャンネルを選べる(27ページ)。「しない」にした放送局は選べなくなり、番組表に表示されません(27ページ)。

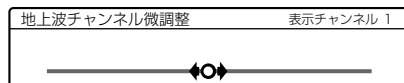
📌注意

- ホスト局(Gガイド/Gコード地域番号・放送局表(19ページ)の●の付いている放送局)を「しない」にすると、番組表データが取得できなくなります。
- 時計の自動補正(ジャストクロック)を設定しているチャンネル(NHK教育テレビ)を「しない」にすると、ジャストクロックが働きません(26、69ページ)。

微調整

映像の映りが悪いときに、受信状態を調整する。

- 自動: 受信状態を自動調整する。
- 手動: 受信状態を手動で微調整する。◀▶で調整し、決定する。



- 自動ステレオ受信**
- 入: ステレオ放送をステレオで聞く(通常の設定)。
 - 切: ステレオ放送をモノラルで聞く(雑音が多いとき)。

外部入力チャンネル設定

ガイドチャンネル 外部入力にチューナーを接続したときのガイドチャンネルを設定する(27ページ)。
接続したチューナーから受信する番組をGコードで予約できます(38ページ)。

地域番号設定

「かんたん設定」で設定した地域番号を表示する。地上波手動チャンネル設定、外部入力設定や番組表設定時に未設定のときや、引越したときなどは、地域番号を再設定する(18ページ)。「地域番号」を選び決定し、↑↓で地域を選び、決定する。

番組表設定

取得チャンネル 番組表データを送信している放送局(ホスト局)を設定する(26ページ)。

取得時刻設定 ホスト局が番組表データを送信する各時刻に、本機がデータを受信するかを設定する。送信時刻は地域によって異なります。「取得しない」に設定した時刻には、番組表データを受信しません。

📌 ご注意

- 番組表設定はむやみに変更しないでください。取得チャンネルの設定を誤ると、番組表データを取得できません。

時刻設定

現在時刻 時計を合わせる。
「現在時刻」を選び決定し、↑↓◀▶で年、月、日、時、分を順に合わせ、時報に合わせて決定ボタンを押す。

📌 ご注意

- 時刻設定が間違っていると、番組表データが受信できません。また、設定した日時に予約録画されません。

ジャストクロック NHK教育テレビの正午の時報に合わせて、本機の時計を自動補正する機能を設定する。

📌 ご注意

- 次の場合は自動補正できません。
- 本機の電源が入っている(正午5分前までに電源を切る)
 - 録画中
 - シンクロ録画待機中
 - 時計が2分以上ずれている
 - NHK教育テレビのチャンネルをとばしている(68ページ)
 - 番組表データ受信中
 - スポーツ中継の延長などにより、時報が送信されなかったとき

設定チャンネル ジャストクロックが正常に行われるように、設定チャンネルをNHK教育テレビの表示チャンネルに合わせる(26ページ)。

映像に関する設定(画面設定)

TVタイプ 映像が16:9サイズのタイトル(39ページ)や市販のDVDビデオを再生するときの、画面サイズを設定する。

- **16:9**:ワイドテレビまたはワイドモードのあるテレビとつなぐとき。



- **4:3レターボックス**:4:3のテレビとつなぐとき。ワイド映像は画面の上下に黒い帯が表示される。



- **4:3パンスキャン**:4:3のテレビとつなぐとき。ワイド映像は、左右が自動的にカットされ、画面全体に表示される。



⚠️注意

- DVDによっては、設定に関わらず自動的に「4:3レターボックス」または「4:3パンスキャン」で再生されるものがあります。

一時停止 一時停止時の画像のモードを設定する。

モード

- **自動**:通常はこの設定にする。動きの大きい被写体の画像が、ぶれずに見られる。
- **フレーム**:動きの少ない画像が、高い解像度で見られる。

プログレッシブ **プログレッシブ出力**

設定

接続しているテレビやテレビとの接続方法に合わせ、プログレッシブ映像信号を出力するかどうかを選ぶ。

- **する**:プログレッシブ方式(525p(480p))に対応しているテレビをD1/D2映像出力端子につないでいる場合を選ぶ。高品質な映像を再現できます。確認画面で「実行」を選び、映像を確認後「はい」を選びます。
- **しない**:テレビがプログレッシブ方式(525p(480p))に対応していない場合、またはD1/D2映像出力端子につないでいない場合を選ぶ。

プログレッシブ変換

「する」を選んでいるときに、素材の変換方法を設定する。

- **自動**:通常はこの設定にする。ビデオ素材とフィルム素材の違いを本機が検出し、自動的に素材に合わせた変換方法に切り換える。
- **ビデオ**:記録されている映像素材に関わらず、常にビデオ素材用の変換方法で映像を変換する。

⚠️注意

- ビデオ素材をD1/D2映像出力端子からプログレッシブ出力する場合、映像補間処理を行っているため、画像によっては、映像の一部が不自然になることがあります。出力のS1映像または映像端子からの出力は、設定に関わらずインターレース方式です。
- プログレッシブ(525p(480p))方式に対応していないテレビにつないでいるときにプログレッシブ方式を選んだ場合、映像が見られなくなります。また、記録されたビデオ信号がプログレッシブ方式への変換に適さない場合もあります。その場合はインターレース方式に切り換えてください。本機とテレビの互換性については、お客様相談センターにお問い合わせください(裏表紙)。
- プログレッシブ方式にしたために映像が見られなくなった場合は、本体のチャンネル(マイナス)ボタンと■(停止)ボタンを同時に押し、インターレース方式に戻ります。

外部入力映像 入力1端子/入力3端子それぞれからの信号の種類を選ぶ。

- **映像**:映像端子で接続したとき。
- **S映像**:S映像端子で接続したとき。

音声に関する設定(音声設定)

オーディオ 出力音声端子からの出力レベルを低くして、歪を抑えるかどうかを選ぶ。

ATT
アジュエイション
(attenuation)

- **入**:スピーカーからの音が歪むとき。
- **切**:通常はこの設定にする。

オーディオ

DRC

ダイナミック
(Dynamic
レンジ
Range
コントロール
Control)
(DVDのみ)

オーディオDRC対応のDVDを再生するときの、ダイナミックレンジ(小さい音から大きな音までの差)の設定を選ぶ。次の端子の出力に効果があります。

- 出力音声端子
- 「ドルビーデジタル」を「ダウンミックスPCM」に設定時のデジタル音声出力光端子
- **スタンダード**:通常はこの設定にする。
- **テレビ**:小さい音までよく聞こえるようにする。
- **ワイドレンジ**:迫力ある音にする。

ダウン

ミックス

(DVDのみ)

ドルビーデジタル方式のマルチチャンネル音声で記録されたDVDを、2チャンネルに変換して再生するときの設定を選ぶ。次の端子の出力に効果があります。

- 出力音声端子
- 「ドルビーデジタル」を「ダウンミックスPCM」に設定時のデジタル音声出力光端子
- **ドルビーサラウンド**:通常はこの設定にする。マルチチャンネルをサラウンド用に処理する。
- **ノーマル**:マルチチャンネルをステレオ用に処理する。

音声出力

デジタル出力

デジタル音声出力光端子から、音声信号を出力するかしないかを選ぶ。

- **入**: 通常はこの設定にする。併せて、下記の「ドルビーデジタル」、「DTS」、「48kHz/96kHz PCM」の設定も行う。
- **切**: デジタル回路がアナログ回路に与える影響を最小限に抑える。

ドルビーデジタル(HDD/DVDのみ)

ドルビーデジタル信号の出力方式を選ぶ。

- **ダウンミックスPCM**: 対応デコーダー内蔵でないオーディオ機器を接続時。
- **ドルビーデジタル**: 対応デコーダー内蔵のオーディオ機器を接続時。

DTS(DVDビデオのみ)

DTS信号の出力方式を選ぶ。

- **入**: 対応デコーダー内蔵のオーディオ機器を接続時。
- **切**: 対応デコーダー内蔵でないオーディオ機器を接続時。

48kHz/96kHz PCM(DVDビデオのみ)

出力する音声信号のサンプリング周波数を選ぶ。

- **48kHz/16bit**: 音声信号が48kHz/16bitに変換される。
- **96kHz/24bit**: 96kHz/24bitを含むすべての信号がそのまま出力される(著作権保護信号を含む信号は48kHz/16bitに変換される)。

📌ご注意

- 出力音声端子の信号には、この設定は影響しません。

視聴制限、言語などの設定(フィーチャー)

自動チャプターマーク

録画時に、チャプターを自動的に区切るかどうかを選ぶ。

- **入**: HDDとVRモードのDVD-RWおよびDVD-Rで、音声の変化(モノラルか、ステレオ/二か国語か)に応じてチャプターを区切る。音声の変化がないときは約6分間隔で区切る。その他のディスクでは、約6分間隔で区切る。
- **切**: チャプターを区切らない。

📌ご注意

- 録画する映像により、実際に区切られるチャプターの間隔は異なることがあります。
- ダビング時は、「入」の場合、約6分間隔でチャプターが区切られます。音声の変化によるチャプターの区切りはありません。

視聴年齢制限(DVDビデオのみ)

DVDビデオには、地域ごとに設定された視聴者のレベル(年齢など)に応じて、特定のシーンの再生を制限できるディスクがあります。

① 4桁の暗証番号を入力する。

② 「地域」を選ぶ。

③ 基準にする地域を選ぶ。

アメリカ以外の地域の場合は、「その他の地域」を選ぶ。その後、地域コード(83ページ)を入力する。

④ 「レベル」を選ぶ。

数字が小さいほど制限が厳しくなります。視聴年齢制限を解除するときは、「切」を選ぶ。

🗨️ちょっと一言

- 暗証番号を変更するときは、手順②で「暗証番号変更」を選びます。

📌ご注意

- 暗証番号を忘れた場合、「工場出荷設定」で「視聴年齢制限」を選びます(72ページ)。
- 再生中に視聴設定の変更を要求された場合は、暗証番号を入力し、レベルを変更してください。
- 視聴年齢制限機能がないディスクの再生では、この機能は動きません。

言語設定

- **DVDメニュー言語**: メニューの言語を切り換える。
- **音声言語**: 音声言語を切り換える。「オリジナル」を選ぶと、DVDに設定された優先言語になる。
- **字幕言語**: 字幕言語を切り換える。「音声連動」を選ぶと、音声言語と同じ言語になる。

🗨️ちょっと一言

- 「その他」を選んだときは、言語コード(83ページ)を入力してください。

📌ご注意

- 選んだ言語がDVDに無いときは、記録されているいずれかの言語になります。

スポーツ延長対応

「スポーツ延長対応」が「入」時、番組表に延長の情報が無いときの録画延長時間を設定する(42ページ)。

- 30分
- 60分
- 120分

シンクロ録画

シンクロ録画時(64ページ)の録画先を選ぶ。

- **HDDへ録画**
- **DVDへ録画**

XP画質設定(HDDのみ)

HDD録画時のXPモードを選ぶ(44ページ)。

- **XP+**: より高画質(約15Mbps)で録画する。
- **XP**: 標準のXPモードで録画する。

スクリーンセーバー

メニューや設定画面などを表示中に、本体やリモコンの操作がないまま10分経過すると、スクリーンセーバーの画面に切り換わります。画像の焼き付き(残像現象)を防ぐのに役立ちます。

- **入**: スクリーンセーバーを使う。
- **切**: スクリーンセーバーを使わない。

二重音声、リモコンモードなどの設定(オプション)

DVD-RW 初期化	DVD-RWを入れると自動的に行われる初期化時の記録フォーマットを選ぶ。 <ul style="list-style-type: none">• VR: VRモードで初期化する。• ビデオ: ビデオモードで初期化する。
HDD二重 音声記録	音声多重放送の番組をHDDに録画するときの音声を選ぶ。 <ul style="list-style-type: none">• 主音声: 主音声を記録する。• 副音声: 副音声を記録する。• 主+副音声: 主音声と副音声を記録する。 <p>📢ご注意</p> <ul style="list-style-type: none">• DVDからHDDへの録画モード変換ダビング時は、設定に関わらずダビング元の音声そのまま記録されます。
DVD二重 音声記録	音声多重放送の番組をDVDに録画するときの音声を選ぶ。 VRモードのDVD-RWおよびDVD-Rに録画時は、設定に関わらず主音声と副音声の両方が記録されます。 <ul style="list-style-type: none">• 主音声: 主音声を記録する。• 副音声: 副音声を記録する。
低消費 スタンバイ	表示窓の明るさを調整して、低消費モードにするかを選ぶ。 <ul style="list-style-type: none">• 入: 表示窓を暗く表示し、低消費モードにする。電源「切」(待機状態)時に、表示窓が消灯する。• 切: 表示窓を明るく表示する。低消費モードにならない。
自動画面表示	情報の画面表示のしかたを選ぶ。 <ul style="list-style-type: none">• 入: 電源を入れたときなど、自動で表示される。• 切: 画面表示ボタンを押したときのみ。
リモコン モード	28ページをご覧ください。
工場出荷設定	選んだ項目ごとに出荷時の設定に戻す。 選んだ項目のすべてがお買い上げ時の設定に戻るため、ご注意ください。 <ul style="list-style-type: none">① 出荷時の設定に戻したい項目を選ぶ。② 確認画面で「実行」を選ぶ。 <p>🗨️ちょっと一言</p> <ul style="list-style-type: none">• x-おまかせ・まる録機能(36ページ)で学習した嗜好値をお買い上げ時の状態に戻すには、「おまかせ・まる録学習情報」を選びます。

かんたん設定

かんたん設定をやり直せます。「実行」を選び、「準備6かんたん設定をする」(18ページ)にしたがって設定し直してください。

故障かな?と思ったら

まず、以下の中から該当する項目がないか、もう一度点検してください。

それでも解決しないときは、「スゴ録 点検シート」(78ページ)にご記入の上、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください(裏表紙)。

故障の場合は、「スゴ録 点検シート」をテープで本体に貼り、ソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

電源

▶ 電源が入らない。

→ 電源コードがしっかり差し込まれているか確認する。

画像

▶ 映像が出ない、乱れる。

- 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認する。
- 接続コードが断線していないか確認する。
- テレビを本機接続の入力(「ビデオ1」、「ビデオ2」、「外部入力」など)に切り換える。
- プログレッシブ方式に対応していないテレビとD映像コードで接続しているときに、本機をプログレッシブ方式に設定しているため。プログレッシブ方式にしたために映像が見られなくなった場合は、本体のチャンネル-(マイナス)ボタンと■(停止)ボタンを同時に押し、インターレース方式に戻す。
- プログレッシブ方式に対応しているテレビとD映像コードで接続している場合、プログレッシブを設定していると映像が乱れることがある。プログレッシブ方式にしたために映像が見られなくなった場合は、本体のチャンネル-(マイナス)ボタンと■(停止)ボタンを同時に押し、インターレース方式に戻す。
- 本機をビデオデッキ経由でテレビに接続したり、ビデオ一体型テレビに接続すると、DVDソフトのコピー防止信号が画質に悪影響をおよぼす可能性がある。テレビに直接接続する。
- 本機をテレビに直接接続している場合、S映像コードで接続する(14ページ)。
- ハードディスクの特性上、ごくまれに画像が乱れることがある。故障ではありません。
- 2層DVDを再生する場合、レイヤー(層)が切り換わるときに映像や音声の一部途切れることがある。

▶ テレビのチャンネルを変えられない。

→ テレビの入力切替で見たいチャンネルに切り換える。

- 本機の入力切替ボタンで、映像が映るように入力を地上波放送にする。
- チャンネルをとばす設定をしている場合は、チャンネル+/ーボタンでは選局できない(68ページ)。
- 予約録画や「x-おまかせ・まる録」が始まってチャンネルが自動的に切り換わったため。テレビの入力を切り換え、テレビ側でチャンネルを切り換える。

▶ チャンネルを切り換えたとき画像が出るまで時間がかかる。

→ 番組表データ受信後は、出画までに時間がかかることがある。

▶ 本機の入力端子に接続した機器の画像が映らない。

- 入力切替ボタンを押し、接続先が入力1端子のときは「L1」、入力2端子のときは「L2」、入力3端子のときは「L3」を本体表示窓に出す。
- 入力1または入力3のS映像端子に接続した場合は、「セットアップ」の「画面設定」で、「外部入力映像設定」の「入力1」または「入力3」を「S映像」にする(70ページ)。

▶ 「TVタイプ」で設定した画像サイズで再生できない。

→ 画像サイズ固定のタイトルを再生している(70ページ)。

▶ 画面の横縦比がおかしい。

→ テレビ画面の横縦比に画像を合わせる(70ページ)。

TV受信

▶ 本機で受信しているテレビ放送が映らない。

- アンテナケーブルをアンテナ出力端子に接続しているため。アンテナ入力端子に接続する。
- 「基本設定」の「地上波設定」を選び、「手動チャンネル設定」でチャンネルを合わせる(23ページ)。
- 入力切替ボタンで正しい外部入力を選ぶ。または、チャンネル+/ーボタンで他の放送局を選ぶ。
- 地上デジタル放送の開始にともない、「アナログ周波数変更」が行われた地域では、変更前のチャンネルは映らない。変更後のチャンネルに手動で合わせる(23ページ)。

▶ 本機で受信しているテレビ放送の画像が汚い。

- アンテナの向きや高さを調節する。
- アンテナケーブルをアンテナ出力端子に接続しているため。アンテナ入力端子に接続する。
- 画像を手動で微調整する(68ページ)。
- 本機とテレビを離して設置する。
- アンテナ線を本機から離してたばねる。
- 電波が弱い。別売りアンテナブースターで電波を増幅する。

▶ 本機に接続した他機で再生・受信している画像がゆがむ。

- DVDプレーヤーやビデオデッキなどで再生しているソフトや、別売りのチューナーなどで受信している信号に、著作権保護のためのコピー防止信号が含まれているため。プレーヤーやチューナーなどの機器を本機から外し、テレビに直接接続する。

番組表

▶ 番組表が表示されない。

- 接続と「かんたん設定」が終了した後、番組表データを受信するまでは1日程度かかる。それまでは番組表は表示されない(23ページ)。
- 日付や時刻を正しく設定する(18ページ)。
- 番組表データを送信している放送局(23ページ)の受信状態が悪いため、番組表を表示できない。
- 間違った地域番号が設定されている。「セットアップ」から「かんたん設定」を選び、正しい地域番号でかんたん設定をやり直す(72ページ)。
- 番組表データを送信している放送局(ホスト局)が変わったため。「セットアップ」の「基本設定」で「番組表設定」を選び、「取得チャンネル」を正しい放送局に設定する(26ページ)。
- 番組表の取得時刻をすべて「取得しない」に設定しているため。「セットアップ」の「基本設定」で「番組表設定」を選び、「取得時刻設定」で少なくとも1つは「取得する」に設定する(69ページ)。
- 番組表データを送信している放送局が誤った設定になっているため。「セットアップ」の「オプション」の「工場出荷設定」で「基本設定」を選び(72ページ)、初期状態に戻してから「かんたん設定」を選び直す(72ページ)。
- ホスト局以外の番組を録画中は、番組表データは受信されない。次の番組表データ受信までしばらく待つ。
- 番組表データの受信中にチャンネルを切り換えたため、番組表データが受信されていない。次の番組表データ受信までしばらく待つ。
- お住まいの地域によっては、番組表データを受信できない場合があります。CATV側で受信チャンネルの周波数を変えている場合は、番組表データが受信されない。チャンネルを設定し直す(23ページ)。

▶ 番組表に表示されない放送局がある。

- 「セットアップ」の「基本設定」の「地上波設定」で、「手動チャンネル設定」の「アップダウン選局」が「しない」に設定されているため(68ページ)。「する」に設定し直す。
- 間違った地域番号が設定されているため。「セットアップ」から「かんたん設定」を選び、正しい地域番号でかんたん設定をやり直す(72ページ)。
- 番組表データに含まれない放送局は表示されない。

▶ 番組表が更新されない。

- 更新時の受信状態が悪く、最新の番組表データを受信できなかったため。次の番組表データ受信までしばらく待つ。
- 番組表データの受信中にチャンネルを切り換えたため。次の番組表データ受信までしばらく待つ。
- 番組表データを送信している放送局(ホスト局)が変わったため。「セットアップ」の「基本設定」で「番組表設定」を選び、「取得チャンネル」を正しい放送局に設定する(26ページ)。
- 受信時刻にホスト局以外を選んで録画をしていたため、番組表データが受信・更新されていない(23ページ)。次の番組表データ受信までしばらく待つ。

▶ 番組表に表示されない番組がある。

- 受信状態が悪いため、すべての番組表データを受信できていない。次の番組表データ受信までしばらく待つ。
- 時刻別番組表には、短い番組(5分間の番組など)は表示されないため。チャンネル別番組表を使う(30ページ)。

▶ 間違った放送局名が表示される。

- 間違った地域番号が設定されているため。「セットアップ」から「かんたん設定」を選び、正しい地域番号でかんたん設定をやり直す(72ページ)。
- 引越して番組表データを受信できない場合などに、前に受信していた放送局名が表示されることがある。「セットアップ」の「オプション」で「工場出荷設定」(72ページ)を行うと、消すことができる。

録画・予約

▶ 録画中、テレビのチャンネルを変えられない。

- テレビ本体のチャンネルを見たいチャンネルに切り換える。

▶ ●(録画)ボタンを押しても、すぐに録画が始まらない。

- 表示窓から「LOAD」、「FORMAT」、「INFOWRITE」が消えてから操作する。

▶ 録画中に■(録画停止)ボタンを押してもすぐに止まらない。

- 録画が止まる前にHDDやDVDにデータを記録するため、数秒かかる。

▶ 録画中に■(停止)ボタンを押しても、録画が止まらない。

- ■(録画停止)ボタンを押す。

▶ 予約したのに録画されていない。予約した内容が途中で切れている。

- 録画中に停電があった。
- 1時間以上の停電があり、時計が止まったため。時計を合わせ直す(69ページ)。
- 予約した後で、予約したチャンネルをとばして映らないようにした(68ページ)。
- コピー防止信号が含まれている映像を録画した。
- 後から設定した予約、または優先設定や延長設定をした予約が重なっていた(41ページ)。
- ダビング中は、予約録画ができない(60ページ)。
- DVDに直接録画するときに、DVDが入っていなかった。
- HDDやDVDの残量が足りなかった。
- タイトル数が上限に達しているため録画できなかった。

▶ 以前録画した内容がなくなっている。

- パソコンで録画したDVDのデータは、DVDを本機に入れたときに消去されることがある。
- 予約リスト内の「自動消去」の設定を「入」にしていた(42ページ)。
- 毎回録画を設定している番組で、更新録画が行われた(35ページ)。

▶ **Gコード番号が入力できない。予約内容が違う。**

- 間違ったGコード番号が入力されているため。正しいGコード番号を入力する。
- 日付や時刻が正しく設定されているか確認する(69ページ)。
- 間違った地域番号が設定されているため。「セットアップ」の「かんたん設定」で正しい地域番号を設定する(72ページ)。
- 予約したい放送局が本機に登録されていないため。放送局の受信チャンネルを追加し、そのチャンネルのGコード予約の設定をする(27、38ページ)。
- ケーブルテレビ(CATV)は、Gコード予約できないことがある。日時指定予約をする(38ページ)。

本機に接続したチューナー/テレビからの録画

▶ **シンクロ録画予約したのに録画されていない。**

- 本機に接続した機器の電源を切り忘れたため。接続機器の電源を切ってからシンクロ録画予約待機にする(64ページ)。
- 入力1端子に接続していないため。シンクロ録画予約する機器は、入力1端子に接続する(15ページ)。
- シンクロ録画中に停電があった。

▶ **シンクロ録画予約した内容が途中から始まる。**

- 本機と接続した機器の予約が、本体の予約と重なっていた(64ページ)。

▶ **チューナーの電源を入れると、本機が自動的に録画を始めてしまう。**

- シンクロ録画機能が働いているため。チューナーの電源を切って、リモコンのシンクロ録画ボタンを押す。

ダビング

▶ **タイトルをダビングしたら、HDDのタイトルリストに表示されなくなった。**

- コピー防止信号を含んでいたため、ムーブ(移動)になった(62ページ)。

▶ **高速ダビングできない。**

- 高速ダビングができないタイトルだった(62ページ)。A-B消去で消去して横縦比が混在しないようにしても、横縦比が混在したタイトルとして扱われる。

再生

▶ **再生できない。**

- DVDやCDが裏返しに入っているため。再生面を下にする。
- DVDやCDが斜めにずれて入っていないか確認する。
- 結露しているため。しばらく放置する(81ページ)。
- 他機で記録したDVDやCDは、ファイナライズされていなければ本機で再生できない(63ページ)。

▶ **再生がHDDやDVDの最初から始まらない。**

- つづき再生になっている。サブメニューから「頭出し再生」を選ぶ(50ページ)。
- DVDによっては自動的にタイトルメニュー、DVDメニューの画面が出る。

▶ **再生が自動的に始まる。**

- DVDによっては自動的に再生が始まる。


▶ **再生が自動的に止まる。**

- DVDによってはオートポーズ信号が記録されているものがある。このようなDVDを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まる。

▶ **停止、早送り/早戻し、スロー再生などの操作ができない。**

- DVDによっては停止などの操作を禁止している。DVDに付属の説明書も併せて見る。

▶ **音声言語や字幕、アングルを変更できない。**

- 再生しているディスクに複数の音声言語や字幕、アングルが記録されていない。
- DVDによっては音声言語や字幕、アングルの変更を禁止している。
- DVDメニューから操作する(49ページ)。
- 本機で録画したタイトルでは字幕やアングルを変更できない。
- 本体表示窓に  が表示されていない場面では、アングルを変更できない(49ページ)。

▶ **MP3の再生が始まらない。**

- MP3フォーマットではないので再生できない(52ページ)。

音声

▶ **音が出ない。**

- 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認する。
- 接続コードが断線していないか確認する。
- 本機に接続したアンプの入力を切り換え、本機の音声が出るようにする。
- 一時停止、スロー再生、早送りまたは早戻し中は、音が出ない。
- デジタル音声出力(光)端子から音が出ないときは、「セットアップ」の「音声設定」で「音声出力」を選び、「デジタル出力」を確認する。(71ページ)。

▶ **音が歪む。**

- 「セットアップ」の「音声設定」で「オーディオATT」を「入」に設定する(70ページ)。

▶ **音が小さい。**

- DVDによっては、再生時の音量が小さい場合がある。「セットアップ」の「音声設定」で「オーディオDRC」を「テレビ」に設定(70ページ)すると、改善されることがある。
- 「セットアップ」の「音声設定」で「オーディオATT」を「切」に設定する(70ページ)。

▶ **音声多重放送の音声が切り換えられない。**

- 音声多重放送(主音声および副音声)の音声をDVD+RWやDVD-RW(ビデオモード)、DVD+R、DVD-R(ビデオモード)に記録することはできない。録画/ダビングする前に、「セットアップ」の「オプション」で、「DVD二重音声記録」を「主音声」または「副音声」に設定する(72ページ)。

- 主音声と副音声の両方を記録するには、HDDまたはVRモードのDVD-RW/DVD-Rに録画する。HDDに記録するときは、「セットアップ」の「オプション」で、「HDD二重音声記録」を「主+副音声」に設定する(72ページ)。
- 外部入力をしているときは、ツールボタンを押して「外部入力音声」から「二重音声」を選ぶ(64ページ)。
- 電波が弱い場合モノラルまたは主音声だけで録画されていた。アンテナの向きを調節するか、別売りのアンテナブースターで電波を増幅する。
- デジタル音声出力(光)端子にアンプを接続している場合、HDDまたはDVD-RW(VRモード)、DVD-R(VRモード)で音声を切り換えるには、「セットアップ」の「音声設定」にある「音声出力」で「ドルビーデジタル」を「ダウンミックスPCM」に設定する(71ページ)。
- 録画するときに「セットアップ」の「基本設定」で「地上波設定」の「自動ステレオ受信」を「入」に設定する(68ページ)。

リモコン

- ▶ **リモコンが働かない。**
 - 乾電池が消耗していないか確認する。
 - 乾電池を交換すると、テレビのメーカー設定はお買い上げ時の設定に戻る場合がある。リモコンでメーカーを設定し直す(28ページ)。
 - リモコンを本体に向けて操作する(11ページ)。
 - 本体とリモコンのリモコンモードが違っているため。リモコンモードを本体のリモコンモードに合わせる。(28ページ)。本体のリモコンモードを確認するには、電源「切」のときに本体の■(停止)ボタンを押し、本体表示窓にリモコンモードを表示させる。
 - リモコンを本体から遠いところで操作している。
- ▶ **本機のリモコンで操作したら、本機と他のソニー製DVDプレーヤーが同時に動いてしまった。**
 - 本機と他機のリモコンモードが同じになっているため。本機のリモコンモードを変える(28ページ)。
- ▶ **リモコンの数字ボタンでテレビのチャンネルを選べない。**
 - テレビチャンネル+/-ボタンで選ぶ。

表示

- ▶ **時計が止まっている、ずれている。**
 - 時報に合わせて時計を合わせる(69ページ)。時計が合っていないと番組表データを受信できない。
 - 「セットアップ」から「基本設定」の「時刻設定」を選び、「ジャストクロック」を「入」に設定する(69ページ)。
 - 1時間以上の停電があったため。時報に合わせて時計を合わせ直す(69ページ)。時計が合っていないと番組表データを受信できない。
- ▶ **本体の録画予約ランプが点滅している。**
 - HDDやDVDに空きがない。
 - 本機に録画可能なDVDが入っていない。
 - DVDが保護(プロテクト)されている(55ページ)。

- ▶ **録画モードが正しく表示されない。**
 - 10分未満の録画やダビングをしたときや、10分以上でも静止画像などの動きの少ない映像では、録画モードを正しく表示できないことがある。設定した録画モードで録画やダビングがされるが、表示が変わることがある。
 - EP、SLPで録画したタイトルを再生した場合、録画した映像によっては録画モードの表示が変わることがある。
- ▶ **電源を切っているときに、本機の表示窓に時計が表示されない。**
 - 「セットアップ」の「オプション」で「低消費スタンバイ」を「入」に設定され、本機が待機状態である(72ページ)。
- ▶ **アルファベットと数字で5桁の番号が本体表示窓に出ている。**
 - 自己診断機能が働いている(77ページ)。
- ▶ **「LOCKED」が本体表示窓に出ている。**
 - ディスクトレイがロックされているため。ロックを解除する(34ページ)。
- ▶ **「TRAYLOCKED」が本体表示窓に出ている。**
 - お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- ▶ **「RECOVERY」が本体表示窓に出ている。**
 - 録画中に停電などで電源が切れてから電源が入ると、本機の修復機能が働くため。表示窓から「RECOVERY」が消えるまで待つ。
- ▶ **「HDD ERROR」が本体表示窓に出ている。**
 - ハードディスクの動作エラーが起きているため。①表示窓に「WELCOME」が表示されるまで約10秒間本体の電源ボタンを押し続け、本機を再起動させる。②それでも解決しないときは、本体表示窓に「FORMAT」が表示されるまで本体HDDボタンを約10秒間押し続けてハードディスクを初期化する。ただし、この操作を行うとハードディスクの記録内容はすべて消えます。③それでも解決しないときは、お客様ご相談センターへご連絡ください(裏表紙)。
- ▶ **「FAN ERROR」が本体表示窓に出ている。**
 - ①本体背面のファンがふさがれていないか確認する。②ふさがれていない状態にして、電源コードを抜く。③しばらくしてから再び電源コードをつなぎ、電源を入れる。

その他

▶ 正常に動作しない。

- 本体表示窓に「WELCOME」が表示されるまで本体の電源ボタンを10秒間押し続け、本機を再起動させる。
- 静電気などの影響があったため。①電源を切って本体表示窓に時計が表示されてから電源コードを抜く。②しばらくしてから再び電源コードを接続し、電源を入れる。

▶ 自動的に再起動する。

- 本機に不具合が生じたときに、自動的に再起動することがある。

▶ 合(開/閉)ボタンを押してもディスクトレイが開かない。

- DVDに録画や編集をしたとき、ディスクトレイが開くのに数秒かかることがある。これは、本機がDVDにディスク情報を追加しているため。
- ①電源を切って本体表示窓に時計が表示されてから、電源コードを抜く。電源が切れないときは、そのまま電源コードを抜く。②本体の合(開/閉)ボタンを押しながら電源コードを接続し直し、ディスクトレイが出たら合(開/閉)ボタンをはなす。③ディスクを取り出した後、本体表示窓に「WELCOME」が表示されるまで本体の電源ボタンを10秒間押し続け、本機を再起動させる。
- ロックされている。ロックを解除する(34ページ)。

自己診断機能について(アルファベットで始まる表示が出たら)

本機の異常を未然に防ぐため、自己診断機能が働くと、表示窓にアルファベットと数字で5桁のサービス番号(例:C 13 00)が表示されます。その際は次のように対応してください。

サービス番号(最初の3桁)

▶ C 13

- HDDに問題がある。お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- DVDが汚れている。柔らかい布でDVDを拭く(81ページ)。

▶ C 31

- DVD/CDが正しく入っていない。DVD/CDを正しく入れ直す。

▶ E XX(XXは任意の数)

- 異常を未然に防ぐため自己診断機能が働いている。
 - お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。その際はサービス番号の5桁全てをお知らせください。(例:E 61 10)

スゴ録 点検シート

「故障かな?と思ったら」(73ページ)をご覧ください、もう一度点検してください。

それでも正常に動作しないときは、この点検シートにご記入の上、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください(裏表紙の連絡先へ)。

点検シート ご記入のお願い

1 不具合内容について、該当する項目に✓をご記入ください。

いつ症状が起きますか?

- 今回が初めて いつも 時々
 特定の操作を行なったとき
(具体的に: _____)

反応しない場合、本体表示窓に「WELCOME」が表示されるまで本体の電源ボタンを10数秒間押し続け、症状が改善されますか?

- はい いいえ

症状が発生した後、どのような状況になりましたか?

- リモコン、本機のボタンを操作しても反応しない
 リモコン、本機のボタンによる操作はできた
 その他(_____)

2 症状について、「A」から「F」の中から該当する項目に✓をご記入ください。

A 電源が入らない

「故障かな?と思ったら」の「電源」(73ページ)をもう一度点検してください。

いつ症状が起きますか?

- 電源プラグをコンセントに差してから
 電源ボタンを押して画面がでるまでの間
 その他(_____)

画面、表示窓にどのような表示が出ていますか?

- (_____)

B 画面が映らない

「故障かな?と思ったら」の「画像」(73ページ)、「TV受信」(73ページ)をもう一度点検してください。

どの映像が映りませんか?

- 地上波放送
 映像/音声入力端子(S端子 映像コード)

どのようなコードでテレビに接続されていますか?

- 映像コード S映像コード D映像コード
注)機種により使用できるコードは異なります。

ケーブルテレビ(CATV)をお使いですか?

- 使用している 使用していない

本機につないであるアンテナケーブルを直接テレビにつないだとき、画面は正常に映りますか?

- はい いいえ

C 番組表が表示されない

「故障かな?と思ったら」の「番組表」(23、74ページ)をもう一度点検してください。

どの程度「番組表」が表示されませんか?

- 全く受信されない 一部のチャンネル 一部の時間帯

ケーブルテレビ(CATV)をお使いですか?

- 使用している 使用していない

過去に受信したことはありますか?

- 以前は正常に表示されていた 全く表示したことがない

「セットアップ」から「基本設定」の「番組表設定」で、

「取得チャンネル」を変えたことがありますか?

- はい いいえ わからない

地上波放送は受信できていますか?

- はい いいえ

D 録画ができない

「故障かな?と思ったら」の「録画・予約」(74ページ)、「本機に接続したチューナー/テレビからの録画」(75ページ)をもう一度点検してください。

どの場合に症状が起きますか?

- HDDへ録画 DVDへ録画
 HDDからDVDへダビング
 DVDからHDDへダビング

DVDへ録画/ダビングの場合、どのディスクで起きますか?

- DVD-R DVD+R DVD-RW DVD+R DL
 DVD+RW その他
ディスクメーカー名(_____) 倍速(_____)

→ 次頁へつづく

→ D 録画ができない(つづき)

DVDへ録画/ダビングの場合、どのようなディスクをお使いですか？

- 新品 スゴ録で録画したディスク
 - 他の機器で録画したディスク パソコンで録画したディスク
- 機種名を教えてください。()

どのような症状ですか？

- まったく録画できない 録画できるが途中で止まる
- 録画できたが再生できない
- その他()

どの録画ができませんか？

- 地上波放送
- 本機の入力端子につないだ他機からの録画
(入力1 入力2 入力3)
- その他()

どの録画モードで症状が起きますか？（複数チェック可）

- XP+ XP XSP SP LSP
- ESP LP EP SLP

録画はどのようにして行いましたか？

- 予約録画(番組表 Gコード 日時指定)
- 手動録画(本体ボタン リモコンボタン)
- シンクロ録画 x-おまかせ・まる録

画面、表示窓にどのような表示が出ていますか？

()

E 再生ができない

「故障かな？と思ったら」の「再生」(75ページ)をもう一度点検してください。

どのような症状が起きますか？（複数チェック可）

- 画像が出ない 音声が出ない
- 途中で止まる メッセージは出る

症状が起きるタイトル数は？

- 1タイトル 数タイトル 全タイトル

どちらで症状が起きますか？（複数チェック可）

- HDD DVD

DVDの場合、どのディスクで起きますか？

- DVD-R DVD+R DVD-RW DVD+R DL
- DVD+RW 音楽CD DVDソフト
- CD-R 8cmDVD その他()

DVDの場合、どの機器で録画したディスクですか？

- スゴ録で録画したディスク
- 他の機器で録画したディスク
- パソコンで録画したディスク
(ソフト名: バージョン名:)

ディスクのタイトル名を教えてください。〈具体的に〉

()

書き込みされたディスクメーカー名を教えてください。

()

F リモコンが働かない

「故障かな？と思ったら」の「リモコン」(76ページ)をもう一度点検してください。

いつ症状が起きますか？

- 本機の電源が「切」のとき
- 本機の電源が「入」のとき

本体のリモコンモードはいくつですか？

- DVD1 DVD2 DVD3

リモコンのリモコンモードを本体のリモコンモードに合
せていますか？

- はい いいえ

本体のボタンで操作はできますか？

- はい いいえ

電池を交換した後、症状は改善されましたか？

- はい いいえ

3 その他お気づきの点がございましたら、症状をご記入ください。

4 修理の際に、ハードディスクを初期化して、録画した内容をすべて消去しなければならない場合があります。該当する項目に✓と、お客様のご署名をご記入ください。

ハードディスクの初期化に同意されますか？

- 同意する 同意しない(修理できない場合があります)

お客様ご署名 _____

お客様から記載いただいた署名は、ハードディスクの初期化の同意確認のために使用するものであり、この目的以外の使用は一切行いません。また、いただいた署名は当社が厳重な管理の下で保管し、必要がないと判断した時には、再生不能な形で破棄させていただきます。

■ 弊社サービス担当記入欄 ■

型名: ()

本機ご使用地域 _____ 都・道・府・県

製造番号: ()

_____ 市・区・町・村

Gガイドについて

Gガイドは、(株)インタラクティブ・プログラム・ガイドがサービス主体となり、特定の放送局の放送波を利用して番組表データを送信するサービスです。番組表のデータ送信は(株)インタラクティブ・プログラム・ガイドと、データ送信を行う放送局側で行われているため、都合によりデータが送信されない場合もあります。

→ Gガイドのサービス地域について

Gガイドを利用した番組表データは、次の放送局(ホスト局)より送信されています(2005年7月現在)。

- 北海道地域—北海道放送(HBC)
- 東北地域—青森テレビ(ATV)、秋田テレビ(AKT)、アイ・ビー・シー岩手放送(IBC)、テレビユー山形(TUY)、東北放送(TBC)、テレビユー福島(TUF)
- 関東地域—東京放送(TBS)
- 中部地域—新潟放送(BSN)、信越放送(SBC)、静岡放送(SBS)、中部日本放送(CBC)、テレビ山梨(UTY)、チューリップテレビ(TUT)、北陸放送(MRO)、福井テレビ(FTB)
- 近畿地域—毎日放送(MBS)
- 中国・四国地域—山陽放送(RSK)、中国放送(RCC)、テレビ山口(TYS)、山陰放送(BSS)、あいテレビ(ITV)、テレビ高知(KUTV)
- 九州・沖縄地域—RKB毎日放送(RKB)、長崎放送(NBC)、大分放送(OBS)、熊本放送(RKK)、宮崎放送(MRT)、南日本放送(MBC)、琉球放送(RBC)

当社では、Gガイドを利用した番組表のサービス内容には関与していません。

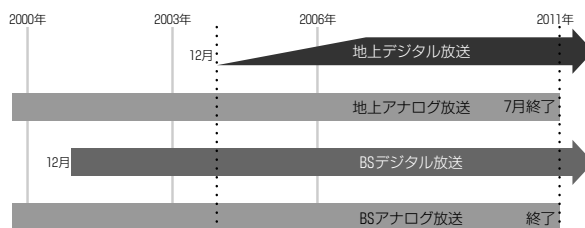
Gガイド、G-GUIDE、Gガイドロゴ、Gコード、G-CODE、およびGコードロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.の日本国内における登録商標です。

GガイドおよびGコードシステムは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

→ デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始、その他の地域も2006年末までに開始予定です。該当地域での受信可能エリアは、当初は限定、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定しています。



→ 本機でデジタル放送を録画するには

別売のデジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵テレビと、本機を接続すれば、デジタル放送を録画できます(15ページ)。番組によっては、コピー防止信号により、録画や一度録画したタイトルのダビングができない場合があります。デジタルハイビジョン画質では録画できません。

使用上のご注意

→ 設置場所について

次の場所に置かないでください。

- 振動の多い所。
- 直射日光が当る所、湿度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。(チューナーやテレビ、ビデオデッキと一緒に使用時、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいため、屋外アンテナの使用をお勧めします。)

→ 設置場所を変えるときは

DVDやCDを取り出してください。入れたまま動かすと、DVDやCDを傷めることがあります。また、内蔵HDDに振動や衝撃を与えないよう充分ご注意ください(10ページ)。

→ 結露(露つき)について

結露は、空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋で、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きている状態で使用すると、故障の原因になります。

結露がなくなるまで(約1時間)、そのままの状態(電源「入」時は「入」のまま、「切」時は「切」のまま、電源プラグをコンセントに差し込んでいないときは差し込まないまま)で、放置してください。

→ 本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めるため使わないでください。

→ 音量を調節するときは

再生開始前に、音量を必ず下げてください。上げていると、思わぬ大音量でスピーカーを破損するおそれがあります。

→ ステレオで聞くときのエチケット

ステレオで音楽を楽しむときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲にはよく通るものです。



窓を閉めたり、ヘッドホンを使ったりなど互いに心配りし、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

→ クリーニングディスク、ディスククリーナーについて

市販のレンズ用のクリーニングディスクやディスククリーナー(湿式またはスプレー式)は、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

→ DVDやCDの取り扱い上のご注意



- 再生、録画面に手を触れないように持ちます。
- 直射日光が当るところなど温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- 次のようなディスクは、故障の原因になります。
 - 円形以外の特殊な形状(カード型、ハート型、星型など)をしたディスク
 - 紙やシールの貼られたディスク
 - セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク



保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

→ 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

→ アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックとご相談を

「故障かな?と思ったら」の項を参考に、故障かどうかを点検してください。

それでも具合が悪いときはお客様ご相談センターへ

「スゴ録 点検シート」(78ページ)にご記入の上、お客様ご相談センターへご連絡ください(裏表紙)。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではDVDレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

システム

形式	DVDレコーダー
信号方式	JEITA標準、NTSCカラー方式
受信チャンネル	VHF:1~12チャンネル UHF:13~62チャンネル CATV:C13~C63チャンネル
映像受信方式	周波数シンセサイザー方式
音声受信方式	スプリットキャリア方式
アンテナ入出力	地上波:VHF/UHF1軸、75Ω F型コネクタ
タイマー	時計方式:クォーツロック、12時間デジタル表示 停電補償時間:約1時間
映像圧縮方式	MPEG-2、MPEG-1
音声圧縮方式/ビットレート	Dolby Digital 2チャンネル 256 kbps/128 kbps(EP、SLPモード時)

入・出力端子

映像入力	入力1、入力2(前面)、入力3の3系統、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω
映像出力	出力1系統、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω
S映像入力	入力1、入力2(前面)、入力3の3系統、4ピンミニDIN 輝度信号:1.0 Vp-p/75 Ω 色信号:0.286 Vp-p/75 Ω
S1映像出力	出力1系統、4ピンミニDIN 輝度信号:1.0 Vp-p/75 Ω 色信号:0.286 Vp-p/75 Ω
音声入力	入力1、入力2(前面)、入力3の3系統、ピンジャック 入力レベル:2 Vrms(入力インピーダンス:22 kΩ以上)
音声出力	出力1系統、ピンジャック 出力レベル:2 Vrms(負荷インピーダンス:10 kΩ)
デジタル音声出力	光:角型光ジャック1系統/-18 dBm(発光波長660 nm)
D1/D2映像出力	D端子/Y:1.0 Vp-p/75 Ω、 P _B /C _B :0.7 Vp-p/75 Ω、 P _R /C _R :0.7 Vp-p/75 Ω

電源、その他

電源	AC100 V、50/60 Hz
消費電力	36 W
許容動作温度	5 °C～35 °C
許容動作湿度	25 %～80 %
最大外形寸法	430 × 65 × 328 mm (幅×高さ×奥行き)最大突起含む
ハードディスク容量	200ギガバイト
本体質量	約4.2 kg
付属品	映像・音声コード(1) 電源コード(1) アンテナケーブル(1) リモコン(1) 単3形(R6)乾電池(2)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

視聴年齢制限地域/ 言語コード一覧

詳しくは、71ページをご覧ください。

視聴年齢制限地域コード

使用する地域	地域コード	使用する地域	地域コード	使用する地域	地域コード
アルゼンチン	2044	スイス	2086	バキスタン	2427
イギリス	2184	スウェーデン	2499	フィリピン	2424
イタリア	2254	スペイン	2149	フィンランド	2165
インド	2248	タイ	2528	ブラジル	2070
インドネシア	2238	中国	2092	フランス	2174
オーストラリア	2047	チリ	2090	ベルギー	2057
オーストリア	2046	デンマーク	2115	ポルトガル	2436
オランダ	2376	ドイツ	2109	マレーシア	2363
カナダ	2079	日本	2276	メキシコ	2362
韓国	2304	ニュージーランド	2390	ロシア	2489
シンガポール	2501	ノルウェー	2379		

言語コード

言語名表記はISO639:1988(E/F)に準拠

コード	言語	コード	言語	コード	言語
1027	Afar	1245	Inupiak	1489	Russian
1028	Abkhazian	1248	Indonesian	1491	Kinyarwanda
1032	Afrikaans	1253	Icelandic	1495	Sanskrit
1039	Amharic	1254	Italian	1498	Sindhi
1044	Arabic	1257	Hebrew	1501	Sangho
1045	Assamese	1261	Japanese	1502	Serbo-Croatian
1051	Aymara	1269	Yiddish	1503	Singhalese
1052	Azerbaijani	1283	Javanese	1505	Slovak
1053	Bashkir	1287	Georgian	1506	Slovenian
1057	Byelorussian	1297	Kazakh	1507	Samoan
1059	Bulgarian	1298	Greenlandic	1508	Shona
1060	Bihari	1299	Cambodian	1509	Somali
1061	Bislama	1300	Kannada	1511	Albanian
1066	Bengali; Bangla	1301	Korean	1512	Serbian
1067	Tibetan	1305	Kashmiri	1513	Siswati
1070	Breton	1307	Kurdish	1514	Sesotho
1079	Catalan	1311	Kirghiz	1515	Sundanese
1093	Corsican	1313	Latin	1516	Swedish
1097	Czech	1326	Lingala	1517	Swahili
1103	Welsh	1327	Laothian	1521	Tamil
1105	Danish	1332	Lithuanian	1525	Telugu
1109	German	1334	Latvian; Lettish	1527	Tajik
1130	Bhutani	1345	Malagasy	1528	Thai
1142	Greek	1347	Maori	1529	Tigrinya
1144	English	1349	Macedonian	1531	Turkmen
1145	Esperanto	1350	Malayalam	1532	Tagalog
1149	Spanish	1352	Mongolian	1534	Setswana
1150	Estonian	1353	Moldavian	1535	Tonga
1151	Basque	1356	Marathi	1538	Turkish
1157	Persian	1357	Malay	1539	Tsonga
1165	Finnish	1358	Maltese	1540	Tatar
1166	Fiji	1363	Burmese	1543	Twi
1171	Faroese	1365	Nauru	1557	Ukrainian
1174	French	1369	Nepali	1564	Urdu
1181	Frisian	1376	Dutch	1572	Uzbek
1183	Irish	1379	Norwegian	1581	Vietnamese
1186	Scots Gaelic	1393	Occitan	1587	Volapük
1194	Galician	1403	(Afan)Oromo	1613	Wolof
1196	Guarani	1408	Oriya	1632	Xhosa
1203	Gujarati	1417	Punjabi	1665	Yoruba
1209	Hausa	1428	Polish	1684	Chinese
1217	Hindi	1435	Pashto; Pushto	1697	Zulu
1226	Croatian	1436	Portuguese	1703	無指定
1229	Hungarian	1463	Quechua		
1233	Armenian	1481	Rhaeto-Romance		
1235	Interlingua	1482	Kirundi		
1239	Interlingue	1483	Romanian		

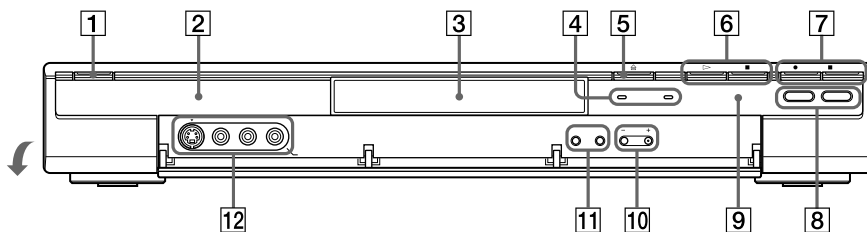
各部のなまえ

本体のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。

*のボタンには凸(突起)がついています(チャンネル+/-ボタンは「+」のみ)。操作の目印としてお使いください。

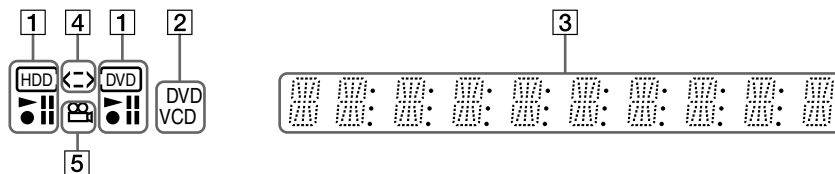
各部の説明は()内のページをご覧ください。

本体前面



- | | | |
|---|-------------------|--------------------------|
| ① 電源ボタン(18) | ⑤ 合(開/閉)ボタン(34) | ⑨ R (リモコン受光部)(11) |
| ② 表示窓(43、53) | ⑥ ▷(再生)ボタン(48、58) | ⑩ チャンネル+/-ボタン*(15、39) |
| ③ ディスクトレイ(34) | ■(停止)ボタン(29、48) | ⑪ 入力切換ボタン(64) |
| ④ 録画予約ランプ(34、38)
録画予約が設定されているときに点灯します。 | ●録画ボタン(39) | 録画モードボタン(39) |
| ⑧ DVDボタン/ランプ(39、48、60) | ■録画停止ボタン(39) | ⑫ 入力2 S映像/音声/映像端子(17) |
| ⑫ HDDボタン/ランプ(39、48、60) | | |

本体表示窓

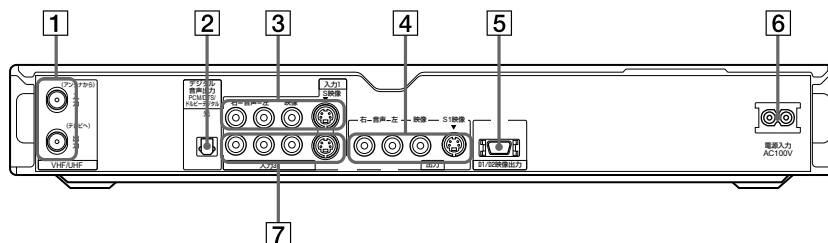


- | | |
|---------------------------------------|---------------|
| ① HDD/DVD表示
再生/録画動作を表示します。 | 録画時経過時間表示(43) |
| ② DVD/CD表示(ディスクの種類)(45、47) | 録画モード(44) |
| ③ 主に以下の情報を表示します。
タイトル/トラック番号表示(53) | ダビング時残り時間表示 |
| 再生経過時間表示(53) | 現在時刻表示 |
| | チャンネル表示 |
| | ④ ダビング方向表示 |
| | ⑤ アングル表示(49) |

ちょっと一言

本機の電源が「切」(待機状態)のとき、表示窓が消えるように設定することができます(72ページ)。

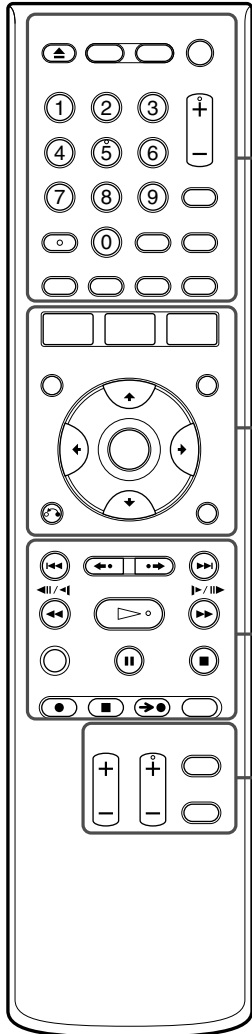
本体背面



- | | | |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| ① VHF/UHF 入/出力端子(12、13) | ④ 出力 音声/映像/S1映像端子(14、16) | ⑥ 電源入力端子(14) |
| ② デジタル音声出力 光端子(17) | ⑤ D1/D2映像出力端子(14) | ⑦ 入力3 音声/映像/S映像端子(15、16) |
| ③ 入力1 音声/映像/S映像端子(15、16) | | |

リモコン

リモコンのボタンは本体の同じ名前のボタンと同じ働きをします。



A 表示切り換え・その他の操作

	開/閉 (34)
	HDD (39、48、60)
	DVD (39、48、60)
	電源 (18)
	数字ボタン* (28、29、38、50、67)
	チャンネル+/-* (15、39)
	入力切換 (64)
	音声* (49)
	字幕 (49)
	アングル (49)
	トップメニュー (49)
	メニュー (49)
	チャプターマーク書き込み (57)
	チャプターマーク消去 (57)

数字ボタン、トップメニュー、メニュー、音声、字幕、チャプターマーク消去/書き込みボタンは文字入力にも使えます (67ページ)。

B 画面操作

	システムメニュー (8、68)
	タイトルリスト (48)
	番組表 (30、34)
	予約リスト (40)
	戻る (8)
	←/↑/↓/→/決定 (9)
	おまかせ・まる録 (36)
	ツール (9)

C 再生・録画・DVD操作

	フラッシュ (49)
	前/次 (49)
	早戻し/早送り、コマ戻し/コマ送り、スロー (49)
	再生* (48、58)
	画面表示 (43、53)
	一時停止 (49)
	停止 (48)
	録画 (39)
	録画停止 (39)
	シンクロ録画 (64)
	録画モード (39)

D テレビ操作 (28)

	テレビ音量+/-
	テレビチャンネル+/-*
	テレビ電源
	テレビ入力切換

* のボタンには凸(突起)がついています (数字ボタンは「5」のみ、チャンネル+/- ボタンの「+」のみ)。操作の目印としてお使いください。

索引

五十音順

あ

アウト点修正 58
頭出し再生 50
アップダウン選局 .. 27, 68
アルバムサーチ 50
アングル 49
アンテナ 12

い

一時停止モード 70
一覧表示 48
インターレース 70
イン点修正 58

え

映像サイズ 39, 70
延長 35

お

追いかけて再生 50
オーディオATT 70
オーディオDRC 70
オーディオ設定 51
おすすめ設定 36
おすすめ番組 36
音付き早見 48
オプション 72
おまかせ設定 36
 対象チャンネル 36
オリジナル 57
音楽CD 45
音声言語 71
音声出力 71
音声設定 70
音声多重放送... 35, 46, 72

か

ガイドチャンネル . 25, 68, 69
外部入力映像設定 70
外部入力音声 64
外部入力チャンネル設定 69
画音同期調整(A/V SYNC) 51
確認再生 58
画面設定 70
画面表示
 再生中 53
 録画中 43
かんたん設定 18, 72

き

キーワード 32
基本設定 68
記録フォーマット 63

く

クイックタイマー 39

け

結露 81
言語コード 83
言語設定 71
検索 32
検索条件 33

こ

工場出荷設定 72
更新 35
高速ダビング 62
互換性 47
語句登録 33
コピー防止信号 44, 62
コマ戻し/コマ送り再生 . 49

さ

再生 48
再生画質設定 51
再生画質調整 51
再選択 55
サブジャンル 32
サブメニュー 9
サブメニュー項目
 タイトルリスト 50
 予約リスト 41
サムネイル 48
サムネイル設定 48

し

シーン移動 58
シーン消去 58
シーンリスト 58
次回予約 50
時刻設定 69
時刻別番組表 30
自己診断機能 77
システムメニュー 8
視聴年齢制限 48, 71
視聴年齢制限地域コード 83
自動画面表示 72
自動消去 42
自動ステレオ受信 69
自動チャプターマーク .. 71
自動チャンネル設定 68
自動調整 61
自動調整ダビング 60
字幕言語 71

ジャストクロック 69
シャープネス 51
ジャンル 32
ジャンル別番組表 30
修正 35
受信チャンネル 25, 68
手動チャンネル設定 23, 68
取得時刻設定 69
取得チャンネル 26, 69
順序変更 61
消去 54
条件設定 32
初期化 47, 63
初期設定 68
シンク記録画 64

す

数字ボタン 67
スーパー VCD 45
スクリーンセーバー 71
スポーツ延長対応 .. 42, 71
スロー再生 49

せ

設定チャンネル 69
セットアップ 68
選局 31
全消去 63
全選択解除 55
選択解除 61

そ

操作ガイド 8

た

対象チャンネル 36
タイトル 6
 全消去 63
タイトル結合 59
タイトルサーチ 50
タイトル順変更 59
タイトル消去 54
タイトル選択消去 54
タイトル選択ダビング .. 60
タイトルダビング画面 .. 61
タイトル分割 56
タイトル名変更 55
タイトルリスト 48, 54
タイムサーチ 50
ダウンミックス 70
ダウンミックスPCM... 71
ダビング 60
ダビング詳細画面 61
ダビングモード 62

ち

地域番号 18
地域番号設定 18, 69
地上波設定 68
チャイルドロック 34
チャプター 57
チャプター結合 57
チャプターサーチ 50
チャプターマーク 57
チャンネル設定 68
チャンネル別番組表 30
重複確認 40, 41

つ

追跡情報 41
ツール 9
 再生中 51
 録画中 43
つづき再生 48

て

低消費スタンバイ 72
ディスク 45
ディスク情報 63
ディスクの入れかた 34
ディスク名 63
データCD 45
デジタルCS放送 15
デジタル音声出力(光) .. 17
デジタル出力 71
テレビチャンネル 24

と

同時録画再生 51
登録語句 33
トップメニュー 49
トピックス 30
トラックサーチ 50
ドルビーデジタル 71

に

二重音声記録 64, 72
日時指定予約 38
入力1 15, 70
入力2 17
入力3 70
入力キー 66

は

ハードディスク
 取り扱い 10
早戻し/早送り再生 49
番組検索 32
番組追跡録画 42

番組表	30, 34
語句登録	33
選局	31
番組説明	31
録画予約	34
番組表設定	26, 69
ひ	
微調整	69
ビデオCD	45, 48
ビデオ素材	70
ビデオモード	47
表示	
本体表示窓	84
表示チャンネル	24, 68
ふ	
ファイナライズ	63
フィーチャー	71
フィルム素材	70
付属品	11
フラッシュ	49
プレイリスト	57
プレイリスト表示	54
プログレッシブ設定	70
プロテクト設定	
タイトル	55
ディスク	63
へ	
編集	56
ほ	
ホスト局	19, 25
本体表示窓	
再生	53
録画	43
ま	
毎回録画	35
む	
ムーブ(移動)	62
め	
名称入力	63
メーカー番号	28
メニュー	8
メニュー(DVD)	49
も	
モード設定	61
文字入力	66
ゆ	
優先順位(録画予約)	41
優先変更(録画予約)	35, 40

よ	
予約	
Gコード予約	38
x-おまかせ・まる録	36
日時指定予約	38
番組表	34
予約修正	41
予約消去	41
予約詳細	41
予約重複確認画面	34
予約重複マーク	40
予約の優先順位	41
予約リスト	40
り	
リージョンコード	45
リモコン受光部	11
リモコンモード	28
ろ	
録画	34
延長	35
更新	35
修正	35
毎回録画	35
モード	35
優先変更	35
録画先	35
録画NR	39
録画延長	43
録画画質調整	39
録画可能時間	44
録画禁止	44
録画制限なし(信号なし)	44, 62
録画設定	39
録画できるDVDの違い	47
録画モード	44
録画モード自動調整	42
録画モード変換ダビング	62
録画横縦比	39
録画予約	
x-おまかせ・まる録	36

アルファベット/ 数字

アルファベット

A	
A-B消去	56
AVマウス	35
B	
BNR	51
BS放送	13, 15, 27
C	
CATV	15
CD-DA	45
CPRM	47
D	
DTS	50, 71
DualDisc	45
DVD+R	47
DVD+RW	47
DVD+R DL	47
DVD-R	47
DVD-RW	47
DVD-RW初期化	72
DVD-RWの取り扱い	81
DVD二重音声記録	72
DVDビデオ	45
DVDメニュー	63
DVDメニュー言語	71
DVD録画横縦比	39
D映像出力端子	14
E	
EPG	30
F	
FNR	51
G	
Gコード予約	38
H	
HDD	45
HDD二重音声記録	72
HDD録画横縦比	39
M	
MNR	51
MP3音声	52
P	
PBC機能	48


S	
S映像出力端子	14
S映像入力端子	70
T	
TVタイプ	70
V	
VRモード	47, 63
X	
x-おまかせ・まる録	36
XP+	44
XP画質設定	71
数字	
16:9	70
1回だけ録画可能	44, 62
4:3パンスキャン	70
4:3レターボックス	70
48kHz/96kHz PCM	71

商品の修理、お取り扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*.....  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は*..... 03-5448-3311

(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

● FAX 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし、内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

- 1：修理受付
- 2：使用方法や故障と思われるご相談
- 3：お買物相談
- 4：その他のご相談

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35



この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。



* 1 - 2 6 7 9 6 0 5 0 1 4 *